

## 主要施策の説明

- 事務事業は、款・項・目の順に掲載し、総合計画第2期基本計画の章・節・施策の番号を付しています。
- 本年度当初予算、前年度当初予算、前年度最終予算、前々年度決算額、「事業内容」中の財源内訳は、それぞれ千円単位で記載しています。また、前年度最終予算額は、平成23年度一般会計補正予算（第7号）後の額、前々年度決算額は千円未満切り上げとしています。
- 前年度当初予算、前年度最終予算ともに予算計上額が無い事業は、事業名横に【新規】と記載しています。ただし、前年度当初予算、前年度最終予算ともに予算計上額が無い事業であっても、平成23年度において、平成22年度からの繰越予算で事業執行を行った事業については、継続事業扱いとしています。
- 記載内容中「重点的に取り組む事項及び変更点」については、継続事業のみ記載し、本年度の新規事業については記載しておりません。

### 【一般会計】

#### 第1款 議会費 項1 議会費

##### 目1 議会費（予算説明書P51～P52）

##### 1 議員報酬・手当・共済費（議員21名分）（議会事務局総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	159,708	180,860	177,923	124,569

##### 2 政務調査費交付金（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	2,520	2,510	2,510	2,280
目的			議員の調査研究活動の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			議員の調査研究に必要な経費の一部について、各会派に対し所属議員1人当たり月額1万円を交付する。 【積算内訳】 10,000円×21人×12カ月＝2,520,000円			
重点的に取り組む事項及び変更点			平成19年度分から市議会ホームページにて収支報告と合わせて1円以上すべての領収書の写しを公開しているが、市民への説明責任を果たすため、今後も用途の透明性を求める。			

第2款 総務費 項1 総務管理費

目1 一般管理費 (予算説明書P53～P56)

1 自治体職員協力交流事業費 (総務部政策推進室企画G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	2	2,286	2,320	60	1,929
目的			国際協力の取り組みを一層推進するため、海外の地方自治体等の職員を「協力交流研修員」として受け入れ、地方自治のノウハウを習得させるとともに、研修員と市民、職員の交流を通して地域の国際化を推進することを目的とする。			
事業内容			<p>財団法人自治体国際化協会の斡旋により、海外の地方自治体等の職員を受け入れ、一般行政研修や観光行政研修等を実施するほか、語学講座や国際理解講座、小中学生との交流等を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>研修員 1名            研修期間 平成24年5月～平成24年11月            研修内容 観光行政研修、一般行政研修            交流内容 語学講座、国際理解講座、小中学生との交流等</p> <p>※平成23年度は、研修生の都合により中止となったため、最終補正予算で減額を行った</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			<p>研修員と市民、職員の交流により国際理解が深められていることや中国など東アジア方面からの研修員を受け入れることで観光PRに貢献できること等から、本事業を通じ諸外国の人づくりの面での国際協力を担っていく。</p> <p>なお、平成24年度の研修員の受け入れにあたっては、広州市の職員を希望し、研修員を通じた今後の広州市との友好交流を促進していく。</p>			

2 国際交流推進事業費 (総務部政策推進室企画G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	2	228	248	248	544
目的			市民の国際理解を深めることにより、登別市における国際交流を推進することを目的とする。			
事業内容			<p>国際交流団体等と連携し、国際理解を深めるための事業を実施するほか、友好都市協定を提携している海外都市との交流事業を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解講座 (語学講座及び文化紹介) 開催回数：5回程度</li> <li>外国人研修生の受入支援 市内国際交流団体が行う外国人研修生の受入に対して支援を行う。</li> <li>サイパン市中学生の受入及び交流 受入期間：平成25年2月上旬</li> </ul>			

	交流内容：市内中学校、保育所の訪問やクリンクルセンターの視察、そり体験や温泉入浴体験、文化体験等
重点的に取り組む事項及び変更点	国際交流団体と意見・情報交換を行い、連携を強化するとともに、国際理解講座の講座内容やサイパン市中学生と市内中学生との交流を充実させる等取り組みを進めていく。

3 デンマーク友好都市中学生派遣交流事業費【新規】（総務部政策推進室企画G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	2	2,320	0	0	0
	目的	登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流を深め、日本とは異なる生活や文化を体験させることにより、生徒の人間性を豊かにし彼らの将来に良好な影響を与えると同時に、ファボー・ミッドフュン市との更なる交流推進の一翼を担うことを目的とする。				
	事業内容	<p>ホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校と明日中等教育学校前期課程の生徒から希望者を市が公募し、友好都市であるデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣先 デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市</li> <li>・派遣人数 市内中学生8名、明日中等教育学校前期課程1名、引率者2名 合計11名</li> <li>・派遣者選考方法 派遣希望者を市が公募する。応募人数が派遣人数を超えた場合は、抽選のうえ決定する</li> <li>・出国前の活動 英会話やデンマークの文化・歴史、研修テーマの設定などの事前研修を10回開催</li> <li>・派遣先での活動内容 学校訪問、授業体験、生徒との交流、ホームステイによる生活体験、歴史的施設等の見学</li> <li>・帰国後の活動 報告書の作成等事後研修を3回開催 在学する学校と市主催の体験報告会を開催</li> </ul>				
	重点的に取り組む事項及び変更点	<p>これまで、中学生の海外派遣については、「中学生海外派遣事業」として実施してきたが、参加者の感想や国際交流推進団体等の意見、これまでの交流の実績を踏まえて、派遣先を友好都市であるファボー・ミッドフュン市とし、青少年の育成と両市の更なる交流を推進するため「デンマーク友好都市中学生派遣交流事業」として、新規に事業展開することとした。</p> <p><b>【見直し点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣対象 (旧) 中学2年生、明日中等教育学校2回生</li> </ul>				

	<p>(新) 市内中学1年生～中学3年生、明日中等教育学校前期課程(1回生～3回生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣者の決定方法</li> </ul> <p>(旧) 教育委員会が設置する選考委員会の推薦者及び明日中等教育学校の推薦者を市が決定</p> <p>(新) 派遣希望者を市が公募</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣人数</li> </ul> <p>(旧) 市内中学校5名、明日中等教育学校1名の合計6名</p> <p>(新) 市内中学校8名、明日中等教育学校1名の合計9名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引率者</li> </ul> <p>(旧) 2名(校長・英語教諭)</p> <p>(新) 2名(市職員・英会話可能な教諭)</p> <p>引率者の市職員(団長)は、主査職以上から公募し、選考にあたっては、なるべく若い職員とし、将来の国際交流に長期的に貢献できる人材とするよう努める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助割合</li> </ul> <p>(旧) 市8割、保護者2割</p> <p>(新) 市5割、保護者5割</p>
--	---

4 広州市友好都市協定提携事業費【新規】(総務部政策推進室企画G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	2	2,889	0	0	0
目的			友好交流促進都市として交流を深めてきた広州市と友好都市協定を提携することに伴い、広州市における調印式に公式訪問団及び市民訪問団を派遣し、両市間の更なる友好交流を推進することを目的とする。			
事業内容			<p>広州市において開催される調印式に臨むため、訪問団を組織し派遣する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣時期 平成24年10月下旬の予定</li> <li>・公式訪問団 市、市議会、市内の経済や観光、国際交流団体等10名程度で構成</li> <li>・市民訪問団 広報紙等により募集し、市民40名程度で構成</li> <li>・その他 滞在中交流会を開催予定</li> </ul>			

5 功労者・市民表彰経費(総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	1,443	1,855	1,285	1,154
目的			市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえることを目的とする。			

事業内容	市勢の振興発展に寄与した方や本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等の振興発展に顕著な功績のあった方を表彰する。 【事業内容】 (表彰の内訳) 功労者表彰内訳：10名分 登別市表彰内訳：57名分
重点的に取組む事項 及び変更点	市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえることを目的とするため、引き続き事業を実施する。

6 市バス運行業務委託料 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	12,956	12,956	12,956	7,302
目的			市バスを効率的に運行することにより、市民サービスの向上を図ることを目的とする。			
事業内容			各種行事に係る参加者等の送迎のため、バスの運行業務を民間事業者へ委託した。 【事業内容】 運行台数 2台 委託内容 市が行う各種行事に係る参加者等の送迎（委託業者所有バスにより運行）			
重点的に取組む事項 及び変更点			平成23年度より市所有のバスを廃止し、受託業者が所有するバス2台で運行している。			

7 職員研修経費 (総務部人事・行政管理G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	6,728	5,361	5,361	3,417
目的			職員の資質及び職務遂行能力の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			地方分権、地域主権の進展や複雑化した課題、多様化した住民ニーズなどに対応するため、資質の向上や職務遂行能力の向上、さらに職員の意欲を高めるとともに視野拡大に向けた研修に取り組むこととする。 【事業内容】 ・基本研修 件数：13件 受講者：201人 ※主な研修 新規採用職員研修、現任職員研修、監督者政策立案研修、メンタルヘルス研修、公務員倫理研修 ・特別研修 件数：23件 受講者：239人 ※主な研修 市町村アカデミー等での専門実務研修、自治大学校政策専門課程、東京財団週末学校、地域政策研究、法制執務研修、問題発見・解決研修			

重点的に取組む事項 及び変更点	北海道や他市町村職員との共同研修の受講機会、専門実務研修の受講機会、能力開発研修の受講機会の拡充を図る。
--------------------	--

8 ふるさと納税関係経費（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	1,865	1,344	2,983	2,333
目的			ふるさと納税制度を活用した当市への寄附の促進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>ふるさと納税制度の周知を図り、当市への寄附を募るパンフレットを作成するとともに、寄附者に対して地場産品等の記念品を贈呈する。また、翌年度に寄附目的に合致した各種事業に充当するため、同制度による寄附金を基金に積み立てる。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとまちづくり記念品購入費（予算額：344千円）</li> <li>※主な記念品 登別牛乳プリン、登別閻魔らーめん、鹿角納豆 等</li> <li>・ふるさとまちづくり応援基金積立金（予算額：1,500千円）</li> </ul>			
重点的に取組む事項 及び変更点			ふるさと納税制度のより一層の周知に努める。			

9 政治倫理審査会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	38	38	38	0
目的			市長及び市議会議員に対する市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容			<p>登別市長等政治倫理条例及び登別市議会議員政治倫理条例に基づき、登別市政治倫理審査会を設置し、審議等を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>委員数 3名 審査会開催 2回を予定</p>			
重点的に取組む事項 及び変更点			必要に応じ審査会を開催し、当該案件について調査審議する。			

10 職員倫理審査会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	38	38	38	0
目的			職員に対する市民の信頼を確保することを目的とする。			

事業内容	登別市職員倫理条例に基づき、登別市職員倫理審査会を設置し、審議等を行う。 【事業内容】 委員数 3名 審査会開催 2回を予定
重点的に取組む事項 及び変更点	必要に応じ審査会を開催し、当該案件について調査審議する。

11 特別職報酬等審議会経費【新規】（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	131	0	0	86
目的			議会の議員の議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給与の額を適正な額に定め、市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容			公共的団体の代表者などから市長が委嘱した委員により組織された審議会を設置し、議会の議員の議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給与の額について審議する。 【事業内容】 ・委員数 7名 ・審議会開催 3回を予定			

12 旅券事務費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	244	241	241	231
目的			北海道からの権限移譲を受け、旅券の交付事務を行うことにより、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			平成18年7月3日より、北海道から権限移譲を受け、旅券（パスポート）の申請受付及び交付を行っており、平成24年度も引き続き上記事務を行う。			
重点的に取組む事項 及び変更点			市民の利便性の向上を図るため、本年度も引き続き、旅券の迅速な交付に努める。			

目2 財産管理費（予算説明書P55～P56）

1 本庁舎屋上整備事業費【新規】（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	2,247	0	0	0
目的			本庁舎の雨漏り対策を講じることにより、本庁舎の適正な維持管理を目的とする。			

事業内容	本庁舎の雨漏り対策として、屋上の防水改修工事を行う。 【財源内訳】	
	事業費	財源内訳
		市債
2,247	1,600	647

2 本庁舎耐震対策調査委託料【新規】（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	840	0	0	0
目的			本庁舎の耐震対策の方法等を検討し、非常時の中心的役割を担うことにより、市民の安全性を確保することを目的とする。			
事業内容			本庁舎の耐震診断結果を受け、今後の耐震補強の方法等を検討するため、耐震対策調査を委託により実施する。 <b>【主な調査内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強方法の検討</li> <li>・補強による執務への影響の検討</li> <li>・仮庁舎の必要性の検討</li> <li>・耐震補強費等の算出 等</li> </ul>			

3 幌別駅自由通路耐震補強事業負担金【新規】（総務部政策推進室財政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
—	—	—	4,000	0	0	0								
目的			幌別駅自由通路の耐震補強事業を実施することにより、市民生活及び列車運行の安全性を確保することを目的とする。											
事業内容			幌別駅の耐震補強事業（実施設計）を行うJR北海道に対して、市所有の自由通路に係る事業費分を負担金として支出する。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>4,000</td> <td>3,000</td> <td>1,000</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	4,000	3,000	1,000
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
4,000	3,000	1,000												

4 旧富浦保育所解体事業費【新規】（総務部政策推進室財政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	4,000	0	0	0
目的			未供用施設で老朽化が進行している旧富浦保育所を解体することにより、市民生活の安全性を確保することを目的とする。			



事業内容	平成16年度末で供用廃止となった旧富浦保育所を解体する。
------	------------------------------

## 目5 総務諸費 (予算説明書P55～P58)

### 1 登別・白石・海老名友好交流事業費 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	1	1,330	940	940	0
目的			トライアングル交流宣言を行った白石市、海老名市との友好交流を図ることを目的とする。			
事業内容			白石市、海老名市との各種交流事業を行う。 【事業内容】 市民ツアーの受入や記念植樹、物産展などの各種行事の調整、並びに同行事への参加。 また、平成25年度に予定される姉妹都市30周年記念行事に関する協議を行う。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市民レベルの交流を促進するため、三市の各種団体間の交流強化に向けた協議を行う。			

### 2 姉妹都市等都市間交流協会補助金 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	1	2,210	1,690	1,690	0
目的			トライアングル交流宣言を行った白石市、海老名市との友好交流を図ることを目的とする。			
事業内容			白石市、海老名市との交流事業を行っている協会に対して補助金を交付する。 【協会の事業内容】 小学生絵画作品交流展示会、少年スポーツ交流事業、ふるさと豆記者訪問事業、ふるさとを語る交流事業、姉妹都市国際親善少年水泳大会、物産展 等			
重点的に取り組む事項 及び変更点			三市の交流をより深化するため、補助金を増額している。 なお、平成23年度に、姉妹都市交流推進協議会から姉妹都市等都市間交流協会に名称変更している。			

## 目6 企画費 (予算説明書P57～P58)

### 1 市民自治推進委員会経費 (総務部政策推進室政策推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	1	321	321	321	0
目的			市民自治等に関する市民の学習機会の場を設けることを目的とする。			
事業内容			市民自治推進委員会が行う市民を対象とした市民自治フォーラムの開催等を支援する。 【委員会への支援内容】 ・市民自治フォーラム開催等支援			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民自治推進委員会の活動を一層活性化させるため、運営等について支援を行う。			

## 2 コミュニティ助成事業補助金（総務部政策推進室政策推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	2	2,500	2,500	2,500	0
目的			市民団体に対して、活動に必要な経費の一部を補助することにより、市民によるコミュニティ活動を促進することを目的とする。			
事業内容			財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、市民団体に対して活動に必要な経費の一部を補助する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			本制度の活用を図り、コミュニティ活動の活性化を促す。			

## 3 市民憲章推進協議会助成金（総務部政策推進室企画G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	2	150	150	150	150
目的			市民憲章の周知を図り、豊かな郷土づくりを推進するため活動する市民憲章推進協議会の活動支援を目的とする。			
事業内容			学校訪問による普及活動など、市民憲章推進に関する各種活動を行っている登別市民憲章推進協議会に対して助成を行う。 【協議会の事業内容】 ・市民憲章推進に関する普及、啓発活動			
重点的に取り組む事項及び変更点			協議会が実施する市民憲章の普及、啓発等の活動に対して、側面的な支援を継続していく。			

## 4 東京登別げんきかい交流経費（総務部政策推進室企画G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	1	640	585	585	564
目的			首都圏等在住の登別市出身者等で構成される『東京登別げんきかい』と登別市との交流を図るとともに、会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市政の発展に寄与することを目的とする。			

事業内容	<p>総会や交流の場で市の情報を発信するとともに、会と登別市相互の情報交換や親睦、交流を行う。</p> <p>【会の活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のイベント（平成24年7月開催予定）</li> <li>・総会及び情報交換会（平成24年11月開催予定）</li> </ul> <p>【会との交流内容】</p> <p>夏のイベントへの参加、情報交換会での情報提供等</p>
重点的に取り組む事項及び変更点	<p>登別のふるさと会である東京登別げんきかいは、登別市と首都圏をつなぐパイプ役としてふるさと応援のための活動を活発に行っていることから、その活動を活性化するため、登別市の情報を発信するなど、交流事業を継続していく。</p>

#### 5 ふるさと大使関係経費（総務部政策推進室企画G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	1	19	107	107	119
目的			ふるさと大使を通じ、様々な機会に登別市を宣伝することにより、市政の発展に寄与することを目的とする。			
事業内容			<p>登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱し、鬼大使に委嘱状（盾）を交付するとともに、観光パンフレットやPRカードを配布する。</p> <p>なお、平成24年度予算の減は、委嘱状（盾）の数量が確保されており、購入経費としての需用費（消耗品費）を計上していないことによるもの。</p> <p>【大使の委嘱状況】</p> <p>平成24年1月末現在累積委嘱者数 57名 （日本人33名／外国人24名）</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			大使の活動の中で登別市の話題を宣伝してもらうことは、市にとって情報発信を行う一つ的手段として有効であることから、ふるさと大使に対する定期的な情報提供に努めるなど、継続した取り組みを進めていく。			

#### 6 移住促進経費（総務部政策推進室企画G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	2	3	82	87	87	82
目的			登別市の概要、イベント、セールスポイント等を情報発信することにより、移住定住を促進するとともに、観光等による交流人口の増加を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>北海道への移住促進や民間による移住ビジネスの創出などを目的とする「北海道移住促進協議会」に参加し、協議会が発行するパンフレットやホームページを通じて当市の魅力を情報発信する。また、市独自の移住情報パンフレットを作成し、登別市の紹介を行うとともに、移住相談ワンストップ窓口を継続設置し、移住に関する各種問い合わせへの対応や移住体験の受付手続きなどを行うほか、平成24年度からは、1ヶ月以上の滞在に対応するため、市内にある不動産物件について関係団体と連</p>			

	携し、移住体験希望者のニーズに合った情報の提供を行うなど、移住定住の促進に努める。
重点的に取り組む事項 及び変更点	これまで実施してきた移住体験に加え、1ヶ月以上の滞在に対応するため、市内にある不動産物件について関係団体と連携し、移住体験希望者のニーズに合った情報の提供を行う。 また、市の情報をよりわかりやすく発信し、更なる移住定住の促進を図るため、ホームページの構成や内容等について整理する。

7 行政評価経費【新規】（総務部政策推進室企画G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	634	0	0	0
目的			成果重視の行政経営の推進、質の高い行政の実現及び市民への市政に関する透明性を確保することを目的とする。			
事業内容			登別市行政評価外部評価委員会による外部評価を実施する。 また、登別市総合計画及び基本計画の各施策に対する満足度や重要度等を調査し、行政サービスの向上及び各施策を展開するうえでの指標や基礎資料とするため、まちづくり意識調査を実施する。			

目7 市民活動センター費（予算説明書P57～P58）

1 市民活動センター運営管理経費（総務部政策推進室政策推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	2	5,913	6,604	6,604	4,819
目的			市民活動センターの運営を通じ、市民活動の総合的な促進を図ることを目的とする。			
事業内容			市民活動センターの施設運営を行うほか、同施設主催の自主事業を実施するなど、市民活動団体の理解を得ながら、公益的な市民活動を促進する。 【事業内容】 ◆市民活動の活動情報の収集及び発信 ・市民活動センター情報誌「のぼりん通信」の発行及びホームページの運営 ◆市民活動を促進する自主事業 ・のぼりん文化講座の実施 ・市民活動の紹介及び展示 ◆市民活動の支援 ・市民活動に関する相談業務の実施 ・市民活動団体と連携した市民向け各種講座の実施 ◆市民活動の人材の育成及び発掘 ・市民活動の人材育成・発掘講座の実施			

重点的に取り組む事項 及び変更点	市民活動に関する情報の受発信をこれまで以上に行うため、市民活動センター情報誌「のぼりん通信」の情報量増を行う。
---------------------	---

## 目 9 行政情報費 (予算説明書P57～P60)

### 1 北海道電子自治体共同システム運用経費 (総務部政策推進室情報推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	3	2,434	2,900	2,454	2,883
目的			インターネットを通じて、申請業務等の行政サービスを提供することにより、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			北海道と登別市を含む全道110市町村が共同で運用し、本市は電子申請8種類、ダウンロード56種類をサービス提供している。これら、北海道電子自治体共同システムの運用に係る費用の一部を負担する。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			インターネットの普及に伴い、行政サービスの充実も求められることから、各機能の積極的な活用を図り、サービスの向上に努める。			

### 2 西いぶり広域連合共同電算事業負担金 (総務部政策推進室情報推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	3	162,423	175,796	175,349	154,368
目的			西胆振3市1町が共同で電算システムを運用することにより、市民サービスの向上及び電算システム運用に係る経費の節減を図ることを目的とする。			
事業内容			室蘭市、登別市、伊達市、壮瞥町が共同運用する戸籍、住民基本台帳、課税など、基幹業務システム60種類の運用に係る費用の一部を負担する。 なお、本年度当初予算の減要因は、主に制度改正等に伴うシステム変更経費の減による。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市民サービス向上や運用コストの削減などで一定の成果を上げていることから、今後も共同による電算処理を継続する。本年度の主な改修は、福祉システムや子どものための手当など制度改正に伴うシステム改修である。			

### 3 地域情報化の推進 (総務部政策推進室情報推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	3	29,842	43,086	51,490	46,756
目的			行政事務の情報化を推進(継続)することにより、市民サービスの向上及び行政コストの低減を図ることを目的とする。			

重点的に取組む事項 及び変更点	<p>維持管理コストの低減や機器トラブルによる業務の支障を回避するため、適正に機器類の管理・更新を行う。</p> <p>また、平成13年度から運用している市ホームページは、本格的なリニューアルが行われていない状況にあり、より見やすいものとするため、ホームページガイドライン（統一的な指針）を作成し、これに基づいてリニューアルを行う。</p>
--------------------	--

※前々年度決算額には庁内ネットワーク更新事業費3,991千円を含む。

#### 〇〇A化推進経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	8,141	14,408	14,408	12,122
事業内容	<p>事務処理に必要なパソコン、プリンター、庁内内部サーバなどの機器更新及び維持管理を行う。</p> <p>なお、本年度は、事務用パソコン等を購入予定（北海道市町村備荒資金組合活用：本年度支払分107千円）</p> <p>※本年度当初予算の減は、主に平成20年度導入分パソコンに係る北海道市町村備荒資金組合償還金の償還終了による。</p>			

#### 〇地域イントラネット維持管理経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	17,332	25,310	32,982	27,086
事業内容	<p>公共施設を結ぶイントラネット(光ファイバーネットワーク)機材などの維持管理を行う。</p> <p>※本年度当初予算の減は、主に庁内ネットワーク更新事業の終了による。</p>			

#### 〇行政情報化経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	4,369	3,368	4,100	3,557
事業内容	<p>市民サービスに必要な窓口用パソコン、プリンターなどの機器更新及び維持管理、ホームページのリニューアルを行う。</p>			

#### 4 地域情報センター運営管理経費（総務部政策推進室情報推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	3	5,962	6,032	6,032	5,875
目的			<p>広く市民に情報通信技術の普及を図るとともに、デジタルデバイド（情報格差）の解消を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>市民が気軽にコンピュータに触れ、インターネットを利用することができる場として、登別市地域情報センターの運営管理を行う。</p>			

重点的に取り組む事項 及び変更点	開設当初の目的からライブラリーコーナーの充実やデジタルデバイス解消に重点を置いた施設へと役割が変化しつつある。 バリアフリー化されている施設の特性を活かし、図書館と連携しながら高齢者や障がい者向けの図書の実施を図る。
---------------------	---

5 広報広聴経費（総務部政策推進室情報推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	3	10,659	12,672	8,772	11,992
目的			市民や地域の声・ニーズを的確にとらえ、市政に反映させるよう努めるとともに、市政情報を総合的に提供することにより、市民参加のまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信：「広報のぼりべつ」毎月発行、登別市ホームページや西いぶり生活情報メール配信システム、報道機関、コミュニティFMを活用した各種情報の発信</li> <li>・市民意見の聴取：意見箱、手紙、来庁、電話、Eメールなどによる聴取</li> <li>・各種懇談会等による情報の発信及び収集、市民意見の聴取：市政(地区)懇談会、地区課題(要望)の把握、市長室フリータイム、市職員出前フリートーク等、町内会や学生との意見交換会などの実施</li> <li>・その他：広報市民リポーター及び広報モニターの募集、三市合同施設見学会及び市民見学会などの開催</li> </ul> <p>※本年度当初予算の減は、主に広報紙印刷単価の減による。</p>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			地区懇談会や地区課題（要望）、市長室フリータイム、各種団体との意見交換など、引き続き市民との対話の機会の拡充を図る。			

6 登別市情報発信・魅力発信強化事業費（緊急雇用創出推進事業）【新規】  
（総務部政策推進室情報推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	3	6,196	0	0	0
目的			登別の魅力やイメージ・知名度を高めることにより、人や企業に「住んでみたい」「観光で訪れたい」「ビジネスをしたい」と感じてもらうことで、まちの活性化を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>緊急雇用創出推進事業を活用し、次の事業を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>◎登別が持つさまざまな観光資源や文化・豊かな自然などの魅力を、家庭用ビデオカメラを使い市民感覚で映像収録・編集し、市ホームページやユーチューブに掲載して全国に発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定作品：5～10分程度で簡易編集（100本以上）</li> <li>・想定テーマ：市内のまつりや事業などのイベント、産業、観光地めぐり、四季折々の自然、市内施設の紹介、市民の生活、突撃レポートなど各種</li> </ul> <p>◎市ホームページリニューアルに併せて、現行約5,000ページの掲載文等の文言や体裁の点検・修正などを行う。</p> <p>※いずれも企業に委託する。</p> <p><b>【雇用内容】</b></p> <p>雇用人数 2名 雇用日数 延べ448日</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">6,196</td> <td style="text-align: center;">6,196</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	6,196	6,196	0
事業費	財源内訳								
	道支出金	一般財源							
6,196	6,196	0							

目 1 1 環境保全推進費 （予算説明書 P 5 9 ～ P 6 0）

1 総合的な環境保全の推進経費・環境保全審議会経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	1	574	574	574	200
目的			環境基本計画や環境配慮指針、温暖化対策推進実行計画等に基づき、環境保全の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>市民、事業者、行政の協働により、環境保全の取組みを計画的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●総合的な環境保全の推進経費 211千円 登別市環境保全市民会議と協働で環境基本計画、環境配慮指針、温暖化対策推進実行計画に基づく施策の検討・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生による環境ポスター募集事業</li> <li>・小学生による「こども環境家計簿」の夏・冬休み中の取組み実施</li> <li>・グリーン購入法に基づく調達方針の進行管理</li> </ul> </li> <li>●環境保全審議会の運営（委員20名） 363千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画、生活排水処理基本計画の審議</li> </ul> </li> </ul>			



重点的に取組む事項 及び変更点	環境保全の推進を図る、本年度も引き続き、環境保全の推進に係る活動を行う。
--------------------	--------------------------------------

## 目 1 2 男女共同参画推進費 (予算説明書 P 5 9 ~ P 6 0)

### 1 男女共同参画社会づくり推進経費 (市民生活部市民サービス G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	4	1	519	89	89	57
目的			登別市男女共同参画基本計画に基づき、女性と男性がお互いを尊重し、それぞれの個性と能力を發揮して共に支え合う、男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>情報誌や小学生向け啓発冊子を発行したほか、市民団体の活動や実行委員会による男女共同参画フォーラムの開催を支援する。また、本年度は、登別市男女共同参画基本計画（第2次）（DV施策に関する基本方針を含む）を策定する。</p> <p>本年度予算の増は、主に上記計画策定に係る経費を計上したことによる。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「アンダンテ」の発行（年1回）</li> <li>・小学校4年生向け啓発冊子の作成・配布 市内小学校4年生に対して、学校を通じて配布</li> <li>・男女共同参画に関する市民団体の活動支援（のぼりべつ男女平等参画懇話会、プラタナス）</li> <li>・男女共同参画フォーラムの開催支援</li> </ul>			
重点的に取組む事項 及び変更点			本年度は、男女共同参画の推進に資する各種活動を継続するほか、登別市男女共同参画基本計画（第2次）の策定を行う。			

### 2 民間シェルター運営補助金 (市民生活部市民サービス G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	4	1	150	150	150	150
目的			配偶者やパートナーの暴力から女性を守ることにより、女性の人権と尊厳を守り、男女が対等に生きることができる社会を実現することを目的とする。			
事業内容			<p>配偶者やパートナーからの暴力に苦しむ女性の心身の安全を確保する活動や自立のための支援を行う民間シェルター（NPO法人ウィメンズネット・マサカーネ）の運営に対して補助を行う。</p> <p><b>【民間シェルターの活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVシェルターでの保護 平成23年度実績66件（うち登別市民17名） ※平成24年1月現在</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援の活動 自立後のサポート業務、ステップハウス運営事業、勇ハウス女性のためのデイサービス事業、交流会の開催、子どもの居場所ポケットの運営、シェルター入所中の子どもプログラムの実施、ティーンプログラムの実施、子どもボランティア研修事業</li> </ul>
重点的に取り組む事項 及び変更点	被害者からの相談・支援体制の充実に努めるためシェルターを支援する意義は大きいことから、引き続き民間シェルターに対して補助を行う。

### 目 1 3 幼稚園振興費 (予算説明書 P 5 9 ~ P 6 0)

#### 1 私立幼稚園学校給食指導経費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	713	650	650	658
目的			小学校入学前に学校給食を体験できる機会を設けることにより、小学校入学を控えた園児の不安を軽減することを目的とする。			
事業内容			私立幼稚園の5歳児を対象に、学校給食の体験及び指導を実施する <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施幼稚園 白菊幼稚園、白雪幼稚園、登別カトリック聖心幼稚園、リリー文化幼稚園</li> <li>・実施期間 平成25年1月～2月 (実施期間中各園とも10日間程度)</li> </ul>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			就学前児童に対し学校給食を通じ「ルール」や「マナー」などの習得に繋げる。			

#### 2 私立幼稚園就園奨励費補助金 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	68,791	60,590	60,590	57,249
目的			私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、もって子どもを安心して育てられる環境をつくることを目的とする。			
事業内容			私立幼稚園に通園する園児の保護者に対して補助金を支給する (補助額は所得階層別等に設定)。 補助対象予定人員 624人			
重点的に取り組む事項 及び変更点			通園児の保護者に対する経済的負担の軽減を図っていく。			

3 私立幼稚園協会教職員研修費補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	500	500	500	500
目的			私立幼稚園の教職員の資質の向上を図ることにより、私立幼稚園に通園する園児の保護者の不安を解消し、もって子どもを安心して育てられる環境をつくることを目的とする。			
事業内容			登別市私立幼稚園協会に対して、教職員の研修に要する経費を補助する。 【協会の活動内容】 ・対象研修 14件（予定） ・研修受講予定者数 延110名			
重点的に取り組む事項 及び変更点			幼児教育に対する知識を深めることを目的に教職員の研修を補助していく。			

4 私立幼稚園教材教具費等補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	2,740	2,576	2,576	2,464
目的			教材教具購入費の一部を補助することにより、幼児教育の充実を図るとともに、私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、もって子どもを安心して育てられる環境をつくることを目的とする。			
事業内容			市内私立幼稚園に対して、教材教具の購入に係る経費の一部を補助する。 【補助内容】 ・補助金額 園児1名につき4,000円 ・補助対象予定者数 685名			
重点的に取り組む事項 及び変更点			補助単価については昨年度と同額とし、引き続き保護者の経済的負担減を図っていく。			

第2款 総務費 項5 防災費

目1 防災費（予算説明書P69～P70）

1 北海道総合行政情報ネットワーク更新事業費【新規】（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	1	2,429	0	0	0
目的			災害時の迅速かつ確実な通信網を確保するために整備した北海道総合行政情報ネットワークを更新整備することにより、地域住民の安全安心を確保することを目的とする。			

事業内容	<p>平成6～9年にかけて北海道と道内市町村が協力して整備した北海道総合行政情報ネットワークについて、経年劣化による障害発生が増加や保守期限が到来することから、北海道が主体となり平成23、24年度の2ヵ年度で更新整備事業を実施する。</p> <p>この事業費については1/2を北海道が負担し、残りの1/2を179市町村が一律に負担することとなるため、北海道に対し負担金を支出する。</p> <p>なお、北海道への負担金納入年度は平成24年度である。</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,429</td> <td style="text-align: center;">1,800</td> <td style="text-align: center;">629</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	財源内訳		市債	一般財源	2,429	1,800	629
事業費	財源内訳								
	市債	一般財源							
2,429	1,800	629							

## 2 防災対策強化事業費【新規】(総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	1	5,412	0	0	0
目的			東日本大震災を教訓に、津波に対する市民の一層の意識高揚を図るとともに、各種災害等に対応する備品等を整備し、防災対策を強化することを目的とする。			
事業内容			<p>津波対策として、現在、市内260箇所へ海拔表示看板を設置しているが、新たに293箇所を追加し設置するとともに、各種災害に備え、備品の整備や非常食などの備蓄をする。</p> <p><b>【整備内訳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海拔表示看板 200枚 (電柱)</li> <li style="padding-left: 20px;">93枚 (屋内避難所)</li> <li>・ 非常持出セット 5セット</li> <li>・ 非常食 400食</li> <li>・ 毛布 90枚</li> <li>・ 災害弱者用避難所テント 20張</li> <li>・ ブルーシート 100枚</li> <li>・ 避難所用ラジオ 10台</li> <li>・ ハンド型メガホン 10台</li> <li>・ 懐中電灯 10台</li> <li>・ パトロールベスト 100着</li> <li>・ 車載用防災行政無線機 1台</li> <li>・ 車載用拡声器 2台</li> </ul>			

### 第3款 民生費 項1 社会福祉費

#### 目1 社会福祉総務費 (予算説明書P75～P78)

1 日胆はまなす里親会補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	30	30	30	30
目的			受託児童の育成、養育環境の整備、里親制度の普及啓発などを行うことにより、児童福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			胆振、日高管内の里親で構成される日胆はまなす里親会の運営に対し補助を行う			
重点的に取り組む事項及び変更点			要保護児童を家庭で養育する里親制度は、施設等での養育に比べ、より望ましい養育形態であることから、里親制度の普及拡大を図る。			

2 社会福祉協議会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	1	29,600	29,600	29,600	29,600
目的			社会福祉協議会の基盤強化に対し補助することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>登別市社会福祉協議会の法人運営や地域福祉推進に係る事務局活動の推進、同協議会が実施する地域福祉事業などに対して補助を行う。</p> <p>【協議会の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉事業 (きずな推進事業、広報啓発事業、地域生活支援事業)</li> <li>・ ボランティア事業 (ボランティア活動支援事業、ボランティアセンターの運営)</li> <li>・ 在宅福祉事業 (在宅介護支援事業、ふれあい会食会事業、高齢者支援きずなづくり事業)</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、地域福祉事業の積極的な推進のため補助を行う。			

3 地域人権啓発活動活性化事業費【新規】（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	1	1,002	0	0	0
目的			住民に親しみやすく、かつ、参加しやすい要素を取り入れつつ地域に密着した多用な人権啓発活動を実施することにより、人権尊重の理念に関する正しい理解と人権尊重思想の普及高揚を図ることを目的とする。			

事業内容	北海道の委託を受けて、人権啓発に関する講演会等を実施する。 <b>【人権啓発講演会】</b> 人権擁護に関する講演会を行い人権啓発・普及事業を行なう。 <b>【人権の花運動】</b> 小学校等で児童が協力しながら花苗を植栽し、花とのふれあいを通じて生命の大切さ、思いやりの心を育てる。  <b>【財源内訳】</b>							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,002</td> <td>1,000</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	1,002	1,000
事業費	財源内訳							
	道支出金	一般財源						
1,002	1,000	2						

4 民生委員児童委員活動経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
1	3	1	11,864	11,864	11,864	11,898								
目的			市内各地区の民生委員児童委員の活動を支援することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。											
事業内容			市内各地区の民生委員児童委員の活動を推進する。 ・民生委員児童委員協議会補助金 2,847千円 ・民生委員推せん会経費（委員12名分） 210千円 ・民生委員児童委員協議会経費 1,241千円 ・民生委員児童委員活動経費（委員130名） 7,566千円  <b>【財源内訳】</b>											
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、民生委員の技能向上や相互連携活動の充実を図るため補助を行う。											
事業内容			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,864</td> <td>8,835</td> <td>3,029</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	11,864	8,835	3,029
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
11,864	8,835	3,029												

5 社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫）（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	4	5,000	5,000	5,000	5,000
目的			低所得者世帯の経済的な安定を促進し、福祉の向上を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>低所得者世帯に応急援護資金、高額療養費などの貸付を行うために、社会福祉協議会に対しその原資の貸付を行う。</p> <p><b>【主な貸付対象】</b>          応急生活費の貸付、高額療養費の貸付、教育の臨時的経費の貸付、就職の臨時的経費の貸付、災害の臨時的経費の貸付</p> <p><b>【貸付実績】</b>          平成23年度実績 57件2,155千円（平成24年1月末現在）</p>
重点的に取り組む事項 及び変更点	引き続き、低所得者世帯の経済的安定のため貸付を行う。

6 室蘭登別防犯協会連合会助成金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	5	650	650	650	650
目的			犯罪を未然に防止するとともに、暴力を追放し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>犯罪の未然防止と暴力の追放を実現するため活動する室蘭登別防犯協会連合会に対して、室蘭市と共同で運営費の一部を補助する。</p> <p><b>【協会の事業内容】</b>          防犯対策の調査研究、防犯施設の拡充強化、防犯思想の普及徹底、地域・職域・防犯団体等で行う防犯活動の協力援助、警察の行う防犯活動に対する協力援助、青少年の非行防止及び健全育成、防犯功労者・団体の表彰、関係機関・団体の相互連絡協力、その他本会の目的達成のため必要な事業</p>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			犯罪の未然防止と暴力の追放を実現するため、本年度も引き続き、室蘭登別防犯協会連合会の活動を支援する。			

7 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	5	500	500	500	500
目的			市内から暴力団を追放・排除し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>暴力団追放のために活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会に対して、運営費の一部を補助する。</p> <p><b>【協議会の事業内容】</b>          各種広報・啓発活動の実施          啓発看板・旗・チラシの作成          幌別地区手づくり祭りの支援</p>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市内から暴力団を追放・排除するため、本年度も引き続き、暴力追放運動推進団体連絡協議会の活動を支援する。			

8 防犯灯設置事業補助金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	5	7,830	5,250	4,507	4,712
目的			防犯灯の設置を促進することにより、犯罪を未然に防止し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>町内会などに対して、防犯灯の設置費やその改修費の一部を補助する。なお、本年度から平成29年度までの6年間に限り、省エネルギー型防犯灯に関する補助上限額を50,000円に引き上げることとしている。本年度予算の増は、主に省エネルギー型防犯灯に関する上限額の引き上げによる。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助率 設置及び改修に要する経費の3分の2以内</li> <li>・補助上限額 水銀灯等：30,000円 省エネルギー型防犯灯：50,000円</li> <li>・平成23年度補助実績（平成24年1月末現在） 新設 49基 改修 95基</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度より、電力消費の低減を図る観点から、省エネルギー型防犯灯の普及促進を図るため、これに関する補助上限額を30,000円から50,000円に引き上げることとした。			

9 社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	5	180	180	180	180
目的			犯罪の防止と、罪を犯した人たちへの更生、並びに交通安全になどについて理解を深めることにより、犯罪のない明るい社会の構築を目的とする。			
事業内容			<p>社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う犯罪防止啓発事業及び交通安全啓発に係る経費の一部を負担する。</p> <p><b>【主な事業内容】</b></p> <p>街頭啓発パレード 平成24年7月（予定） 公開ケース研究会 平成24年10月（予定） 小・中・高校生、教育関係者との意見交換会 年2回 子供育成者懇談会、ビデオ上映会</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き犯罪のない明るい社会を構築するため、様々な啓発事業を行う。			

10 登別地区保護司会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	5	250	250	250	250



目的	罪を犯した人たちの更生を支援するとともに、犯罪予防の啓発に努めることにより、明るい社会の実現することを目的とする。
事業内容	青少年の補導活動や保護司活動に関する研修会等を行っている登別地区保護司会に対して、運営費の一部を補助する。 【協議会の事業内容】 保護司活動充実のための研修会や情報交換 小・中・高校生との意見交換・交流 防犯街頭啓発活動
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、更生保護や犯罪のない明るい社会づくりを構築するため、補助を行う。

11 無料法律相談業務委託料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	6	391	378	378	378
目的	市民生活における法律上の諸問題を解決し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。					
事業内容	交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、札幌弁護士会室蘭支部に相談業務を委託し、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所において無料法律相談を行う。 【事業内容】 鉄南ふれあいセンターでの無料法律相談 （月1回 定員6名） 弁護士事務所での無料法律相談（月1回 定員6名）					
重点的に取り組む事項及び変更点	市民生活における法律上の諸問題を解決するため、本年度も引き続き、鉄南ふれあいセンター及び弁護士事務所での無料法律相談を実施する。また、実施にあたっては、市民の利用を促進するため、広報等を通じた周知に努める。					

12 住宅手当緊急特別措置事業費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	1,432	1,432	1,432	100
目的	離職者などの住宅及び就労機会の確保を目的とする。					
事業内容	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者等を対象に最大6か月間を上限に住宅手当を支給する。 【事業内容】 支給対象見込数 6名					
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、対象者に対し啓発活動を実施する。					

13 生活交通路線維持対策事業費補助金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	5,005	5,241	4,308	4,386
目的			市民の生活に必要なバス路線を維持することにより、学生や高齢者など、いわゆる交通弱者の地域生活における交通手段を確保することを目的とする。			
事業内容			国及び北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して、生活交通路線運行に係る経費を対象に補助金を交付する。 <b>【事業内容】</b> 補助対象路線数 市生活交通路線 9路線（市単独補助）			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民の生活に必要なバス路線を維持するため、本年度も引き続き、乗合バス事業者に対して、生活交通路線運行に係る経費を補助する。			

14 鉾山地域住民タクシー経費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	33	130	22	116
目的			公共交通機関が運行されていない鉾山地域に居住する市民の地域生活における交通手段を確保することを目的とする。			
事業内容			登別市ネイチャーセンターからJR幌別駅の区間を対象に、1ヶ月2往復分のタクシーチケットを交付する。 <b>【事業内容】</b> 対象者 鉾山地域の住民で自家用車を所有していない方 対象世帯 2世帯			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度は、対象者が不在（入院中）のため予算を減額したが、引き続き対象者の状況の把握に努める。			

15 アイヌ文化講座経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	280	296	296	296
目的			アイヌ伝承文化への理解を深めることにより、アイヌ民族の福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			市民を対象にアイヌ文化講座を開催する。 <b>【事業内容】</b> 開催回数 10回 実施内容 アイヌ刺しゅう等アイヌ伝統の材料を使った作品の製作			

重点的に取組む事項 及び変更点	今年度より材料費の一部を参加者に負担してもらうこととする。
--------------------	-------------------------------

16 第25回アイヌ民族文化祭補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	30	30	30	30
目的			アイヌ民族の尊厳を確立し、社会的地位の向上と文化の保存・伝承及び普及を目的とする。			
事業内容			北海道アイヌ協会に対して、アイヌ民族文化の保存伝承を目的に開催されるアイヌ民族文化祭の開催費用の一部を補助する。 【開催内容】 開催期日 平成24年11月 開催場所 江別市 内 容 古式舞踊、ムックリ演奏指導、民俗資料展示等			
重点的に取組む事項 及び変更点			登別を含めた北海道内のアイヌ民族の尊厳の確立、社会的地位向上、文化伝承・保存のため、引き続き補助を行う。			

17 アイヌ文化普及啓発事業補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	200	200	200	200
目的			アイヌ民族の社会的地位向上と文化の保存、及び、伝承活動を推進し、アイヌ民族の福祉充実に資することを目的とする。			
事業内容			アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う北海道アイヌ協会登別支部に対して、運営費の一部を補助する。 【主な事業】 ・インターネットのアイヌ協会ホームページより、アイヌ民族の文化や伝承活動、各種行事の情報発信 ・事業実施準備のための電話による連絡業務 ・各地で研修を兼ねて行うアイヌ民族の祭り、古式舞踊による交流事業に使用する書類の印刷			
重点的に取組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、アイヌ民族が代々生活してきた北海道有数の地である登別市のアイヌ民族の社会的地位向上、文化伝承・保存活動の推進を図る。			

18 連合町内会助成金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	2	2,400	2,400	2,400	2,400

目的	単位町内会などの意見・意思を集約する連合町内会の活動を支援することにより、市民と行政の協働による、住みよいまちづくりを推進することを目的とする。
事業内容	単位町内会及び11地区の連合町内会を取りまとめる統括組織である登別市連合町内会に対して、その活動費の一部を助成する。 【連合町内会の主な事業】 町内会共催事業の推進 各種研修会の開催及び参加促進 連合町内会運営経費 など
重点的に取り組む事項及び変更点	市民と行政の協働による、住みよいまちづくりを推進するため、本年度も引き続き、連合町内会の活動を支援する。

19 町内会運営助成金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	2	28,614	28,451	27,666	27,862
目的			町内会の活動を支援することにより、行政と市民の協働による、住みよいまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会に対して、その運営費や市行政に協力するための活動費の一部を助成する。 【交付実績】 助成団体数 94町内会 1地区連合町内会			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民と行政の協働による、住みよいまちづくりを推進するため、本年度も引き続き、各单位町内会等の活動を支援する。			

20 戦没者追悼式関係経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	—	—	470	415	415	415
目的			戦没者の霊を慰め追悼するとともに、平和を祈念し、二度と惨禍の起こることのない平和な社会の実現を目的とする。			
事業内容			戦没者の霊を慰め、追悼の誠を捧げるため、国などが行う戦没者追悼式に準じ、市の戦没者追悼式を開催する。 【事業内容】 開催期日 平成24年8月 会場 市民会館大ホール			
重点的に取り組む事項及び変更点			戦没者の霊を慰め追悼し、平和を誓う重要な行事であることから、継続して実施する。			

## 目 2 障害者福祉費（予算説明書P 7 7～P 8 0）

### 1 重度心身障害児介護手当支給経費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	7,500	7,800	7,440	7,640
目的			障がい児世帯の経済的負担の軽減を図ることにより、福祉の増進させることを目的とする。			
事業内容			心身に重度の障がいのある児童（20歳未満）の保護者に対し介護手当を支給する。 【事業内容】 支給対象者数 63名			
重点的に取組む事項及び変更点			登別市単独の福祉施策であるが、他障がい制度の利用者負担状況を考慮し、本年度も引き続き実施する。			

### 2 地域生活支援事業費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	51,344	52,676	52,676	52,087
目的			障がい者の地域における生活を支援することを目的とする。			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、障害者自立支援法に基づき、障がい児・者の地域生活支援に係る事業を実施する。			

#### ○日常生活用具給付費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	14,077	15,191	15,191	13,175
事業内容	在宅の障がい児・者の日常生活の便宜を図るため、ストマ用装具や入浴補助用具など日常生活用具の給付を行う。 【事業内容】 ・給付用具 蓄便・蓄尿袋、入浴補助用具、住宅改修等 ・給付見込件数 平成24年度 1,370件 平成23年度 1,499件			

#### ○障害者自立更生促進助成事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	310	410	410	56
事業内容	在宅の障がい者の社会活動参加を促進するため、自立更生に要する経費の一部を助成する。 【事業内容】 ・給付内容 自動車運転免許取得費助成 身体（4級以上）・知的・精神障がい者に対して自動車運転免許に要する経費を助成			

	自動車改造費助成 重度の身体障がい者（1・2級）に対して自動車の操 行装置及び駆動装置等の改造に要する経費を助成 ・支給見込件数 自動車運転免許取得費助成 2件 自動車改造費助成 1件
--	---

○総合相談支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	15,538	15,538	15,538	15,013
事業内容	<p>障がい者のニーズと地域の社会資源を適切に結びつけ、安心して自立生活を送れるよう、相談支援専門員を配置する西いぶり地域生活支援事業所に事業を委託し、個々の相談支援を行うとともに、サービス利用計画書に基づく継続的かつ総合的な相談支援、居住サポート、研修事業を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自立支援協議会の開催 見込回数 4回</li> <li>・西いぶり地域生活支援事業による相談支援 見込件数 4,200件</li> <li>・居住サポート 見込件数 2件</li> <li>・研修事業 見込件数 2件（支援者研修会、地域啓発研修会）</li> </ul>			

○コミュニケーション支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	169	331	331	101
事業内容	<p>聴覚、言語機能、音声機能、その他の障がいなどで意思疎通に支障がある人の地域生活を支援するため、仲介として手話通訳者の派遣を行う。</p> <p>派遣見込回数 27回</p>			

○移動支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	1,650	1,650	1,650	1,435
事業内容	<p>屋外での移動が困難な障がい児・者の社会参加を促進するため、外出のための個別及びグループに対する支援を行う</p> <p>個別移動支援見込人員 22名          グループ移動支援見込団体数 0団体</p>			

○地域活動支援センター事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	15,015	15,003	15,003	18,683
事業内容	<p>障がいのある人の創作的活動または、生産活動、社会との交流の機会を提供し、社会参加を促進するため、地域活動支援センター事業（センター事業及び車両移送事業）を登別市社会福祉協議会へ委託する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター事業利用見込人数 56名</li> <li>ボランティア講師等の指導により、社会適応訓練や創作的活動を行う。</li> </ul>			

○訪問入浴サービス事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	1,200	1,000	1,000	838
事業内容	<p>身体障がい児・者の家族介護を軽減し在宅生活を継続するために必要な支援として訪問による入浴サービスを行う。</p> <p>利用見込人員 2名</p>			

○更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	56	161	161	111
事業内容	<p>更生訓練の利用者負担軽減および施設利用者の一般就労への移行を促進するため、施設入所（通所）の利用者に対して、更生訓練費の支給を行う。また、入所（通所）施設を退所し、一般就労等を行う障がい者に対して、就職支度金の支給を行う。なお、本年度予算の減は、主に新体系施設移行による更生訓練利用者の減少による。</p> <p>更生訓練費給付見込人員 1名</p> <p>就職支度金給付見込人員 1名</p>			

○社会参加事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	175	179	179	131
事業内容	<p>障がい児・者への情報の提供により、社会参加を促進するため、声の広報及び点字広報等を作成し、聴覚又は視覚障がいのある人に配布する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>広報のぼりべつを音声化及び点字化して発行</li> </ul> </li> <li>・声の広報及び点字広報発行回数 <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月発行</li> </ul> </li> <li>・発行見込件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>声の広報 96件 点字広報 120件</li> </ul> </li> </ul>			

○日中一時支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	2,200	2,210	2,210	2,236
事業内容	<p>障がい児・者の在宅生活を支えるため、家族の一時的休息や就労等の支援として、日帰りショートステイを行うとともに、養護学校等の長期休暇中の介護者の負担を軽減するため、障がい児タイムケアを行う。</p> <p>日帰りショートステイ利用見込人員 25名 障がい児タイムケア利用見込人員 5名</p>			

○社会参加等事業補助金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	510	559	559	308
事業内容	<p>障がい児・者の社会参加・地域生活を支援するため、手話通訳者及び要約筆記者の養成、スポーツ・レクレーション指導員の養成に係る経費の助成を行うとともに、障がい者等の団体のボランティア活動の支援を行う。</p> <p>助成見込数等</p> <p>スポーツ・レクレーション指導員養成助成 2名 手話通訳者養成助成 1名 要約筆記通訳者養成 2名 障がい者団体ボランティア活動支援 登別回復者クラブ「ひまわりサークル」に対する支援</p>			

○成年後見制度利用支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	444	444	444	0
事業内容	<p>障がい児童・者の権利を保護するため、判断能力が不十分な障がい者のうち、親族等による裁判所への申し立てが困難な方の権利擁護を図るため、親族等に代わって裁判所への申し立てを行うほか、成年後見人への報酬相当額を給付する。</p> <p>利用見込人員 1名</p>			

3 障害者介護給付費・訓練等給付費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	638,659	645,474	630,713	596,074
目的			障がい児・者の自立した日常又は社会生活を確保し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>障害者自立支援法による障害福祉サービス等に係る介護給付費・訓練等給付費等を支給する。</p> <p>○訪問系サービス 57名分 18,222千円</p> <p>・居宅介護 47名 ・重度訪問看護 1名</p>			



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護 9名</li> <li>○日中活動系サービス 354名分 415,464千円</li> <li>・生活介護 122名</li> <li>・児童デイサービス 96名</li> <li>・就労移行支援 5名</li> <li>・就労継続支援（A型） 19名</li> <li>・就労継続支援（B型） 109名</li> <li>・短期入所（ショートステイ） 3名</li> <li>○居宅系サービス 168名分 203,459千円</li> <li>・共同生活介護（ケアホーム） 63名</li> <li>・共同生活援助（グループホーム） 29名</li> <li>・施設入所 76名</li> <li>○相談支援 26名 442千円</li> <li>○国保連審査支払手数料 1,072千円</li> </ul>
重点的に取り組む事項及び変更点	<p>自立支援法改正つなぎ法により、平成23年10月から「同行援護」の新設や「共同生活介護」「共同生活援助」における家賃の一部助成が始まったほか、平成24年4月よりサービス利用計画を作成する「計画相談支援」の新設、「旧体系事業所」が「新体系事業所」へ移行することに伴い、これまでの旧体系の利用者が全て新体系へ移行するなど、大きな変更があるため、動向を注視していく。</p>

#### 4 障害者自立支援対策推進費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	1,500	30,533	29,735	29,632
目的			障害者自立支援法の円滑な実施と、新法体系事業への円滑な移行を促進し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>障害者自立支援法への円滑な実施、新法体系事業への円滑な移行に必要な経費の一部を補助する。なお、北海道の基金事業として行われてきた本事業は、平成23年度いっぱいをもって終了することから、本年度予算は、平成24年3月給付分に係る経費である。</p> <p style="text-align: right;">事業運営安定化事業費 1,050千円 移行時運営安定化事業 450千円</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			本事業は平成24年3月給付分を持って終了となる。			

#### 5 障害者補装具給付費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	25,780	26,879	20,119	25,114
目的			在宅の障がい児・者の日常生活の便宜を図り、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			

事業内容	障害者自立支援法による補装具給付などに係る費用を支給する。 給付見込件数（障がい者） 132件 給付見込件数（障がい児） 76件
重点的に取り組む事項及び変更点	障がい福祉向上のため、引き続き日常生活に必要な補装具にかかる給付を行う。

6 高額障害者福祉サービス経費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	100	100	100	0
目的			障がい児・者の自立支援サービスの利用に伴う経済的負担を軽減し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			サービス利用者に対して、障害者自立支援法による障害福祉サービス給付費等の利用負担上限額を超えて支払をした額を支給する。 支給見込人員 2名			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、課税世帯で該当者があった場合、法令等に基づき支給する。			

7 特別障害者手当等支給経費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	24,875	27,315	24,989	25,931
目的			障がい児・者の介護に伴う経済的負担を軽減し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			重度の障がいにより、日常生活において常時介護を必要とする障がい児・者に手当を支給する。 支給見込人員 特別障害者手当 50名 障害児福祉手当 47名 経過的福祉手当 6名			
重点的に取り組む事項及び変更点			特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、引き続き手当を支給する。			

8 障害認定審査会経費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	1,721	2,625	2,625	1,200
目的			障がい児・者のサービス利用を支え、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			

事業内容	障がい児・者が介護給付サービスを受給するにあたり必要となる障害程度区分の認定審査を行った。 【事業内容】 委員数 10名 年間開催回数 7回 主治医意見書作成見込件数 130件
重点的に取り組む事項 及び変更点	障害者自立支援法に基づき、引き続き審査を行う。

9 自立支援医療費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	76,925	47,505	77,575	48,302
目的			障がい児・者の自立支援医療の受診に係る経済的負担を軽減し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			障害者自立支援法による自立支援医療（更生医療）に係る医療費を支給する。なお、本年度予算の増は、全体利用者と生活保護受給入院者の増加による。 給付対象見込数 130名			
重点的に取り組む事項 及び変更点			引き続き、人工透析や免疫療法等を受ける身体障害者手帳保持者に対し医療費の一部を負担する。			

10 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	254	359	359	195
目的			精神障がい者の自立と社会復帰を支援し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			精神障がい者に対し、社会復帰施設への通所に要した交通費の一部を助成する。 支給対象見込数 12名			
重点的に取り組む事項 及び変更点			身体・知的と比べ交通費の助成制度が整備されていないことから、引き続き、精神障がい者の費用負担軽減を図るため助成を行う。			

11 ホームヘルプサービス低所得者利用者負担軽減措置経費（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	49	98	98	0
目的			障がい者施策によりホームヘルプサービスを受けていた者が介護保険に移行した場合の利用者負担を軽減し、介護保険サービスへの円滑な移行を図ることを目的とする。			

事業内容	障がい者施策によるホームヘルプサービスの利用者のうち低所得者が65歳に達するなどして介護保険適用となった場合を対象に、介護保険サービスの利用者負担の全額を負担する。 軽減対象見込数 1名
重点的に取り組む事項及び変更点	対象者の把握に努め、介護保険サービスの円滑な移行を図る。

12 肢体不自由児（者）父母の会補助金（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	200	200	200	200
目的	自主的活動を支援し、会員相互の学習や親睦を深め、肢体不自由児（者）の自立更生を促進し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。					
事業内容	会員交流及び関係機関との連携、勉強会などを行う肢体不自由児者父母の会に対して、運営費の一部を補助する。 【会の活動内容】 レク、施設見学、勉強会の開催、全国肢体不自由児者全国大会（札幌市）への参加、ボランティア活動等					
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、父母の会への補助を通し、肢体不自由児・者の自立更生と社会参加が図られるよう支援する。					

13 重度障害者（児）福祉タクシー関係経費（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	5,492	5,547	5,547	5,410
目的	障がい者のタクシー利用による経済的負担を軽減することにより、在宅で生活する重度障がい者の生活圏拡大を支援し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。					
事業内容	重度障がい者を対象に福祉タクシー利用券を交付し、1人月3回（年間36回）を限度に基本料金相当分を助成する。 支給対象見込数 668名					
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、重度在宅障がい児・者の生活圏拡大と経済的負担軽減を図るため、助成を行う。					

14 身体障害者自動車燃料費助成金（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	550	582	451	491
目的	身体障がい者の自動車利用に係る燃料費の経済的負担を軽減することにより、身体障がい者の自立更生と社会参加を促進し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。					
事業内容	身体障害者福祉法に基づき車椅子を受給している障がい者等で、免税購入資格者として自動車を購入した方を対象に、月30リットル分を限度に自動車燃料費の税相当分を助成する。 支給対象見込数 29名					

重点的に取り組む事項 及び変更点	引き続き、対象者の自立更生と社会参加促進及び経済的負担の軽減を図るため、助成を行う。
---------------------	--

15 身体障害者福祉協会補助金（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	460	460	460	460
目的			身体障害者福祉協会の活動を支援することにより、身体障がい者の自立更生と社会参加を促進し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			福祉啓蒙事業や社会研修事業等を行っている身体障害者福祉協会に対して、運営費の一部を補助する。 【協会の事業内容】 軽スポーツ大会の開催、研修旅行、生活訓練（料理・パソコン教室）等の開催			
重点的に取り組む事項 及び変更点			身体障がい者の社会参加促進のため、引き続き支援を行う。			

16 視力障害者協会補助金（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	50	50	50	50
目的			視力障害者協会の活動を支援することにより、視力障がい者の自立更生と社会参加を促進し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			社会研修事業や学習会等を行っている視力障害者協会に対して、運営費の一部を補助する。 【協会の事業内容】 はり・マッサージの治療奉仕活動、点訳奉仕団との交流、生活訓練研修、研修旅行、小学校での福祉講座等			
重点的に取り組む事項 及び変更点			視力障がい者の社会参加促進のため、引き続き支援を行う。			

17 手をつなぐ育成会補助金（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	100	100	100	100
目的			知的障がい児の自立更生と社会参加を促進し、もって障がい福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			知的障がい児等の地域生活支援や社会研修事業等を行っている手をつなぐ育成会に対して、運営費の一部を補助する。 【協会の事業内容】 障がい児の創作活動、保護者の障害福祉サービスに係る勉強会、研修旅行等			

重点的に取組む事項 及び変更点	知的障がい児・者の社会参加促進のため、引き続き支援を行う。
--------------------	-------------------------------

18 障害者等生活支援経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	948	1,021	1,021	54
目的			対象となる世帯に対し、家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料の一部を助成することにより、地域生活での経済的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>市内に居住する障がい者（身体障がい者1・2級、知的障がい者、精身障がい者1・2級）在宅世帯及び65歳以上ねたきり老人在宅世帯に対して、家庭系指定ごみ袋30ℓ用20枚を交付するほか、し尿汲み取り世帯に対しては、し尿処理無料券1枚を交付する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付見込世帯数 777件</li> <li>ごみ袋 14,815枚</li> <li>し尿処理無料券 100枚</li> </ul>			
重点的に取組む事項 及び変更点			障がい者世帯の経済的負担を軽減するため、本年度も引き続き、ごみ袋及びし尿処理無料券を交付する。			

19 多機能型事業所「すずかけ」運営整備費補助金（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	5,520	5,520	5,520	0
目的			多機能型事業所の運営を支援することにより、作業及び訓練環境の安定的整備を図り、もって就労困難な心身障がい者の社会的自立を促すことを目的とする。			
事業内容			多機能型事業所「すずかけ」に対して、運営及び整備に要する経費の一部を補助する。			
重点的に取組む事項 及び変更点			債務負担行為に基づき平成24年度まで補助を行う。			

20 身体・知的障害者相談員設置経費【新規】（保健福祉部障害福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	113	0	0	0
目的			身体・知的障害者相談員を設置し、身体・知的障がい者の更生援護に関し、本人またはその保護者等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに関係機関の業務に対する協力や援護思想の普及を図る。			

事業内容	相談員の委（解）嘱、報償費の支給、活動状況の把握、研修の実施・協力、相談員への指導・助言など。
------	---

### 目 3 医療助成費（予算説明書P79～P80）

#### 1 ひとり親家庭等医療費助成経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額																				
1	1	1	32,889	36,270	36,270	30,303																				
目的			ひとり親家庭等の母子又は父子の医療費に係る経済的負担を軽減し、母子及び父子家庭の児童の健やかな育成を支援することを目的とする。																							
事業内容			<p>市内に住所を有するひとり親家庭等の母又は父及び児童に対し、医療費の一部を助成する。</p> <p><b>【対象者】</b> 市内に住所を有するひとり親家庭等の母又は父及び児童 ※対象となる世帯の受給期限は、児童が18歳になる年度末（高校卒業時）までとなりますが、特例に該当する世帯は、児童が20歳に到達するまで期限が延長されます。 ※世帯の主たる生計維持者の所得が制度で定める限度額以内</p> <p><b>【助成範囲】</b> ①母又は父については、入院及び指定訪問看護に係る医療 ②児童については、通院及び入院等の医療全般</p> <p><b>【助成内容】</b> ①3歳未満又は市民税非課税世帯に属する受給者 保険診療に係る自己負担額（食費等を除く）のうち、初診時一部負担金（医科580円、歯科510円、柔整270円）を除いた額を助成 ②3歳以上で市民税課税世帯に属する受給者 保険診療に係る自己負担額（食費等を除く）のうち、総医療費の1割相当の一部負担金（通院1ヶ月12,000円、入院1ヶ月44,400円を上限）を除いた額を助成</p> <p><b>【予算及び決算の状況】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度 当初予算</th> <th>平成23年度 当初予算</th> <th>平成22年度 決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診件数</td> <td>10,324件</td> <td>8,946件</td> <td>8,871件</td> </tr> <tr> <td>月平均 受給者数</td> <td>1,700人</td> <td>1,700人</td> <td>1,657人</td> </tr> <tr> <td>医療助成費</td> <td>29,519千円</td> <td>33,300千円</td> <td>27,370千円</td> </tr> <tr> <td>1人当たり医 療助成費</td> <td>17,364円</td> <td>19,588円</td> <td>16,518円</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	平成22年度 決算	受診件数	10,324件	8,946件	8,871件	月平均 受給者数	1,700人	1,700人	1,657人	医療助成費	29,519千円	33,300千円	27,370千円	1人当たり医 療助成費	17,364円	19,588円	16,518円
	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	平成22年度 決算																							
受診件数	10,324件	8,946件	8,871件																							
月平均 受給者数	1,700人	1,700人	1,657人																							
医療助成費	29,519千円	33,300千円	27,370千円																							
1人当たり医 療助成費	17,364円	19,588円	16,518円																							

重点的に取組む事項 及び変更点	関係部署と連携するなど制度の周知を図り、医療費に係る経済的負担の軽減と児童の健やかな育成を支援する。
--------------------	--

2 乳幼児等医療費助成経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額																				
1	1	1	77,321	72,997	72,997	70,575																				
目的			乳幼児等の医療費に係る経済的負担を軽減し、乳幼児等の健やかな育成を支援することを目的とする。																							
事業内容			<p>市内に住所を有する0歳～就学前の乳幼児及び小学校就学児童に対し、医療費の一部を助成する。</p> <p><b>【対象者】</b> 市内に住所を有する0歳～就学前の乳幼児及び小学校就学児童 ※世帯の主たる生計維持者の所得が制度で定める限度額以内</p> <p><b>【助成範囲】</b> ① 乳幼児については、通院及び入院等の医療全般 ② 小学校就学児童については、入院及び指定訪問看護に係る医療</p> <p><b>【助成内容】</b> ① 3歳未満又は市民税非課税世帯に属する受給者 保険診療に係る自己負担額（食費等を除く）のうち、初診時一部負担金（医科580円、歯科510円、柔整270円）を除いた額を助成 ② 3歳以上で市民税課税世帯に属する受給者 保険診療に係る自己負担額（食費等を除く）のうち、総医療費の1割相当の一部負担金（通院1ヶ月12,000円、入院1ヶ月44,400円を上限）を除いた額を助成</p> <p><b>【予算及び決算の状況】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度 当初予算</th> <th>平成23年度 当初予算</th> <th>平成22年度 決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診件数</td> <td>38,528件</td> <td>37,420件</td> <td>38,077件</td> </tr> <tr> <td>月平均 受給者数</td> <td>4,100人</td> <td>4,000人</td> <td>3,888人</td> </tr> <tr> <td>医療助成費</td> <td>68,400千円</td> <td>64,358千円</td> <td>61,779千円</td> </tr> <tr> <td>1人当たり療 助成費</td> <td>16,683円</td> <td>16,090円</td> <td>15,890円</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	平成22年度 決算	受診件数	38,528件	37,420件	38,077件	月平均 受給者数	4,100人	4,000人	3,888人	医療助成費	68,400千円	64,358千円	61,779千円	1人当たり療 助成費	16,683円	16,090円	15,890円
	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	平成22年度 決算																							
受診件数	38,528件	37,420件	38,077件																							
月平均 受給者数	4,100人	4,000人	3,888人																							
医療助成費	68,400千円	64,358千円	61,779千円																							
1人当たり療 助成費	16,683円	16,090円	15,890円																							
重点的に取組む事項 及び変更点			関係部署と連携するなど制度の周知を図り、医療費に係る経済的負担の軽減と乳幼児等の健やかな育成を支援する。																							



3 重度心身障害者医療費助成経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額																				
1	3	3	147,851	146,434	146,434	134,226																				
目的			重度心身障がい者の医療費に係る経済的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。																							
事業内容			<p>市内に住所を有する重度心身障がい者に対し、医療費の一部を助成する。</p> <p><b>【対象者】</b>            市内に住所を有する次の要件を満たす重度心身障がい者            ①身体障害者手帳を保持し、その等級が1級、2級又は3級（一部の障がいに限る）に該当する方            ②IQがおおむね50以下の知的障がい者と判定又は診断された方            ③精神障害者保健福祉手帳を保持し、その等級が1級の方            ※世帯の主たる生計維持者の所得が制度で定める限度額以内</p> <p><b>【助成範囲】</b>            ①身体障がい者及び知的障がい者については、通院及び入院等の医療全般            ②精神障がい者については、入院を除いた医療</p> <p><b>【助成内容】</b>            ①3歳未満又は市民税非課税世帯に属する受給者            保険診療に係る自己負担額（食費等を除く）のうち、初診時一部負担金（医科580円、歯科510円、柔整270円）を除いた額を助成            ②3歳以上で市民税課税世帯に属する受給者            保険診療に係る自己負担額（食費等を除く）のうち、総医療費の1割相当の一部負担金（通院1ヶ月12,000円、入院1ヶ月44,400円を上限）を除いた額を助成</p> <p><b>【予算及び決算の状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度 当初予算</th> <th>平成23年度 当初予算</th> <th>平成22年度 決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診件数</td> <td>22,890件</td> <td>22,421件</td> <td>21,469件</td> </tr> <tr> <td>月平均 受給者数</td> <td>1,370人</td> <td>1,310人</td> <td>1,294人</td> </tr> <tr> <td>医療助成費</td> <td>140,971千円</td> <td>139,671千円</td> <td>127,832千円</td> </tr> <tr> <td>1人当たり医 療助成費</td> <td>102,899円</td> <td>106,619円</td> <td>98,789円</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	平成22年度 決算	受診件数	22,890件	22,421件	21,469件	月平均 受給者数	1,370人	1,310人	1,294人	医療助成費	140,971千円	139,671千円	127,832千円	1人当たり医 療助成費	102,899円	106,619円	98,789円
	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	平成22年度 決算																							
受診件数	22,890件	22,421件	21,469件																							
月平均 受給者数	1,370人	1,310人	1,294人																							
医療助成費	140,971千円	139,671千円	127,832千円																							
1人当たり医 療助成費	102,899円	106,619円	98,789円																							
重点的に取り組む事項 及び変更点			関係部署と連携するなど制度の周知を図り、医療費に係る経済的負担を軽減し障がい者福祉の向上を図る。																							

目 7 消費生活費 (予算説明書P 8 1～P 8 2)

1 消費者行政推進経費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	4	819	281	281	281
目的			市民の消費者としての権利及び利益を保護し、もって消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>広報への折込などにより消費生活への意識啓発を行うほか、消費生活相談、商品試買量目調査を登別消費者協会への委託により実施する。なお、本年度予算の増は、消費生活審議会開催に係る経費を計上したことによる。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費生活の啓発 (出前講座、チラシ等の広報折込)</li> <li>・ 消費生活相談員の配置</li> <li>・ 消費生活相談の実施</li> <li>・ 商品試買量目調査/消費生活相談業務 (登別消費者協会への委託により実施)</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度は、登別市消費生活条例を見直すことを目的に、消費生活審議会を開催する。			

2 消費生活展開催補助金 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	4	300	300	300	300
目的			消費生活展の開催を支援することにより、消費生活に関する知識の向上を図り、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>消費生活展を開催する登別消費者協会に対し、その開催に要する経費の一部を補助する。</p> <p><b>【消費生活展の開催内容】</b></p> <p>開催日時 平成24年10月          開催場所 登別市民会館 中ホール          実施内容 展示コーナー、体験コーナー、試食コーナー等</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民の消費生活の安定と向上を図るため、本年度も引き続き、登別消費者協会に対して、消費生活展開催に係る経費を補助する。			

3 消費者協会運営助成金 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	4	185	185	185	185
目的			登別消費者協会の活動を支援することにより、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			

事業内容	物価調査や監視、消費生活相談など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会に対して、運営費の一部を助成する。 【消費者協会の事業内容】 くらしの総合講座の開催 消費者協会だよりの発行（年4回） 不用品ダイヤル市の開催 など
重点的に取り組む事項 及び変更点	市民の消費生活の安定と向上を図るため、本年度も引き続き、登別消費者協会の活動を支援する。

### 第3款 民生費 項2 高齢者福祉費

#### 目1 高齢者福祉総務費（予算説明書P83～P84）

##### 1 老人クラブ連合会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	1,000	1,000	1,000	1,000
目的			老人クラブ連合会の活動を支援することにより、高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			老人クラブ連合会に対して、運営費の一部を補助する。 【連合会の活動内容】 高齢者相互支援事業、社会奉仕活動の推進、 交通安全・防災対策の推進、女性リーダーの育成推進			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、老人クラブ連合会の活動を支援することにより、高齢者福祉の推進を図る。			

##### 2 老人クラブ補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	2,350	2,380	2,380	2,318
目的			各地域の老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の社会参加を促進し、もって高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			市内各地区の老人クラブに対して、運営費の一部を補助する。 補助対象見込団体数 38団体			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、老人クラブの活動を支援することにより、高齢者福祉の推進を図る。			

##### 3 敬老会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	7,965	8,200	8,200	7,620

目的	高齢者を祝福するとともに、市民の敬老意識の高揚を図り、もって高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。
事業内容	敬老行事を行った町内会等に対して、対象者（74歳以上）一人当たり1,000円を補助した。 補助対象見込数 84団体（対象者7,900名）
重点的に取り組む事項及び変更点	対象年齢を平成26年度まで段階的に引き上げており、今年度対象者は74歳以上となる。

#### 4 老人趣味の作業所運営等経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	295	291	291	249
目的			高齢者の地域での活動の場を提供し、高齢者の生きがいがづくりに寄与することにより、老後の生活を豊かなものとし、もって高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>高齢者が陶芸などの趣味活動を行う老人趣味の作業所を運営する。</p> <p><b>【事業内容】</b>            開放期間 4月～11月            事業内容 陶芸教室、陶芸体験指導            陶芸作品の展示会への出品、即売            各団体への指導・助言など</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			高齢者の創造性を高め、老後の生きがいを豊かにするため、本年度も引き続き運営を行う。			

#### 5 老人憩の家整備委託料（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	9,400	11,000	11,000	7,946
目的			利用者が快適に安心して利用できる施設を各地域に備えることにより、高齢者や地域住民の福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>指定管理者である町内会に委託することにより、老朽化した老人憩の家の補修等を行う。なお、本年度は、前年度に富士会館の改修を終了したため、予算額が減となった。</p> <p>整備予定数 10カ所</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度も引き続き、老人憩の家等における利用者の安心・安全を確保するため補修等整備を行う。			

#### 6 養護老人ホーム整備事業費補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	16,046	16,961	16,961	1,827

目的	社会福祉法人が行った養護老人ホームの移転改築事業を支援することにより、高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。
事業内容	社会福祉法人彩咲会に対して、養護老人ホームの移転改築に係る借入金返済額の一部を補給する。 【補助内容】 交付先：社会福祉法人彩咲会 期 間：平成22年度～平成42年度
重点的に取組む事項及び変更点	債務負担行為に基づき、平成42年度まで補助を行う。

7 特別養護老人ホーム増築事業資金借入元利補給金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	21,126	21,524	21,524	21,938
目的	社会福祉法人が行った特別養護老人ホームの増築事業を支援することにより、高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。					
事業内容	社会福祉法人千寿会が行った特別養護老人ホームの増築事業について、増築に係る借入金の返済額の一部を補給する。 【補助内容】 交付先：社会福祉法人登別千寿会 期 間：平成10年度～平成29年度					
重点的に取組む事項及び変更点	債務負担行為に基づき、平成29年度まで補助を行う。					

目 2 高齢者保健福祉費（予算説明書P 8 3～P 8 4）

1 外国人高齢者・障害者福祉給付金（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	240	240	240	120
目的	国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者及び障がい者に福祉給付金を支給することにより、自立と安定した生活の継続を支援することを目的とする。					
事業内容	在日外国人高齢者の無年金者に福祉給付金を支給する。 支給対象見込数 2名					
重点的に取組む事項及び変更点	対象者が自立と安定した生活を継続できるよう、引き続き支援する。					

2 在宅高齢者保健福祉支援経費（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	11,305	11,076	11,076	9,786
目的			在宅高齢者の日常生活の不安解消や人命の安全確保を図るとともに、高齢者の社会活動の促進を目的とする。			
重点的に取組む事項及び変更点			在宅高齢者の災害・事故による被害の未然防止や、孤立化を防ぐため、本年度も引き続き実施する			

○高齢者等緊急通報機器設置経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	10,353	10,122	10,122	8,853
事業内容	一人暮らし高齢者等宅に緊急通報機器を貸与して日常生活の不安解消や人命の安全確保を行い、火災などによる被害を未然に防止する。 設置見込台数：220台			

○電話・移送サービス経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	952	954	954	933
事業内容	安否確認等の電話サービスを行うとともに、老人福祉センター利用者が乗車する送迎用バスに、介助員を添乗させる移送サービスを提供する。 電話サービス安否確認回数 960回 移送サービス提供回数 120回			

3 高齢者等訪問見守り事業費【新規】（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	2,000	0	0	0
目的			家族からのサポートが期待できない世帯や地域から孤立する可能性のある世帯を定期的に訪問し、話し相手や相談等の見守りを行い高齢者等が地域で安心して暮らせる地域社会を実現することを目的とする。			
事業内容			高齢や障がい等により、社会的に孤立する世帯を定期的に訪問し、話し相手や相談等の見守りを行う。また、本事業で得られた情報について、原則本人の同意のもと各関係機関へ情報提供（災害時の要援護者世帯、公的サービス対象者等）を行う。			

4 社会福祉法人利用者負担軽減助成金（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	282	282	282	138

目的	社会福祉法人による介護サービス利用者の自己負担額軽減に対し助成することにより、介護サービスの円滑な実施を図ることを目的とする。
事業内容	介護保険サービスの利用者負担の軽減を行う社会福祉法人に対して、その軽減した額の一部を助成する。 負担軽減対象者：低所得者で特に生計が困難である者 対象者見込数：4名
重点的に取組む事項及び変更点	低所得で特に生計が困難である者が、安心して介護サービスを利用できるよう、引き続き助成を行う。

### 目3 後期高齢者医療費（予算説明書P83～P84）

#### 1 後期高齢者保健事業費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	2	5,325	5,320	6,553	3,747
目的			検診や運動教室などに係る高齢者の経済的負担を軽減し、検診受診の促進と運動機会の増加を図ることにより、高齢者の健康増進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、短期人間ドック、脳ドックの受診、水中運動教室への参加に要した費用の一部を助成する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成額 <ul style="list-style-type: none"> <li>短期人間ドック 2,839,245円</li> <li>ミニドック 442,500円</li> <li>脳ドック 1,768,000円</li> <li>水中運動教室 275,000円</li> </ul> </li> <li>・助成対象人員 <ul style="list-style-type: none"> <li>短期人間ドック 105名</li> <li>ミニドック 30名</li> <li>脳ドック 123名</li> <li>水中運動教室 275名</li> </ul> </li> </ul>			
重点的に取組む事項及び変更点			各種検診の周知に努め、受診率向上を目指す。			

#### 2 後期高齢者健康診査経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	9,538	9,154	9,154	6,025
目的			後期高齢者医療制度の被保険者を対象に健康診査を実施することにより、高齢者の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。			

事業内容	実施義務者である北海道後期高齢者医療広域連合から委託を受け、後期高齢者医療被保険者の健康診査を実施する。 受診見込数 1,095人
重点的に取り組む事項及び変更点	制度の周知に努め、受診率の向上を目指す。

### 3 後期高齢者医療療養給付費負担金（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	665,025	675,536	702,566	589,527
目的			後期高齢者制度の被保険者の医療費の一部を拠出することにより、高齢者医療の充実及び健康の増進を図ることを目的とする。			
事業内容			後期高齢者医療制度に基づき、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合に対し、当市被保険者分療養給付費に係る負担対象額の1/12相当額を負担する。 ※ 負担対象額・・・療養の給付等に要した費用の額から賠償金等の収入を除いた額（現役並み所得者にかかる費用・収入を除く）			
重点的に取り組む事項及び変更点			保健事業・健康診査事業の周知に努め、医療費の抑制に努める。			

## 第3款 民生費 項3 児童福祉費

### 目1 児童福祉総務費（予算説明書P85～P86）

#### 1 子育て支援センター運営経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	522	521	521	364
目的			保護者の育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親子同士の交流の場を提供することにより、子育て家庭を支援することを目的とする。			
事業内容			育児に不安などを感じている保護者を対象に、育児相談や子育て講座を開催するほか、子育て週間の啓発、子育て情報誌の発行、移動子育て広場を開催するなど、子育て家庭に対する支援活動を行う。 【事業内容】 育児相談 子育て講座・センター開放事業の充実 育児サークルの育成・支援 地域巡回子育て広場の開催			



重点的に取り組む事項 及び変更点	本年度も引き続き、様々な育児支援の実施により保護者の子育てをサポートしていく。
---------------------	---

2 登別子育て支援センター運営管理委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	7,858	7,858	7,858	7,858
目的			保護者の育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親子同士の交流の場を提供することにより、子育て家庭を支援することを目的とする。			
事業内容			登別保育所内に設置されている登別子育て支援センターの運営管理を同保育所の受託法人に委託して行う。 【事業内容】 委託先：学校法人 登別立正学園 委託期間：平成21年度～平成26年度			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、効率的な予算執行と多彩な子育て支援の展開を促す。			

3 仕事と家庭両立支援（ファミリーサポートセンター）事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	7,058	7,036	7,036	7,036
目的			育児の援助を受けたい人と、提供したい人が相互に支援を行い、仕事と育児の両立を図ることを目的とする。			
事業内容			子どもの預かりの相互援助組織である登別市ファミリーサポートセンターを設置し、預かりの調整、預かりのための研修等を行なう。 業務は登別市社会福祉協議会へ委託している。 利用件数 会員数 平成20年度 2,072件 638人 21年度 2,116件 692人 22年度 2,377件 744人			
重点的に取り組む事項 及び変更点			預かり需要の増加に伴い、会員数も年々増加していることから、引き続き事業を実施する。			

4 産後子育てママ派遣事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	167	125	125	42
目的			出産後間もない母親の育児・家事の負担を軽減することを目的とする。			

事業内容	家事援助ヘルパーを派遣し、産後間もない母親の育児・家事を支援する。 利用見込件数 3件
重点的に取り組む事項及び変更点	利用件数は少ないが、出産の際に援助を得られる家族・親類が無い場合の支援策として重要であるため、引き続き実施する。

5 家庭児童相談室・母子自立支援員経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	27	27	27	10
目的			ひとり親家庭や寡婦の福祉の充実と社会的自立を推進することを目的とする。			
事業内容			家庭児童相談室に相談員を配置し、ひとり親家庭や寡婦に自立のための助言や情報提供を行なう。 <b>【業務内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離婚に伴う諸手続の相談</li> <li>・就業相談</li> <li>・母子寡婦福祉資金の貸付相談</li> <li>・教育訓練給付金等の相談と情報提供</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			積極的に教育訓練の受講を勧め、ひとり親家庭の経済的自立を促す。			

6 子育て支援事業（ひろば型）運営委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額						
1	1	1	7,398	7,398	7,398	6,405						
目的			少子化対策の一環として、子育て支援の充実を図ることを目的とする。									
事業内容			子育て支援センターの未設置地区に、子育て親子の交流の場の提供や育児相談などを行う地域子育て支援拠点を開設し、NPO法人への委託により運営を行う。 <b>【事業内容】</b> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">実施場所</td> <td>富岸富久寿園（富岸・新生・若山地区）</td> </tr> <tr> <td>実施内容</td> <td>ひろば開放・子育て勉強会・出張子育てひろば等</td> </tr> <tr> <td>委託先</td> <td>特定非営利活動法人登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ</td> </tr> </table>				実施場所	富岸富久寿園（富岸・新生・若山地区）	実施内容	ひろば開放・子育て勉強会・出張子育てひろば等	委託先	特定非営利活動法人登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ
実施場所	富岸富久寿園（富岸・新生・若山地区）											
実施内容	ひろば開放・子育て勉強会・出張子育てひろば等											
委託先	特定非営利活動法人登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ											
重点的に取り組む事項及び変更点			効率的な予算執行と多彩な子育て支援の展開を促す。									

7 児童入所施設措置費（助産施設分）（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	420	420	420	0

目的	経済的理由が出産を妨げないよう支援することにより、安心して出産できる環境づくりを行うことを目的とする。
事業内容	経済的理由により入院助産を受けることができない妊婦を入院措置する。 【事業内容】 助成額：42万円 助成対象見込数：1人
重点的に取り組む事項 及び変更点	経済的理由が出産を妨げることのない環境を維持する。

8 こどもショートステイ経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	164	384	384	6
目的	一時的に養育が困難となった保護者に代わって児童を養育することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする。					
事業内容	疾病等により一時的に養育困難になった家庭の児童を、児童養護施設で養育する。（社会福祉法人室蘭言泉学園への委託により実施）。 対象見込人員 3名					
重点的に取り組む事項 及び変更点	緊急時の児童等の受け入れ態勢の連携を図っていく。					

9 災害遺児手当支給経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	480	480	480	560
目的	災害遺児を養育する保護者の負担軽減を図り、児童の健全な育成を支援することを目的とする。					
事業内容	自然災害、交通事故により父母又は父母のいずれかが死亡若しくは重度の障がいとなった子ども（遺児）を養育する保護者に手当を支給する 【事業内容】 ・支給額 遺児が中学校修了まで月額10,000円支給 ・支給見込人員 4名					
重点的に取り組む事項 及び変更点	本年度も引き続き、災害が発生した際の遺児の把握に努める。					

10 子ども手当支給経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	122,610	914,293	804,127	708,801

目的	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。
事業内容	<p>中学校修了までの子ども一人につき月額10,000円～15,000円を支給する。</p> <p>なお、本年度予算は、平成24年2・3月の2か月分（6月支給）のみとなるため予算額が減額となった。</p> <p>4月分からは「子どものための手当」として支給する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給額（1人につき）※所得制限無し</li> <li>○3歳未満：15,000円</li> <li>○3歳以上小学校修了前 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1・2子：10,000円</li> <li>第3子以降：15,000円</li> </ul> </li> <li>○中学生：10,000円</li> </ul>
重点的に取り組む事項 及び変更点	短期間で制度が変更となることから、対象世帯への周知に努める。

11 子どものための手当支給経費【新規】（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	603,994	0	0	0
目的	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。					
事業内容	<p>中学校修了までの子ども一人につき月額10,000円～15,000円を支給する。</p> <p>なお、本年度予算は、平成24年4月分から平成25年1月までの10か月分となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給額（1人につき）※所得制限有り</li> <li>○3歳未満：15,000円</li> <li>○3歳以上小学校修了前 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1・2子：10,000円</li> <li>第3子以降：15,000円</li> </ul> </li> <li>○中学生：10,000円</li> <li>○制限所得以上の世帯は中学生まで：5,000円</li> </ul>					

12 児童扶養手当支給経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	306,060	300,587	305,377	291,226
目的	ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進することを目的とする。					

事業内容	ひとり親世帯に対し、世帯の所得に応じて、手当を支給する。 ・支給額 ○子ども1人の場合 全部支給 月額41,550円 一部支給 月額41,540円～9,810円 ○子ども2人以上の加算額 2人目 5,000円 3人以降1人につき 3,000円
重点的に取組む事項 及び変更点	引き続き、ひとり親世帯の自立を促進する。

13 母子家庭自立支援給付事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	4	3,336	6,808	1,732	1,708
目的			母子家庭の母親の職業能力開発を促進することにより、母子家庭の所得水準の向上と社会的自立を促すことを目的とする。			
重点的に取組む事項 及び変更点			引き続き、訓練修了後適職に就けるよう支援する。			

○自立支援教育訓練給付金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	40	40	40	16
事業内容	母子家庭の母親の職業能力開発を促進するため、教育訓練終了後、自立支援教育訓練奨励金を支給する。			

○高等技能訓練促進給付金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	3,296	6,768	1,692	1,692
事業内容	母親が職業訓練を受けている期間中の生活を支援するため、給付金を支給する。 ※予算額が前年度に比べ大きく減となったのは、高等技能訓練を受ける見込の者が4名から2名に減少したことによる。			

14 児童虐待防止啓発事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	2	425	588	588	0
目的			子どもへの虐待に対する関心と理解を訴え、地域がひとつになって子どもを守ることを目的とする。			

事業内容	<p>市民一人ひとりが子ども虐待に意識を向けるよう啓発活動を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌・ホームページを利用した啓発。</li> <li>・ 民生・児童委員との懇談会の開催</li> <li>・ 町内会へのチラシの配布</li> <li>・ オレンジリボン運動の展開</li> <li>・ タスキリレーマラソンの実施</li> <li>・ 懸垂幕の掲示</li> </ul>
重点的に取り組む事項 及び変更点	啓発活動をより推進するため、二回目となるタスキリレーマラソンの規模を拡大する。

## 目 2 保育所費 (予算説明書P 8 5～P 8 8)

### 1 特別保育科目実施経費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	798	783	783	771
目的			親子のふれあいや親子同士の交流の場を提供し、児童の健全育成及び保護者の精神的負担の軽減を図るとともに、老人や異年齢児の交流を通じて対人関係を学び、情緒・情操面の発達の一助とすることを目的とする。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			異年齢児・高齢者との交流を通し子どもの発達の一助となるよう努める。			

#### ○特別保育あそびの広場実施経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	220	220	220	228
事業内容	<p>地域の乳幼児を持つ保護者等を対象に子どもとの関わりや遊び方を指導し、育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深める。</p> <p><b>【開催回数】</b> 中央子育て支援センター 8 コース (1 コース 5 回)</p>			

#### ○特別保育交流事業実施経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	578	563	563	563
事業内容	<p>保育所入所児童が、人々との交流を学ぶため、老人クラブや老人福祉施設の入所者との世代間交流、のぞみ園の通所児などの異年齢児との交流を行う。</p> <p><b>【実施保育所】</b> 富士・鷺別・栄町・幌別東保育所 (異年齢及び高齢者との交流)</p>			

2 保育所広域入所委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	1,869	1,062	1,062	1,603
目的			保護者の勤務地等の都合により、他市町村の保育所への入所を可能とすることで、送迎の場所や時間等の利便性を配慮し、身心の負担軽減を図ることを目的とする。			
事業内容			勤務地の理由などから、他市町村の保育所へ入所を希望する保護者の利便性を図るため、他市町村の保育所に対して、当該児童の保育を委託する。 委託児童見込数 2名			
重点的に取組む事項 及び変更点			保護者の負担軽減が図れるよう、受入先市町村との調整を行っていく。			

3 普通保育所運営管理経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	67,227	63,140	63,140	60,519
目的			保護者の家庭と仕事の両立を支援するとともに、安心して子どもを生み育てる環境をつくり、児童の健全育成に資することを目的とする。			
事業内容			共働きや病人の介護などにより家庭における児童の保育が困難な世帯に対し、充実した保育サービスを提供する。 入所定員児童数 480名 (登別保育所を除く、広域入所受託分2名を含む) 富士保育所 120名 鷺別保育所 120名 栄町保育所 120名 幌別東保育所 120名			
重点的に取組む事項 及び変更点			引き続き、保護者が安心して子どもを預けられるよう保育に取り組む。			

4 登別保育所運営管理業務委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	72,640	72,640	72,640	72,889
目的			幼保一元化事業を推進し、児童の健全育成に資することを目的とする。			
事業内容			登別保育所の運営を「学校法人登別立正学園」に委託し、登別地区において幼保一元化事業を推進する。			
重点的に取組む事項 及び変更点			引き続き、保育の充実やコスト面での合理化を図っていく。			

5 障害児保育実施経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	76	79	79	105
目的			健常児とともに集団で保育を実施することにより、対象児童の心身の発達や発育を促し、児童の健全育成を図ることを目的とする。			
事業内容			市内全保育所において、心身に障がいのある児童や発達発育に心配のある児童を受け入れ、保育を実施する。 保育児童見込数 10人			
重点的に取り組む事項 及び変更点			心身に障がいのある児童の発達・発育を促していく。			

6 延長保育実施経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	491	496	496	446
目的			保護者の就労形態の多様化を踏まえ、保育時間を延長することにより、児童の健全育成及び保護者の心身の負担軽減を図ることを目的とする。			
事業内容			保育時間の延長ニーズに対応するため、全保育所で延長保育を実施する。 利用見込日数 延4,300日			
重点的に取り組む事項 及び変更点			仕事と子育ての両立支援策として、保護者のニーズに答えていく。			

7 休日保育実施経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	160	163	163	138
目的			閉所日である休日に保育を実施することで、児童の健全育成を図るとともに、保護者の就労を支援することを目的とする。			
事業内容			保育所の閉所日である日曜・祝日に、市内1か所の拠点方式で平日と同内容の保育を実施する。 【事業内容】 実施場所：富士保育所 利用見込日数 延400日			
重点的に取り組む事項 及び変更点			保護者の就労を支援するため、ニーズに答えていく。			



### 目 3 のぞみ園費 (予算説明書P 8 7～P 8 8)

#### 1 のぞみ園運営管理経費 (保健福祉部障害福祉G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	3	2,784	2,867	2,867	2,229
目的			心身に障がいのある児童の障がいを軽減させるための医療・訓練・保育等の指導を行うことにより、障がい福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>のぞみ園において、障害者自立支援法に基づく児童デイサービスセンター事業、発達障がい児に関する相談、助言等を行う子ども発達支援センター事業を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童デイサービスセンター事業 (利用者見込数) 115名</li> <li>・子ども発達支援センター事業 (事業内容) 面談、専門機関同行・連携、体験療育、電話相談等 (利用見込数) 747件</li> </ul>			
重点的に取組む事項 及び変更点			年々利用者が増加していることから、訓練・保育用品の一部更新や施設の一部修繕を行う。			

### 目 4 児童館費 (予算説明書P 8 7～P 9 0)

#### 1 児童館・児童センター運営管理経費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額						
1	1	1	9,278	9,602	9,602	9,105						
目的			児童に健全な遊びを与え、その情操を育み、健康を増進することにより、健全な育成を図ることを目的とする。									
事業内容			<p>市内に11カ所の児童館・児童センター・児童室を設置し、児童に遊びの場を提供する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>児童館</td> <td>8 施設</td> </tr> <tr> <td>児童センター</td> <td>1 施設</td> </tr> <tr> <td>児童室</td> <td>2 施設</td> </tr> </table>				児童館	8 施設	児童センター	1 施設	児童室	2 施設
児童館	8 施設											
児童センター	1 施設											
児童室	2 施設											
重点的に取組む事項 及び変更点			児童の自主性、社会性、創造性がより高まるよう指導・支援する。									

目 5 放課後児童育成費 (予算説明書 P 89～P 90)

1 放課後児童クラブ運営経費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	3,109	3,238	3,238	2,933
目的			保護者が就労等により日中不在の小学校低学年児童に遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図るとともに、保護者の就労を支援することを目的とする。			
事業内容			市内6カ所に放課後児童クラブを設置し、保護者が日中不在の小学校低学年児童を対象に、遊びや生活の場を提供する。 <b>【事業内容】</b> (設置数) 市内6施設 (登録児童見込数) 富岸児童クラブ 45名 常盤児童クラブ 18名 若草児童クラブ 40名 青葉児童クラブ 17名 幌別西児童クラブ 22名 鷺別児童クラブ 20名			
重点的に取組む事項及び変更点			子ども一人ひとりの発達や成長を見極め、それぞれの個性に合った自立の支援を行なう。			

2 (仮称) 登別児童クラブ整備事業費【新規】 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	8,844	0	0	0
目的			登別小学校区に放課後児童クラブを整備することにより、児童の健全な育成を図り、保護者の就労を支援することを目的とする。			
事業内容			登別小学校内の余裕教室に放課後児童クラブを整備する。 <b>【事業内容】</b> ・工事費 8,500千円 普通教室(63㎡)・生徒玄関等改修 ・開設費 344千円 備品等の購入			

第3款 民生費 項4 生活保護費

目 1 生活保護総務費 (予算説明書 P 91～P 92)

1 生活保護適正実施推進事業経費 (保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	4	3,562	4,189	4,189	5,543

目的	生活保護の適正な運営を確保することを目的とする。
事業内容	扶養義務者の調査、職員の資質向上のための研修への参加などを行う。 【事業内容】 診療報酬明細書等点検、扶養義務調査、関係職員等研修・啓発事業等
重点的に取組む事項 及び変更点	保護世帯が増加傾向にあることから、生活保護の適正な運営を確保していく。

2 生活保護受給者向就労支援事業費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	4	100	39	39	39
目的			生活保護受給者の経済的自立を促すことを目的とする。			
事業内容			就労支援相談員により、各種就労支援を行う。 【事業内容】 就労相談、公共職業安定所への同行訪問等			
重点的に取組む事項 及び変更点			経済的自立を促すため、積極的に事業を推進する。			

目2 扶助費（予算説明書P91～P92）

1 生活保護扶助費（社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	4	1,926,032	1,926,032	2,123,532	1,809,249
目的			生活困窮者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長することを目的とする。			
事業内容			生活保護受給者に対し、保護の適正化等の確保（保護費支給含む）や個別援助の充実、各自立に向け事業等を実施する。 【予算内訳】（単位：千円）			
			平成24年度	平成23年度	増減	
生活扶助			589,219	614,219	△25,000	
(延人数)			(11,100)	(11,200)	△100	
住宅扶助			156,392	154,550	1,842	
(延世帯)			(6,700)	(6,700)	0	
教育扶助			10,892	10,892	0	
(延人数)			(920)	(920)	0	
医療扶助			1,143,890	1,118,888	25,002	
(延人数)			(24,063)	(24,592)	△529	
その他			25,639	27,483	△1,844	

重点的に取組む事項 及び変更点	引き続き、要保護者の把握、保護の適正化の確保等、生活保護法に基づき事業を実施する。
--------------------	---

### 第3款 民生費 項5 交通安全費

#### 目1 交通安全総務費 (予算説明書P93～P94)

##### 1 交通安全推進経費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	3	1,555	1,801	1,801	1,500
目的			市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図ることにより、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			幼稚園や学校、老人クラブなどで交通安全教室を行うとともに、交通安全啓発看板、旗などの設置及び維持管理などを行う。 <b>【事業内容】</b> 新入学児童に対する交通安全啓発運動（4月） 人と旗の波街頭啓発（年5回 8小学校付近） ジャンボ検問街頭啓発（5月） 交通安全教室（保育所・幼稚園 腹話術） 交通安全指導委員（46名）報酬253,000円			
重点的に取組む事項 及び変更点			交通事故の防止を図ることを目的に、本年度も引き続き、市民の交通安全意識啓発に資する事業を実施する。			

##### 2 交通安全協会交付金 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	3	4,300	4,300	4,300	4,300
目的			交通安全の啓発活動等を行う交通安全協会の活動を支援することにより、市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図り、もって安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			指導教育活動や広報活動などを行う交通安全協会に対して、運営費の一部を補助する。 <b>【協会の主な事業】</b> 交通安全市民運動の推進 交通安全教育広報活動の推進 主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導 高齢者に対する交通安全思想の普及			
重点的に取組む事項 及び変更点			市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図るため、本年度も引き続き、交通安全協会の活動を支援する。			

### 3 交通傷害保険料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	3	900	900	900	1,059
目的			交通事故により傷害を受けた際の保険制度を安価に市民に提供することにより、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			小額の保険料で加入できる市民交通傷害保険の加入促進と加入手続きを行う。			
重点的に取組む事項 及び変更点			平成23年度において、新たに老人クラブ等を通じた周知活動を行ったところであるが、本年度も引き続き、加入数増に向けて市民への周知に努める。			

## 目2 交通安全施設費（予算説明書P93～P94）

### 1 カーブミラー設置費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	3	800	800	800	746
目的			カーブミラーの設置により、安全確認の円滑化と交通事故の防止を図り、もって安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			市内の見通しの悪い交差点など危険箇所に、カーブミラーを設置する。 設置予定箇所数 2箇所			
重点的に取組む事項 及び変更点			より効果的な予算執行を行い、交通事故の防止につなげるため、本年度も引き続き、町内会等を通じた危険箇所把握に努める。			

### 2 照明灯設置事業費（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	3	400	600	600	504
目的			市内の交通危険箇所の解消と交通事故防止を目的とする。			
事業内容			市内の交差点など危険箇所に、照明灯を設置する。 設置予定箇所数 2箇所			
重点的に取組む事項 及び変更点			夜間の歩行者及び車両の安全を確保するため、交通量の多い交差点や急カーブ及び通学路等の危険箇所に照明灯の設置を行う。			

第3款 民生費 項6 災害救助費

目1 災害救助費 (予算説明書P95～P96)

1 災害見舞金 (保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	4	300	510	510	170
目的			災害で被害を受けた市民の早期復旧等を支援し、福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業内容			火災や自然災害により被害を被災者に対し、被害状況に応じて災害見舞金を支給する。 <b>【事業内容】</b> 支給額 被害状況に応じて1件につき10万円以内 支給見込件数 3件			
重点的に取組む事項及び変更点			被災者の早期の把握及び支給に努める。			

第4款 衛生費 項1 保健衛生費

目1 保健衛生総務費 (予算説明書P97～P98)

1 北海道難病連運営事業助成金 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	1	53	53	53	53
目的			難病患者とその家族の社会的自立活動を推進し、福祉の向上・増進を図ることを目的とする。			
事業内容			難病問題の社会的啓蒙と難病に関する正しい知識の普及啓発活動を行っている財団法人北海道難病連に対して助成を行う。 <b>【財団法人北海道難病連の主な活動内容】</b> ・ 難病患者や家族への療育指導及び相談活動 ・ 難病患者等の各団体の育成援助 ・ 難病に関する調査研究 など			
重点的に取組む事項及び変更点			難病患者とその家族の社会的自立活動を推進するため、本年度も引き続き、難病連の活動を支援する。			

2 母と子の健康づくり事業費 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	1	26,742	29,614	26,814	25,239

目的	妊産婦および乳幼児の健康保持・増進を図ることを目的とする。
重点的に取組む事項 及び変更点	若い世代の朝食欠食が多いことから、朝食の大切さを知り健康な食習慣を身につけるとともに、妊婦健診費用について、本年度においても、国の補助を活用し、昨年度と同回数 of 助成を行う。

○食育事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	360	235	235	152
事業内容	<p>食生活習慣の大切さを啓発し、生活習慣病の予防を図るため、乳幼児期の子を持つ母親や学童期の親子等を対象に、食に関する講話や調理実習を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もぐもぐ食育広場（年4回 1回25組予定）</li> <li>・へるしー講座（年3回予定）</li> <li>・食育親子料理教室（年3回予定 1回30人予定）</li> </ul>			

○妊婦保健事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	23,009	26,093	23,293	21,321
事業内容	<p>妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るため、妊娠届出のあった妊婦に母子健康手帳を交付し、健康管理のための保健指導を行うとともに、医療機関への委託により、妊婦一般健康診査及び超音波検査にかかる経費を公費負担する。また、出産を控えた妊婦を対象に、子育て知識を提供するための教室を開催する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳の交付 交付見込数 400件</li> <li>・妊婦健康診査の無料実施 妊婦一般健康診査 14回 超音波検査 4回 受診者見込数 350名</li> <li>・すこやかマタニティ教室 年3回（1回20人）予定</li> </ul>			

○乳幼児保健事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	2,671	2,643	2,643	2,555
事業内容	<p>乳幼児の順調な発達の確認及び疾病の早期発見のため、乳幼児期の成長・発達の節目にあたる月齢児を対象に、小児科医等による健康診査を実施する。また、保健師等による妊産婦、乳幼児家庭訪問及び保健指導を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健康診査 4か月児健診 年12回 予定者数 350名</li> </ul>			

	<p>1歳6か月児健診 年12回 予定者数 350名  3歳児健診 年12回 予定者数 350名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児等訪問指導  対象：妊産婦、新生児、乳児、幼児の家庭</li> <li>・育児相談  10か月児などを対象に育児相談や栄養相談を実施  年12回 予定者数400名</li> </ul>
--	--

○幼児歯科保健対策経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	702	643	643	1,211
事業内容	<p>将来にわたり健康な歯を維持するため、虫歯予防のための生活習慣の啓発等を内容とする親子虫歯予防教室、歯質の強化を図るためのフッ素塗布を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子むし歯予防教室  実施回数：年2回  実施内容：歯科医の講話、歯科検診、ブラッシング指導  フッ素塗布(希望者)</li> <li>・フッ素塗布  対象：1歳6カ月～4歳未満の希望者</li> </ul>			

3 地域医療対策等経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	3	1,293	1,179	1,179	1,180
目的			<p>地域における歯科医療及び訪問看護体制を確保することにより、歯科医療と在宅ケアの充実を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>室蘭歯科医師会との連携により、年末年始、日曜日等の救急歯科診療を確保するとともに、年々増加している口腔がんの早期発見・早期治療のため「口腔がん」検診を実施する。</p> <p>また、当市に訪問看護ステーションを設置している北海道総合在宅ケア事業団に、ステーション設置市として会費を支出する。</p> <p>救急歯科診療実施に係る経費 480千円  口腔がん検診普及推進事業 88千円  地域歯科保健事業負担金 25千円  北海道総合在宅ケア事業団会費 700千円</p>			
重点的に取組む事項及び変更点			<p>口腔がんの早期発見・早期治療を進めるため、西胆振管内の3市3町の事業として、室蘭歯科医師会が行う口腔がん検診にかかる費用を負担する。</p>			

4 広域救急医療対策事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	3	8,187	8,188	8,188	8,159



目的	1次及び2次救急患者に対する医療を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。
事業内容	西胆振圏内7病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する広域救急医療対策事業に係る費用の一部を負担する。 【事業内容】 (対象範囲) 西胆振6市町 (対応病院) 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、登別厚生年金病院、大川原脳神経外科病院、伊達赤十字病院、洞爺協会病院
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、休日・夜間の救急医療の確保に努める。

5 救急医療啓発普及事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	3	1,595	1,559	1,559	1,501
目的			外来救急患者に対する医療を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			登別・室蘭市内の5病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する救急医療啓発普及事業に係る費用の一部を負担する。 【事業実績】 (対象範囲) 登別市及び室蘭市 (対応病院) 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、登別厚生年金病院、大川原脳神経外科病院			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、外来救急患者に対する医療体制の確保に努める。			

6 小児救急支援事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	3	2,200	2,192	2,192	2,185
目的			小児重症救急患者に対する医療を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			西胆振圏内3病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する小児救急医療支援事業に係る費用の一部を負担する。 【事業実績】 (対象範囲) 西胆振6市町 (対応病院) 日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院			

重点的に取組む事項 及び変更点	引き続き、小児救急医療の確保に努める。
--------------------	---------------------

7 市立室蘭看護専門学院整備費負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	3	48	48	48	30
目的			地域で活躍する看護師の養成機能を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			市立室蘭看護専門学院の移転及び定員拡大に伴う施設改修費等の一部を負担する。			
重点的に取組む事項 及び変更点			市内医療機関における慢性的な看護師不足の解消に努める。			

目2 予防費（予算説明書P97～P98）

1 エキノコックス症対策経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	2	139	70	70	27
目的			エキノコックス症の感染予防及び予防啓発を促進することにより、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>広報による周知や立て看板の設置などにより、エキノコックス症の感染予防啓発を行うとともに、採血による血清検査を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防啓発     広報周知、立て看板の設置（市内15カ所）</li> <li>・血清検査の実施     対象：小学3年生以上     実施時期：6月（予定）     会場：しんた21及び札内地区1会場     ※本年度は札内地区を加えた2会場で実施。本年度予算の増は、札内地区実施を追加したことによる。</li> </ul>			
重点的に取組む事項 及び変更点			5年を基準とする血清検査であり、検査受診の機会を増やすために、札内地区において平成17年以来の血清検査を実施する。			

2 予防接種経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	2	65,908	68,518	68,518	57,615

目的	感染症による病気の発生を未然に防ぎ、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。
事業内容	<p>予防接種法に基づき、感染症予防、発病予防、症状の軽減、病気のまん延防止などを目的に各種の予防接種を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b>          集団実施：ポリオ（660名）          個別実施：BCG（350名）、3種混合（1,420名）、          2種混合（360名）、麻しん・風しん（775名）、          インフルエンザ（高齢者）（9,120名）          時限措置：麻しん・風しん（中1・高3対象）（690名）</p>
重点的に取り組む事項 及び変更点	各種予防接種対象者への周知に努め、接種率の向上を図る。

3 3種（子宮頸がん・H i b・小児肺炎球菌）ワクチン接種事業費  
 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
1	2	2	60,427	0	0	2,772								
目的			3種ワクチンの予防接種の接種機会、接種率を確保することにより、感染症による病気の発生や死亡者の減少をもたらすなど感染症対策としての保健予防活動を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を実施する。なお、前年度は、平成22年度予算の繰越により実施したため、当初予算、最終予算ともになしとなっている（繰越予算102,683千円）。繰越予算と比較した場合の減は、実質2年目であり、対象年齢者の中に既接種者が含まれていることによる。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接種対象者            (子宮頸がん予防ワクチン)            中学1年生（13歳相当）～高校1年生（16歳相当）の女子（ヒブワクチン）            0歳（2ヶ月）～5歳未満の乳幼児（小児用肺炎球菌ワクチン）            0歳（2ヶ月）～5歳未満の乳幼児</li> <li>接種予定数            子宮頸がんワクチン 1,053人            ヒブワクチン 1,032人            小児用肺炎球菌ワクチン 1,057人</li> </ul> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60,427</td> <td>27,193</td> <td>33,234</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	60,427	27,193	33,234
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
60,427	27,193	33,234												

重点的に取組む事項 及び変更点	いずれも、対象期間内に接種が終了するよう、未接種者の把握及び周知に努める。
--------------------	---------------------------------------

#### 4 野犬掃討・畜犬登録等経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額												
2	1	1	7,775	7,958	7,958	10,330												
目的			狂犬病のまん延を未然に防ぎ、保健予防の充実を図るとともに、人や家畜に危害を加える動物の駆除等を行うことにより、市民の安全な生活を確保することを目的とする。															
事業内容			<p>狂犬病予防法に基づき、畜犬の登録及び狂犬病の予防接種を実施する。また、野犬の掃討、蜂やカラスの巣の除去などを行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄犬の登録及び狂犬病予防接種           <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>蓄犬登録予定数</td> <td style="text-align: right;">200頭</td> </tr> <tr> <td>予防接種予定数</td> <td style="text-align: right;">2,200頭</td> </tr> </table> </li> <li>・野犬掃討等           <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>野犬捕獲予定数</td> <td style="text-align: right;">30頭</td> </tr> <tr> <td>小動物死骸処理予定数</td> <td style="text-align: right;">75件</td> </tr> <tr> <td>カラスの巣の除去予定数</td> <td style="text-align: right;">45件</td> </tr> <tr> <td>蜂の巣の除去予定数</td> <td style="text-align: right;">100件</td> </tr> </table> </li> </ul>				蓄犬登録予定数	200頭	予防接種予定数	2,200頭	野犬捕獲予定数	30頭	小動物死骸処理予定数	75件	カラスの巣の除去予定数	45件	蜂の巣の除去予定数	100件
蓄犬登録予定数	200頭																	
予防接種予定数	2,200頭																	
野犬捕獲予定数	30頭																	
小動物死骸処理予定数	75件																	
カラスの巣の除去予定数	45件																	
蜂の巣の除去予定数	100件																	
重点的に取組む事項 及び変更点			市民の安全な生活を確保するため、本年度も引き続き、人や家畜に危害を加える動物等の駆除に努めるほか、畜犬登録等においては、本年度、緊急雇用創出推進事業を活用して実施する畜犬登録実態調査の結果を活用し、狂犬病予防注射の勧奨等にいっそう努める。															

### 目3 保健事業費（予算説明書P97～P100）

#### 1 健康増進事業費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	1	45,611	43,659	47,391	39,621
目的			市民の主体的な健康づくり意識の醸成と、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。			
重点的に取組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、健康づくりに関する情報提供や健康教室・健康相談など、市民の健康づくりを推進していくとともに、特定年齢を対象としたがん検診及び肝炎ウイルス検査の受診促進のため、個人通知や未受診者への受診勧奨を実施する。			

○健康づくり事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	1,832	2,099	2,099	1,440
事業内容	<p>健康通信きらりを作成し、広報紙への折り込みを行うほか、健康教室等を実施し、健康増進や生活習慣病の予防等に関する知識の普及啓発に取り組む。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康通信きらりの発行（年4回）</li> <li>健康教室 生活習慣病予防、女性のがん検診、食生活、歯周疾患の予防等</li> <li>ダイエット講座 生活習慣・食生活の改善について、運動実技 実施回数：年6回 1回予定：20人</li> <li>健康相談 血圧相談、生活習慣病に関する相談、食生活(栄養)に関する相談等</li> </ul>			

○健康診査事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	43,779	41,560	45,292	38,181
事業内容	<p>40歳以上の市民を対象に各種検診を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施健診 健康診査、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診(40歳以上)、前立腺がん検診(50歳以上)、子宮頸がん検診(20歳以上)、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査</li> </ul> <p>※大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、肝炎ウイルス検査については、特定の年齢を対象に、クーポンによる無料検診を実施</p>			

2 女性の健康づくり推進事業費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	2	690	698	698	582
目的			<p>健診を受ける機会の少ない女性を対象に健康診査を実施することにより、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。</p>			

事業内容	<p>健診を受ける機会の少ない女性を対象に、健康診査を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診内容 血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測</li> <li>・ 対象 19歳～39歳の女性</li> </ul>
重点的に取組む事項 及び変更点	<p>生活習慣病の予防には、若い頃からの生活習慣の見直しが重要であることから、乳幼児健診等の母親に受診勧奨を行うなど、受診者の増加を目指す。</p>

#### 目 4 環境衛生費 （予算説明書P 9 9～P 1 0 0）

##### 1 葬斎場運営管理経費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	30,720	30,560	30,560	15,186
目的			葬斎場の適切な運営管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。			
事業内容			指定管理により葬斎場の維持管理を行う。また、本年度は、バグフィルターのろ布の交換を行うため、ろ布購入費（北海道市町村備荒資金組合活用）と交換後のろ布処分手数料を計上した。			
重点的に取組む事項 及び変更点			葬斎場設備であるバグフィルターにおいて、2系列あるうちの1系列分のろ布の取替等必要な改修を行う。 参考：1系列（1号炉、2号炉の系列） 2系列（3号炉、胞衣炉の系列）			

##### 2 墓地管理経費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	5,343	5,459	5,459	4,830
目的			墓地の適切な維持管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。			
事業内容			市内10カ所の墓地の維持管理及び周辺整備等を行う。			
重点的に取組む事項 及び変更点			墓地を利用する市民の利便性を確保するため、本年度も引き続き、墓地の維持管理及び周辺整備等に努める。			

##### 3 墓地施設整備事業費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	2,700	5,200	5,200	8,904

目的	墓地の適切な維持管理と延命化を図り、もって市民の利便性を維持することを目的とする。
事業内容	富浦墓地の敷地内道路の改良及び墓地内トイレの一部補修を行う。 【事業内容】 ・敷地内道路 舗装改良（工事延長 77.74m） ・墓地内トイレ一部補修 便器取替及び給水工事 ※前々年度決算額には平成21年度繰越分も含まれる。
重点的に取り組む事項及び変更点	昭和44年～昭和48年に造成した富浦墓地の道路部分は舗装されていないため、当該墓地については、年次的に舗装工事を行っており、本年度においても道路整備を行うこととした。 また、富浦墓地に設置しているトイレについて、経年劣化が進んでいるため、便器等の取替を行う。

#### 4 墓参バス借上料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	120	120	120	120
目的			無料墓参バスを運行することにより、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			交通手段の無い市民の利便性を考慮し、市街地から離れて位置する富浦墓地及び第二富浦墓地への無料墓参バスを運行する。 【事業内容】 ・運行予定日 平成24年8月13日（月） ・運行ルート 第1ルート：美園・上鷲別・鷲別 第2ルート：若草・幌別地区 第3ルート：幌別・登別地区			
重点的に取り組む事項及び変更点			富浦墓地・第二富浦墓地のほか、平成23年度より市バスを利用して亀田霊園への墓参バスも運行しており、平成24年度においても継続して運行を実施することとした。			

#### 目5 公害対策費（予算説明書P99～P100）

##### 1 公害対策経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	1	1,215	1,297	1,297	1,263
目的			公害の発生を未然に防止することにより、市民が住みよい環境を保全することを目的とする。			

事業内容	<p>市内の河川の水質調査、大気のダイオキシン類測定調査を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川水質調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>登別川：年3回</li> <li>サト岡志別川：年3回</li> <li>上記以外の9河川：年2回</li> </ul> </li> <li>ダイオキシン類大気測定調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>年2回</li> </ul> </li> </ul>
重点的に取り組む事項及び変更点	<p>本年度より北海道から市へ、自動車騒音常時監視が権限移譲されたことに伴い、前年度まで本事業で実施していた自動車交通騒音調査については、自動車騒音常時監視委託の中で実施することとなった。</p>

## 2 自動車騒音常時監視委託料【新規】（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	1	2,898	0	0	0
目的			<p>自動車騒音常時監視を円滑に行うことにより、沿線地域で生活する市民に直接影響のある、市内の自動車騒音の実態を把握することを目的とする。</p>			
事業内容			<p>委託により、道路に面する地域の自動車騒音や交通量等を測定し、これらの測定値から個別の住居等がどの程度影響を受けるか評価（面的評価という。）する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>騒音等の測定 8箇所</li> <li>面的評価区間 15.5km</li> </ul>			

## 第4款 衛生費 項2 清掃費

### 目1 清掃総務費（予算説明書P101～P102）

#### 1 衛生団体連合会運営事業助成金（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	2	500	500	500	500
目的			<p>公衆衛生の向上やリサイクルの啓発等に取り組む団体の活動を支援することにより、清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、資源循環型社会の構築を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>ごみ減量やリサイクルに関する普及啓発、クリーンリーダーの育成事業などを行う衛生団体連合会に対して、運営費の一部を補助する。</p> <p><b>【連合会の活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クリーン作戦の実施</li> <li>研修事業の実施（クリーンリーダー研修）</li> </ul>			



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛団連だよりの発行 団体の活動実績等の掲載（町内会で回覧）</li> <li>・ 表彰事業の実施 環境美化活動において、その功績が優れている個人や団体を表彰</li> <li>・ 各種事業への参加 登別消費生活展、リサイクルまつりへの参加</li> </ul>
重点的に取り組む事項 及び変更点	清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、資源循環型社会の構築を図るため、本年度も引き続き、衛生団体連合会の活動を支援する。

## 2 資源回収団体奨励金（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	2	4,800	5,460	4,510	4,528
目的			資源の有効活用の促進及びごみ減量化の啓発を行うことにより、資源循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容			新聞紙や金属類、びんなど、再商品化や再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子ども会などの登録団体に対して、回収量に応じて奨励金を支給する。 回収見込量 1,600トン			
重点的に取り組む事項 及び変更点			資源循環型社会の構築を図るため、本年度も引き続き、資源回収団体に奨励金を支給する。			

## 3 ごみ減量化推進等経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	2	30,104	35,286	28,446	25,360
目的			ごみの減量化及び資源循環型社会の実現を図ることを目的とする。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、ごみの減量化や資源再利用の促進、ごみステーション周辺の衛生環境維持に努める。			

### ○ごみ袋管理経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	29,218	34,307	27,467	24,339
事業内容	委託により、家庭系ごみの有料化に要するごみ袋の製作、ごみ袋の保管、取扱店への搬送等を行う。なお、本年度予算の減は、主にごみ袋の単価下落による。			

○リサイクル・啓発経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	756	823	823	836
事業内容	資源循環型社会の構築を図るため、びんやペットボトルの再商品化を行うほか、不用品ダイアル市や講習会などを実施する。 <b>【事業内容】</b> ・ガーデニング講習会（年2回開催） ・びん・ペットボトルの再商品化 ・不用品ダイアル市			

○ごみステーションネット化推進事業補助金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	130	156	156	185
事業内容	ごみステーション周辺の衛生環境維持、ごみ収集の効率化を図るため、ごみステーションをネット化する町内会に助成を行う衛生団体連合会に対して、助成に要する経費を補助する。 <b>【事業内容】</b> 助成額 1件につき1,300円 助成見込数 100件			

4 リサイクルまつり開催経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	2	61	59	59	56
目的			ごみの減量化やリサイクルに関する普及啓発を行い、資源循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容			市民がごみの減量化やリサイクルを意識するきっかけになることを目的とし、リサイクルまつりを開催する。 <b>【事業内容】</b> ・開催日 平成24年7月（予定） ・会場 クリニクルセンター ・イベント内容 フリーマーケット、堆肥化製品の無料配布、環境パネル展、ペットボトル工作教室、紙すき・絵手紙づくり体験、環境クイズ、登別・白老物産展			
重点的に取り組む事項及び変更点			ごみの減量化やリサイクルに関する普及啓発を図るため、本年度も引き続き、リサイクルまつりを開催する。			

5 不法投棄等防止経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	2	310	310	310	220

目的	廃棄物の不法投棄等の防止啓発、不法投棄廃棄物の回収等を行うことにより、景観や衛生を保持し、住みよいまちづくりを進めることを目的とする。
事業内容	<p>廃棄物不法投棄防止看板の更新、不法投棄やごみポイ捨て防止に関する街頭啓発、不法投棄防止のための夜間・早朝パトロールを実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止看板の設置</li> <li>・市民への街頭啓発活動</li> <li>・夜間・早朝パトロール</li> </ul>
重点的に取り組む事項及び変更点	景観や衛生を保持し、住みよいまちづくりを進めるため、本年度も引き続き、不法投棄の防止啓発に資する活動を行う。

6 し尿汲取り世帯及び畜犬登録実態調査事業費（緊急雇用創出推進事業）【新規】  
（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
2	1	3	1,895	0	0	0								
目的			<p>し尿汲取り世帯の実態を把握し、効率の良い収集運搬を検討するほか、し尿排出量・浄化槽汚泥量などを推計することにより、し尿処理施設の適正な運転管理を図ることを目的とする。</p> <p>また、畜犬登録の実態を調査することにより、狂犬病予防注射の適正な接種の推進を図ることを目的とする。</p>											
事業内容			<p>緊急雇用創出推進事業を活用し、事務補助を行う臨時職員を雇用し、台帳整備を行う。</p> <p><b>【雇用内容】</b></p> <p>雇用人数 臨時職員2名 雇用日数 延べ244日</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,895</td> <td>1,895</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	1,895	1,895	0
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
1,895	1,895	0												

目2 塵芥収集費（予算説明書P101～P102）

1 塵芥収集運搬業務委託料（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	2	118,650	118,650	118,650	118,650
目的			家庭ごみの収集を効率的に実施することにより、適正なごみ処理を行い、良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。			

事業内容	家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「有害ごみ」の収集・運搬業務を民間事業者への委託により実施する。
重点的に取り組む事項 及び変更点	収集を効率的に実施するため、本年度も引き続き、家庭ごみの収集・運搬を民間事業者に委託する。

### 目 3 塵芥処理費 (予算説明書P101～P104)

#### 1 クリニクルセンター運営管理経費・最終処分場運営管理経費 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	2	558,761	564,732	564,732	578,141
目的			クリニクルセンター及び廃棄物管理型最終処分場等で廃棄物の適正な処理を行うことにより、生活環境の保全及び資源循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>クリニクルセンター、廃棄物管理型最終処分場、千歳最終処分場において、廃棄物の適正な処理を行う。</p> <p>○クリニクルセンター運営管理経費 514,974千円 ○最終処分場運営管理経費 43,787千円</p>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、クリニクルセンター、最終処分場の効率的かつ適切な維持管理を行い、廃棄物の適正処理に努める。			

#### 2 クリニクルセンター中間改修事業費 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
2	1	2	182,955	201,789	198,459	128,205								
目的			クリニクルセンター延命化のための計画的な改修を行い、効率的なごみ処理を推進することを目的とする。											
事業内容			<p>供用開始から10年以上が経過したクリニクルセンターについて、施設延命化のため、計画に基づいた改修を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却処理施設改修工事 150,555千円</li> <li>・破碎・資源化处理施設改修工事 32,400千円</li> </ul> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>182,955</td> <td>164,600</td> <td>18,355</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	182,955	164,600	18,355
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
182,955	164,600	18,355												
重点的に取り組む事項 及び変更点			クリニクルセンターの延命化及び費用負担の平準化を図るため、本年度も引き続き、焼却処理施設、破碎・資源化处理施設の計画的な改修を行う。											

#### 目 4 し尿処理費 (予算説明書P103～P104)

##### 1 し尿収集業務委託料 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	3	39,388	40,005	39,395	32,907
目的			し尿収集を効率的に実施することにより、し尿収集世帯の良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。			
事業内容			し尿収集運搬業務を民間事業者への委託により実施する。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			効率的な実施を図るため、本年度も引き続き、し尿収集を民間事業者に委託する。			

##### 2 し尿投入施設維持管理経費 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	1	3	51,396	49,802	49,802	5,117
目的			し尿及び浄化槽汚泥を下水道で処理するための前処理を行うし尿投入施設の維持管理を行い、生活排水の適正な処理を行うことを目的とする。			
事業内容			平成23年4月1日から本格始動したし尿投入施設の維持管理に要する経費を公共下水道事業特別会計に負担金として支出する。なお、本年度予算の増は、薬品費等の増加による。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、し尿投入施設の効率的かつ適切な維持管理を行い、生活排水の適正処理に努める。			

### 第5款 労働費 項1 労働諸費

#### 目 1 労働諸費 (予算説明書P105～P106)

##### 1 登別市シルバー人材センター補助金 (観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	3	2	8,800	8,800	8,800	9,500
目的			登別市シルバー人材センターの運営に対して補助することにより、高齢者の就業機会の確保や生きがいの充実、社会参加を図ることを目的とする。			
事業内容			高齢者の就業機会確保や生きがいの充実、社会参加の促進に取り組む登別市シルバー人材センターに対して補助を行う。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			高齢者の就業機会の確保、社会参加の促進を図るため、本年度も引き続き、登別市シルバー人材センターの活動を支援する。			

2 高校生のための企業見学会経費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	190	209	209	73
目的			就職を控えた高校生を対象に、働くことへの意識の醸成、地域産業や企業に対する理解を図るとともに、職業選択の視野を広げるなど、就職に向けた支援を行うことを目的とする。			
事業内容			<p>登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、高校生を対象に就職に向けての講座等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援講座（2年生時と3年生時に各市1日ずつ、各学年1回開催予定）</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			就職活動への更なる意識の醸成や実践に向けた講座となるよう内容の見直しを行う。			

3 雇用対策救援事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	26,902	27,533	27,533	22,096
目的			季節労働者とその家族の福祉を増進し、安定就労と社会生活の向上を目的とする。			
事業内容			<p>公共施設の清掃（通年）及び除雪（冬季）を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者の安定就労に取り組む。</p> <p>公共施設清掃分 4,203人工 冬季除雪分 1,900人工</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			季節労働者の安定就労と社会生活の向上を図るため、本年度も引き続き、公共施設の清掃及び除雪業務を企業組合に委託する。			

4 地域職業相談室運営管理経費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	2,852	2,868	2,868	2,787
目的			市民の就職の促進及び求職活動を行う市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室（ジョブガイドのぼりべつ）の運営管理を行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民の求職活動を支援するため、本年度も引き続き、地域職業相談室を開設・運営する。			

5 労働相談事業助成金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	1,000	1,000	1,000	1,000
目的			労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を図ることを目的とする。			
事業内容			連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、その実施に要する経費の一部を補助する。			
重点的に取組む事項及び変更点			労働環境の改善及び雇用の安定確保を図るため、本年度も引き続き、連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業を支援する。			

6 勤労者特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	35,000	35,000	35,000	15,000
目的			勤労者が生活に要する資金を調達する際の経済的負担を軽減し、市内に居住する勤労者の生活安定を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>市内に居住する勤労者が北海道労働金庫から低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を同金庫に預託する。</p> <p><b>【事業内容】</b>            (資金種別)            生活資金（一般）            1件あたり貸付限度額 100万円            償還期間 10年以内 利率2.28%            生活資金（特別）            1件あたり貸付限度額 30万円            償還期間 3年以内 利率1.00%            教育資金            1件あたり貸付限度額 150万円            償還期間 10年以内 利率1.94%</p>			
重点的に取組む事項及び変更点			勤労者の生活安定を図るため、本年度も市内勤労者に対する特別融資制度を継続する。			

7 若年者等キャリアカウンセリング試行事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	3,984	0	2,671	0
目的			市内施設にキャリアカウンセラーを配置し、就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、就職活動等において抱える不安や悩みなどについて個別の相談や助言などを行いながら労働観や職業観の醸成を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談（キャリアカウンセリング） <ul style="list-style-type: none"> <li>昼間相談 水・金曜日、午前8時30分～午後5時</li> <li>夜間相談 月～金曜日、午後5時以降（事前予約）</li> <li>休日相談 土曜日、午前10時～午後5時</li> </ul> </li> <li>・セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>年6回程度</li> </ul> </li> </ul>
重点的に取り組む事項 及び変更点	本年度は、同事業を利用しやすい体制にするため、相談日数及び相談時間を増やした。

#### 目4 職業訓練センター費（予算説明書P105～P108）

##### 1 事業所内職業訓練助成金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	2,300	2,300	2,300	2,100
目的			地域の企業や事業所で働く技能労働者に対して、が就業に必要な技能訓練を実施する登録職業訓練協会を支援し、人材の育成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>職業能力開発促進法に基づく認定訓練及び就業に必要な技能訓練を実施している登録職業訓練協会に対し、事業運営経費及び同協会の活動等を企業や市民へ理解を深めてもらうためのPRに要する経費の一部を助成する。</p> <p>【協会の活動内容】</p> <p>（職業訓練課程）</p> <p>2年間 木造建築科、建築板金科、建築塗装科 建築設計科</p> <p>1年間 経理事務科、OAシステム科</p>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			技能労働者の育成を図るため、本年度も引き続き、登録職業訓練協会が行う事業所内職業訓練を支援する。			

#### 第6款 農林水産業費 項1 農業費

##### 目2 農業総務費（予算説明書P109～P110）

##### 1 傷病鳥獣等保護経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	200	200	200	165



目的	北海道との協力により傷病鳥獣の保護を行うことにより、野生動物の保護・保全を図ることを目的とする。
事業内容	市民から通報を受けた傷病鳥獣を保護し、北海道の指示に従って動物病院等に搬送するなど、傷病鳥獣の保護に係る活動を行う。
重点的に取り組む事項 及び変更点	今年度も市民から通報を受けた傷病鳥獣を現場の状況に応じて適正な保護・保全に努め、鳥獣保護思想の普及啓発を図る。

## 2 有害鳥獣駆除経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	1,859	785	785	671
目的	有害鳥獣による農林業被害や生活環境被害を最小限に食い止め、安定した農業経営及び市民生活の維持を図ることを目的とする。					
事業内容	市民からの被害及び苦情相談に基づき、シカ・アライグマ・キツネ・カラスなど有害鳥獣の駆除を行う。なお、本年度予算の増は、シカ及びアライグマ等の駆除に重点的に取り組むこととし、これに係る経費を増額したことによる。					
重点的に取り組む事項 及び変更点	本年度は、シカやアライグマの被害が多発している状況を踏まえ、これらの駆除に重点的に取り組むこととし、捕獲に係る委託料や捕獲ワナの購入費等を増額した。					

## 3 農業振興特別補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	1,866	3,225	3,225	5,559
目的	土地改良事業に係る農業者の経済的負担を軽減し、土地改良事業の円滑な推進を図ることを目的とする。					
事業内容	昭和43年以降に実施した土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助する。					
重点的に取り組む事項 及び変更点	今年度も昭和43年以降に実施した土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助することで農業者の負担軽減を図り、地域農業の振興を推進する。					

## 4 担い手育成総合支援協議会負担金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	10	30	30	30
目的	他団体と設立した担い手育成に取り組む協議会の活動を通じ、農業の担い手の育成・確保を図ることを目的とする。					

事業内容	市・伊達市農業協同組合・胆振農業改良普及センター・農業者によって設立され、農業の担い手育成に向けた活動を行っている担い手育成総合支援協議会の活動に対して負担金を支出する。 【協議会の活動内容】 ・認定農業者制度の普及・推進 ・農業経営改善計画の作成指導 等
重点的に取組む事項及び変更点	草地畜産基盤整備事業（畜産担い手総合整備型）再編整備事業の実施に向けた連絡調整等を行う。

#### 5 農業経営基盤強化資金利子助成金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	45	45	45	0
目的			農地取得に係る農業者の負担を軽減することにより、農業経営の安定化を図ることを目的とする。			
事業内容			認定農業者が借り受ける農業経営基盤強化資金の利子の一部を助成する。 ・平成24年度助成予定額 45千円（1件）			
重点的に取組む事項及び変更点			今年度も認定農業者が借り受ける農業経営基盤強化資金の利子の一部助成を継続する。			

### 目3 畜産費（予算説明書P109～P110）

#### 1 胆振西部乳牛検定組合補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	429	429	429	429
目的			乳質改善に取り組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助する。 【組合の活動内容】 乳牛個体ごとの乳量や乳成分、飼料効果、繁殖記録などの成績について、コンピュータにより解析処理を行う。			
重点的に取組む事項及び変更点			今年度も乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保に向け事業を継続する。			

#### 2 酪農ヘルパー事業運営補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	539	720	720	720

目的	酪農ヘルパーの普及に取り組む団体の活動を支援することにより、酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。
事業内容	酪農ヘルパー事業の普及、ヘルパー要員の研修・確保を行う伊達市酪農ヘルパー利用組合に対して、運営費の一部を補助する。 なお、本年度予算の減は、補助金額算定基準の見直しによる。 【組合の活動内容等】 ・活動内容 ヘルパー要員の確保、利用農家との連絡調整等 ・加入農家数 9戸
重点的に取り組む事項 及び変更点	今年度も酪農家に定期的な休暇の取得をするよう呼びかけ、ゆとりある酪農経営の安定的な発展と生活環境の改善に向け、事業を継続する。

### 3 牧場管理経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	1,415	1,415	1,415	1,165
目的	市内酪農家の育成牛の預託を受けることによって、乳牛の飼養管理、酪農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。					
事業内容	指定管理により、市牧場（鉾山町）の草地の維持管理などを行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行う。 【事業内容】 草地維持管理事業、家畜防疫事業、預託牛飼育管理事業					
重点的に取り組む事項 及び変更点	今年度も酪農経営の安定的な発展及び生活環境の改善に向け、市牧場の開設を継続する					

## 目4 農地費（予算説明書P109～P110）

### 1 農業用施設等管理経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	775	715	715	514
目的	農業用施設の適切な維持管理を行い、もって市内農業の発展を支えることを目的とする。					
事業内容	農業用通路、農業用排水路などの補修等を行う。 【事業内容】 農業用通路の修繕、海岸吐口閉鎖除去作業等					
重点的に取り組む事項 及び変更点	今年度も農業用施設等の維持管理を行い被害防止に取り組む。					

目 5 中山間地域対策費 (予算説明書P109～P112)

1 中山間地域等直接支払交付金・中山間地域等直接支払推進事務費  
(観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	1,900	1,900	1,900	1,900
目的			農業生産条件の不利な中山間地域の農業者を支援することにより、中山間地域における耕作放棄地の発生防止、農地の多目的機能の確保を図ることを目的とする。			
事業内容			中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、中山間地域の農業者で構成する集落に対して交付金を交付する。 交付金1,770千円／事務費130千円 【事業内容】 ・交付対象 集落1カ所 ・交付集落における実施事業 牧草地の維持管理活動、雨水による草地流亡補修、家畜伝染病まん延防止対策			
重点的に取組む事項 及び変更点			今年度も集落協定に基づき急傾斜農地の保全のため集落の活動に対して、国や北海道とともに交付金を交付する。			

目 6 札内高原館費 (予算説明書P111～P112)

1 札内高原館運営管理経費 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	5,215	5,897	5,897	5,372
目的			地場農産物を活用した体験学習を提供することにより、体験型の特色ある農業の創出を図ることを目的とする。			
事業内容			札内高原館において、農畜産加工物に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放する。なお、本年度予算の減は、主に指定管理委託料の減額による。 【事業内容】 ・体験学習メニューの提供 (バターづくり、アイスクリームづくり) ・体育館等の開放 ・運営方法 指定管理 平成24年度～平成26年度			
重点的に取組む事項 及び変更点			体験学習やコミュニティ施設の利用促進に向け、本年度も引き続き、指定管理者と連携し、札内高原館の運営に取り組む。			

第6款 農林水産業費 項2 林業費

目1 林業振興費 (予算説明書P113～P114)

1 森林整備地域活動支援交付金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	1,125	1,216	1,216	1,215
目的			森林整備に向けた活動を行う団体等の活動を支援することにより、森林の有する多目的機能の確保を図ることを目的とする。			
事業内容			森林整備に向けた活動を行う団体等に対して、その活動に要する経費を補助する。 <b>【事業内容】</b> ・交付対象森林所有者 (予定) 17名 ・交付金対象面積 (予定) 250ha ・交付団体における実施事業 森林施業箇所までの作業路の点検、補修を実施し、作業路を整備する。			
重点的に取組む事項 及び変更点			今年度も森林施業箇所までの作業路の点検、補修に必要な経費について一定額を交付する。			

2 民有林造林推進事業補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
2	2	1	5,751	3,813	3,813	7,000								
目的			民有林に係る植栽、下刈等の活動を支援することにより、民有林の造林事業の推進を図ることを目的とする。											
事業内容			民有林造林事業のうち、国、道の補助を受けた植栽、下刈、除間伐事業を対象に、国、道の補助額を控除した残額の一部を補助する。 <b>【事業内容】</b> ・植栽面積：15.09ha ・下刈面積：121.77ha ・除間伐面積：5.86ha ・補助対象者：森林施業計画認定者 (民有林所有者) <b>【事業費の財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,751</td> <td>2,016</td> <td>3,735</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	5,751	2,016	3,735
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
5,751	2,016	3,735												
重点的に取組む事項 及び変更点			今年度も民有林に係る植栽、下刈等の活動を支援することにより、民有林の造林事業を推進する。											

3 森林愛護啓蒙事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	100	100	100	100
目的			山火事及び遭難防止、入山者のマナー啓発等の活動を行う団体を支援することにより、森林の保護及び森林に関連した事故の防止を図ることを目的とする。			
事業内容			森林愛護組合連合会が行う山火事及び遭難防止の巡視活動、啓発チラシの配布、看板設置等の事業に対し、その経費の一部を補助する。 【連合会の活動内容】 ・各単位組合による山火事注意啓発のためのノボリ・旗の設置 ・入山者に対する啓発巡視及びチラシの配布			
重点的に取組む事項及び変更点			今年度も山火事及び遭難防止の巡視活動、啓発チラシの配布、看板設置等の事業を推進し、森林愛護思想の普及啓発を図る。			

4 林業振興経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	1	692	401	401	546
目的			急傾斜地の保護などを行うことにより、地域住民の安全を確保するとともに、生活環境の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			森林の保護や治山施設の効果を高めるため、治山施設の修繕、保安林の保護等を行う。 【事業内容】 治山施設の修繕、保安林の保護、保安林内の雨水処理			
重点的に取組む事項及び変更点			今年度も保安林及び治山施設の維持管理を行い被害防止に取り組む。			

第6款 農林水産業費 項3 水産業費

目1 水産業総務費（予算説明書P115～P116）

1 地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	300	300	300	300
目的			いぶり中央漁業協同組合が行う地場水産物のPR事業等を支援することにより、地場水産物の消費拡大や地産地消の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施している「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助する。			

重点的に取組む事項 及び変更点	登別漁港産秋サケの鮮度をPRし、地場水産物の消費拡大を図るため、本年度も引き続き、いぶり中央漁業協同組合が行う「朝揚げ鮭の抽選即売会」を支援する。
--------------------	---

2 漁業専門員設置補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	1,200	1,200	1,200	1,200
目的			地域海洋特性に適した新しい資源づくりやつくり育てる漁業を推進することにより、漁業経営の安定を図ることを目的とする。			
事業内容			いぶり中央漁業協同組合が行う漁業専門員の配置事業に要する経費の一部を補助する。 【補助事業の内容】 ・漁業専門員 1名（白老町役場に配置） ・専門員の活動 ホッキ貝等の資源管理、ホッキ漁場の環境改善と空貝の有効活用、ウニの資源管理と増殖、ハタハタ漁場の活用、マツカワ稚魚の放流、エゾアワビの試験放流			
重点的に取組む事項 及び変更点			平成23年度からエゾアワビ人工種苗の試験放流を実施しており、本年度も引き続き、漁業専門員による生息漁場の環境、放流後の成長・残存等調査を実施するとともに、増殖の可能性について検討を行う。			

3 沿岸漁業構造改善事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	6,995	6,995	6,995	6,995
目的			いぶり中央漁業協同組合が行う沿岸漁業の生産基盤の整備や開発、経営近代化施設の導入を支援することにより、沿岸漁業の構造改善を促進し、もって沿岸漁業の発展を図ることを目的とする。			
事業内容			平成18年度にいぶり中央漁業協同組合が実施した衛生管理型荷捌施設（製氷・貯氷、冷蔵施設併設）の建設に要する経費の一部を補助する（10年間の債務負担行為を設定することにより年割で補助）。			
重点的に取組む事項 及び変更点			登別漁港では衛生管理型荷捌施設を中心とした品質・衛生管理の強化を図っており、これらの取り組みが付加価値化となるようPRする。			

4 登別救難所運営事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	250	250	250	250

目的	登別救難所の活動を支援することにより、安全な漁業活動を推進することを目的とする。
事業内容	海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う登別救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助する。 【登別救難所の活動内容】 定期訓練、三救難所合同夏季演習、海難防止パレード等
重点的に取組む事項 及び変更点	近年の当市海域においては、漁船による海難事故だけではなく、レジャー型海難事故も発生していることから、訓練による技術の向上を図り、海難事故時における救助活動の安定化を図る。

5 漁業近代化資金利子補給金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	668	845	845	779
目的	漁船買収等に係る漁業者の経済的負担を軽減することにより、漁業資本装備の近代化を促進することを目的とする。					
事業内容	漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対して、借入金利子の1%を補給する。 平成24年度新規貸付予定 20,000千円 平成24年度上期利子補給予定額 328,751円（11件） 下期利子補給予定額 338,869円（11件）					
重点的に取組む事項 及び変更点	いぶり中央漁業協同組合を通じた本融資制度の周知に努める。					

6 エゾアワビ種苗放流事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	354	300	300	0
目的	いぶり中央漁業協同組合が行う取組みを支援することにより、「つくり育てる漁業」や「新しい資源づくり」を推進することを目的とする。					
事業内容	試験的にエゾアワビの人工種苗を当市海域に放流し、生息環境や放流後の成長・残存等を調査し、増殖の可能性について調査を行ういぶり中央漁業協同組合に対し、事業費の一部を補助する。					
重点的に取組む事項 及び変更点	試験放流後の追跡調査において、採捕したエゾアワビが天然、人工の区別がつかないことから、今年度から人工種苗に金属タグを取付け放流する。					

7 西いぶり食の魅力向上研究会負担金【新規】（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	217	0	0	0



目的	西いぶり定住自立圏の提携事業を支援することにより、圏域における地産地消を促進することを目的とする。
事業内容	西いぶりの食材を使用したレシピ開発などを行う「西いぶり食の魅力向上事業」に係る費用の一部を負担する。

## 目 2 漁港管理費 (予算説明書P 1 1 5～P 1 1 6)

### 1 登別漁港維持管理事業補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	277	299	299	312
目的			漁港の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。			
事業内容			いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			今年度も漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。			

### 2 鷺別漁港維持管理事業補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	2	1	103	93	93	99
目的			漁港の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。			
事業内容			いぶり中央漁業協同組合に対して、鷺別漁港内の照明灯電気料の一部を補助する			
重点的に取り組む事項及び変更点			今年度も漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。			

## 第7款 商工費 項1 商工費

### 目 1 商工総務費 (予算説明書P 1 1 7～P 1 1 8)

#### 1 産業クラスター構築支援事業費 (観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	2	780	863	863	621

目的	基幹産業である観光を中心に地場の様々な産業との連携を図り、自立的発展が可能な複合的な産業構造を構築することを目的とする。
事業内容	滞在型・健康保養地型の新たな観光モデルの創出に向けた活動や観光と連携したブランド推進に向けた活動を行う。
重点的に取り組む事項及び変更点	観光を中心とした複合的な産業構造を構築するため、本年度も引き続き、観光と他産業の連携に向けた活動を行う。

## 2 起業化支援事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	2	3,000	3,000	3,000	3,000
目的			市内における起業化を支援することで、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>市内において、地域の資源や技術を活用した新たな地場製品の創出、新たな技術の事業化及び新たなサービスの提供を行う起業家の事業に対して、その要する経費の一部を補助する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>補助率 2分の1</p> <p>補助上限額 300万円</p> <p>補助予定件数 1件</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			市内の起業を促進し、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、地域資源を活用して新サービスの提供などを行う起業家を対象に補助金を交付する。			

## 3 ものづくり創出支援事業負担金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	2	2,600	2,600	2,600	1,942
目的			市内における新製品、新技術の創出や市場開拓に向けた動きを支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			市内中小企業が（財）室蘭テクノセンターが行う「ものづくり創出支援事業」を活用した場合にかかる経費を負担する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			新製品の開発や販路開拓を促進し、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、「ものづくり創出支援事業」の市内事業者活用分を負担する。			

## 4 新産業創造活動事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	600	600	600	0
目的			市内における新製品等の創出に向けた動きを支援することにより、複合産業の基盤をつくとともに、新産業創造の促進を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>地域の特性や技術などを活用した新技術、新製品、新サービス等の研究・開発事業を行う団体等の活動に対して、その要する経費の一部を補助する。</p> <p><b>【事業内容】</b>  補助率 2分の1  補助上限額 300千円  補助予定件数 2件</p>
重点的に取り組む事項 及び変更点	<p>新製品等の開発を促進し、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、地域資源の活用による商品開発の研究等を行う団体を対象に補助金を交付する。</p>

5 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	71	71	71	71
目的			札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を深めることにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催する。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			札幌圏に在住する関係者との経済交流を深め、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き実施する。			

6 中小企業相談事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	7,000	7,000	7,000	7,000
目的			市内商工業者を対象とした経営相談等を実施する登別商工会議所中小企業相談所を支援することにより、地場企業の発展と経営安定を図ることを目的とする。			
事業内容			市内商工業者に対する経営指導、相談、研修事業等を行う登別商工会議所中小企業相談所に対して補助する。 <b>【相談所の活動内容】</b> 相談事業、講演会等の開催、個別及び集団指導、金融斡旋			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市内商工業者の経営安定及び発展を図るため、本年度も引き続き、登別商工会議所中小企業相談所の活動を支援する。			

7 登別商工会議所事業推進補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	2,400	2,400	2,400	2,400
目的			登別商工会議所が市の事業と連携して行う事業を支援することにより、市が行う経済施策の効果をより大きなものとし、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。			

事業内容	登別商工会議所に対して、市と連携して行う事業に要する人件費の一部を補助する。 【補助対象予定事業】 登別ブランド推進事業、買い物支援トライアル事業、プレミアム建設券発行事業等
重点的に取り組む事項及び変更点	市が行う経済施策の効果をより大きなものとし、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、登別商工会議所が市と連携して行う活動を支援する。

8 中小企業特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	66,000	66,000	66,000	28,000
目的			中小企業の円滑な経営や積極的な事業に要する資金を低利で融資することにより、市内中小企業者の発展と経営安定を図ることを目的とする。			
事業内容			市内中小企業者が金融機関から低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。 【事業内容】 (資金種別) 一般事業資金、団体事業資金、小口事業資金、事業所開設資金、小規模商工業近代化資金、新分野進出支援資金			
重点的に取り組む事項及び変更点			市内中小企業者の経営安定及び発展を図るため、本年度も市内中小企業者に対する特別融資制度を継続する。			

9 商店街近代化融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	1,000	8,000	8,000	3,000
目的			北海道中小企業高度化資金貸付制度の対象となる商店街近代化事業に関する事業に対し、低利の融資を行うことにより、市内商業の振興を図ることを目的とする。			
事業内容			北海道の中小企業高度化資金貸付制度を利用する市内商店街振興組合等が、商店街の近代化事業に必要な資金を金融機関から低利で融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度は、市内商店街振興組合等の近代化事業計画がなく、融資残高分に対する預託となったが、迅速な支援を行うため、今後とも情報収集に努める。			

10 住宅改良促進特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	25,000	25,000	25,000	14,000

目的	住宅改良に要する資金を市内建築業者の利用を条件に低利で融資を行うことにより、市内産業の振興を図ることを目的とする。
事業内容	市民が市内の建築業者を利用して住宅改良を行う際に、金融機関から低利で融資を受けられるよう、融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。 【事業内容】 (資金種別及び利率) 住宅改築・改修 1.95% 住宅バリアフリー改良 1.75%、 新エネルギー関連改良 1.75% (融資条件) 1件当たり融資限度額 300万円 償還期間 10年以内
重点的に取組む事項 及び変更点	本年度から実施する住宅用太陽光発電システム設置補助金との併用を促すため、併せた広報等により、効果的な周知に努める。

11 中小企業特別融資利子補給金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	351	490	90	16
目的	中小企業の資金調達に係る負担を軽減することにより、その事業活動を支援し、市内中小企業者の発展と経営安定を図ることを目的とする。					
事業内容	中小企業特別融資制度の小口事業資金、団体事業資金、新分野進出支援資金の利用者を対象に、当該資金の借入残高に補給率を乗じた額を補給する。 【事業内容】 (補給率) 小口事業資金 年 0.40% 団体事業資金 年 1.50% 新分野進出支援資金 年 0.70% (補給予定数) 小口事業資金 9件 団体事業資金 1件 新分野進出支援資金 1件					
重点的に取組む事項 及び変更点	市内中小企業者の経営安定及び発展を図るため、本年度も対象融資制度の利用者に対する利子補給を継続する。					

12 登別ブランド推進事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	2	4,200	4,000	4,000	0
目的	市内の特産品のブランド化に取り組む協議会の活動を支援することにより、登別ブランド事業の推進を図り、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。					

事業内容	<p>登別ブランド推奨品の宣伝や販売促進、販路開拓に向けて支援を行う登別ブランド推進協議会に対して、その活動に要する経費を補助する。</p> <p><b>【補助事業の内容】</b>  登別ブランド事業推進のための各種活動、推奨品ポスター・パンフレットの作成、登別ブランド推奨認定事業者への物産展等出店支援等</p>
重点的に取り組む事項及び変更点	<p>登別ブランド事業を推進し、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、登別ブランド推進協議会の活動を支援する。</p>

13 商店街活性化事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	3,140	1,800	1,800	0
目的			<p>空き店舗を活用して新規出店する事業者を支援することにより、商店街の振興を図り、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>商店街の活性化を図るため、市が指定する地域において空き店舗を活用して新たに小売業等を出店する者に対して、その賃借料の一部を補助する。なお、本年度予算の増は、補助予定件数の増による。</p> <p><b>【事業内容】</b>  （補助金額）  空き店舗賃借料の2分の1以内（限度額 月額5万円）  （補助期間）  補助金交付開始月から12ヶ月以内  （補助予定件数）  6件</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			<p>商店街の振興により、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、空き店舗を活用した出店者を対象に補助金を交付する。</p>			

14 商業活性化事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	1,000	1,500	1,500	0
目的			<p>新たな買物支援モデルの構築に向けた取り組みを支援することにより、市内事業者の新たな事業展開を促進し、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>市内商業の活性化を図るため、登別商工会議所と商店会が連携し、地域密着型商業モデルの構築に向けて取り組む、買物支援トライアル事業実行委員会に対して補助する。</p> <p><b>【補助対象事業の内容】</b>  宅配サービス、斡旋サービス等</p>			

重点的に取り組む事項 及び変更点	市内商業者の新たな事業展開を促進し、地域経済の活性化を図るため、登別商工会議所と市内商店会が連携して行う買物支援トライアル事業を支援する。
---------------------	---

15 住宅用太陽光発電システム設置補助金【新規】(観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	3	4,416	0	0	0
目的			市内業者を利用して住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、その設置に要する経費の一部を支援することにより、市内建設業界の振興と再生可能エネルギーの普及促進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>国の補助金の交付を受け、自ら居住する市内の住宅に、市内に事業所を有する事業者等を利用して、新たに対象システムを設置する者等に対して、補助金を交付する。</p> <p>【事業内容】 (補助金額) 1キロワット当たり4万8,000円に、対象システムを構成する太陽電池の公称最大出力を乗じて得た額(4キロワットまでの額を上限) (補助予定件数) 23件</p>			

16 「まちの経済が見える」データ整備事業費(緊急雇用創出推進事業)【新規】  
(観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
3	1	—	3,403	0	0	0								
目的			既存データの集約・整理を行い、企業誘致やまちづくり等を展開するうえでの基礎データとしての活用を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>現在、市内の経済情勢を把握、分析できる資料が分散している状況であることから、緊急雇用創出推進事業を活用し、これらについて必要なデータを精査したうえで、データを集約・整理する。</p> <p>【雇用内容】 雇用人数 臨時職員2名 雇用日数 延べ447日</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,403</td> <td>3,403</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	3,403	3,403	0
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
3,403	3,403	0												

第7款 商工費 項2 観光費

目1 観光総務費 (予算説明書P119～P120)

1 登別観光協会助成金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	10,600	10,600	10,600	10,600
目的			登別観光協会の安定的な運営を支援することにより、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。			
事業内容			登別観光協会に対して、運営管理に係る経費の一部を助成する。 <b>【協会の活動内容】</b> ・観光協会管理事業（一般管理費） ・総務事業（まち傘設置などのホスピタリティ事業等） ・維持事業（街路灯、案内板等）			
重点的に取組む事項及び変更点			魅力ある観光地づくりを推進するため、本年度も引き続き、登別観光協会の活動を支援する。			

2 インフォメーションプラザ事業補助金【新規】（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	13,000	0	0	0
目的			さまざまな観光情報等の発信を通じて観光客の満足度を向上させ、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。			
事業内容			外国人を含む登別市を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、平成24年度から（社）登別観光協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して補助する。 <b>【事業内容】</b> （1）登別観光等の案内業務 （2）外国人観光客への通訳案内業務 （3）観光施設や観光イベント等のブログ作成・更新業務 （4）観光イベントや誘客事業における通訳業務 （5）観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務 （6）その他、インフォメーションプラザとして必要な業務 （7）登別観光会館整備業務 ① 1階に案内カウンター及び多目的トイレの新設 ② 2階に倉庫を新設 ③ 地下トイレ（男女）の洋式化及び内装の改修			

3 観光振興特別対策事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	41,900	41,900	41,900	41,900
目的			国内外に観光地「登別」の情報発信を行い、観光客の誘客促進を図り、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			登別観光協会が行う観光振興特別対策事業に対して、その要する経費の一部を補助する。 <b>【補助事業の内容】</b> （1）誘客宣伝委員会事業 ①観光客誘客宣伝の実施（道内・道外・海外）			



	<ul style="list-style-type: none"> <li>②近隣観光協会との協働による広域観光対策の推進及び共同宣伝の実施</li> <li>③パブリシティーの活用、各種取材に対する協力</li> <li>④ホームページ等情報コンテンツの充実強化</li> <li>⑤宣伝印刷物（周辺マップ等）の作成</li> </ul> <p>(2) まつりイベント委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特別イベント「鬼火が誘う地獄の谷」の実施</li> <li>②第49回登別地獄まつりの実施（8/25～26）</li> <li>③第42回登別温泉湯まつりの実施（2/3～4）</li> <li>④カルルス温泉冬まつりの実施・市内イベントへの協力</li> </ul> <p>(3) 環境整備委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①バイパス及び泉源公園等の花卉植栽による景観形成の推進</li> <li>②桜並木の整備及び温泉街の植樹事業の推進</li> <li>③周辺道路及び温泉街の美化活動</li> <li>④イルミネーション、ライトアップの実施</li> <li>⑤バスロータリーの維持管理及びシャトルバスの運行</li> <li>⑥事業系ゴミ収集事業の運営管理</li> <li>⑦エンマ堂の管理運営</li> </ul> <p>(4) 活性化部会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①豊富な温泉と多用な宿泊施設、そぞろ歩きのできる温泉街を利用した街の活性化事業</li> <li>②街づくり団体等との交流及び視察研修</li> </ul>
重点的に取り組む事項及び変更点	観光客の誘客促進を図り、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、登別観光協会の観光振興特別対策事業を支援する。

4 観光客誘客促進事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	6,437	7,636	7,636	4,278
目的			国内外からの観光客の誘客を促進し、市内経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>各種観光PRイベント等への参加やポスター、パンフレットの作成・配布など、誘客に資する事業に取り組む。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>(1) 道内・道外における観光宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光PRイベント等への参加</li> <li>②各種行事等における特産品の提供</li> <li>③新聞広告掲載</li> </ul> <p>(2) 各種観光パンフレット作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①冊子「湯之国 登別」 日本語版 50,000部</li> <li>②冊子「湯之国 登別」 英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語 各15,000部</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			地域経済の活性化を図るため、積極的に各種団体等と連携してイベントなどの観光PR事業等へ参加し、観光客の誘客促進を図る。			

5 観光ホスピタリティ推進事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	900	900	900	900
目的			地域ぐるみで観光客をもてなす魅力ある観光地づくりの推進を図ることを目的とする。			
事業内容			観光ボランティアガイド活動など観光ホスピタリティ事業に取り組む登別市観光ホスピタリティ推進協議会に対して、その要する経費の一部を補助する。 <b>【補助事業の内容】</b> (1) 自然観察事業（自然公園財団と共催） ①地獄谷散策会 ②日和山原生野草園等の植物観察会 ③橘湖散策会 (2) 観光ボランティア支援事業 ①観光ボランティアガイド活動 ②観光ボランティアガイド研修事業 ③観光ホスピタリティ推進協議会全道大会等参加			
重点的に取り組む事項及び変更点			地域ぐるみで観光客をもてなす魅力ある観光地づくりの推進を図るため、本年度も引き続き、登別市観光ホスピタリティ推進協議会の活動を支援する。			

6 フラワーファンタジーロード事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	650	650	650	0
目的			観光地の景観の向上を図り、花の観光を推進することを目的とする。			
事業内容			道道洞爺湖登別線（中登別）の中央分離帯等への草花の植栽及び維持管理を行う登別市観光ホスピタリティ推進協議会に補助金を交付する。 <b>【補助事業の内容】</b> 予定時期 5月～10月 事業内容 草刈及び草取り（期間中5回） 一年草、シバサクラの植栽			
重点的に取り組む事項及び変更点			観光地の景観の向上を図り、花の観光を推進するため、本年度も引き続き、登別市観光ホスピタリティ推進協議会が実施するフラワーファンタジーロード事業を支援する。			

7 観光PRキャラクター事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	125	125	125	0
目的			観光PRキャラクターの認定制度を設けることで、これを活用した観光誘客を図ることを目的とする。			

事業内容	観光振興に資する活動をしているキャラクターを対象に、「観光PRキャラクター」に認定し、誘客宣伝活動等に活用することで、登別市の魅力を広く広報し、登別市の知名度の向上を図り、もって地域経済活性化を図る。
重点的に取り組む事項 及び変更点	キャラクター（着ぐるみ）は誘客宣伝活動の場において集客力があることから、より広い場面での活用を図るとともに、市内で実施されるイベント等にも活用することで、市民認知度の向上を図る。

8 登別地獄まつり半世紀記念事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	1,922	1,721	789	0
目的	登別地獄まつり等への市民の参加を促進することにより、登別温泉やカルルス温泉、上登別温泉への親近感をもってもらい、市民を通じて広く当市観光情報の提供を図り観光誘客につなげることを目的とする。					
事業内容	<p>市民に登別温泉やカルルス温泉、上登別温泉をより身近に感じてもらうため、観光イベントスタッフや地獄まつりの鬼おどりへの参加を促し、併せて町内会行事での温泉利用を促進する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>(1) 登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業</p> <p>①参加者に対する日帰り入浴券交付</p> <p>②送迎バスの調整・運行</p> <p>(2) 市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業</p> <p>①宿泊利用券交付</p> <p>②日帰りプラン利用券交付</p>					
重点的に取り組む事項 及び変更点	前年度事業実績等により、連合町内会事業部会等と協議を行い、更なる登別地獄まつりへの参加促進を図るとともに、日帰りプラン利用券交付により、市内温泉ホテル・旅館等の利用促進を図る。					

目2 観光施設費（予算説明書P119～P120）

1 観光施設維持管理経費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	2,656	2,671	2,671	3,055
目的	観光施設の維持管理や景観の美化向上に努めることにより、安心・安全な魅力ある観光地づくりを目的とする。					

事業内容	<p>国立公園内において観光客の安全を確保し、快適に各施設を利用できるように、各観光施設の維持管理を行うとともに美化清掃等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 国立公園内観光施設維持事業</p> <p>(2) 国立公園清掃活動事業補助金 国立公園内の清掃美化、施設の小破修繕等を実施している一般財団法人自然公園財団登別支部に対し、補助金を交付</p> <p>(3) カルルス温泉駐車場トイレの清掃業務 観光客に快適に利用してもらうため、カルルス温泉町内会に委託して実施</p>
重点的に取り組む事項及び変更点	<p>観光施設の維持管理や景観の美化向上に努め、安心・安全な魅力ある観光地づくりを推進するため、本年度も引き続き、観光施設の適切な維持管理に努める。</p>

### 目3 温泉供給管理費 (予算説明書P119～P120)

#### 1 温泉供給施設維持管理経費 (観光経済部観光振興G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	1	10,265	8,881	8,881	9,954
目的			<p>上登別地区への安定的な温泉供給を図り、観光地の多様性を確保し、もって魅力ある観光地づくりの推進を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>上登別地区への温泉供給及び温泉供給施設の維持や補修等を行う。</p> <p>温泉供給予定件数 営業用4件／一般用26件</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			<p>上登別地区への安定した温泉供給を図るため、引き続き温泉供給施設の適切な維持補修に努める。</p>			

### 第8款 土木費 項1 土木管理費

#### 目1 土木総務費 (予算説明書P121～P122)

##### 1 のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費 (都市整備部管理G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
6	1	2	340	349	349	322
目的			<p>2名以上で構成する団体がボランティアで道路等の清掃美化活動を行うアダプトプログラムを実施することにより、市民との協働できれいなまちづくりを推進することを目的とする。</p>			

事業内容	2名以上で構成する団体が道路・公園・河川敷など公共施設の里親となり、清掃や美化のボランティア活動を行うアダプトプログラムを実施する。 【事業内容】 参加予定団体数 38 団体 活動個所 45 個所（道路 19 個所 公園 12 個所 河川 14 個所）
重点的に取り組む事項 及び変更点	市民との協働によりきれいなまちづくりを推進するため、本年度も引き続き、アダプトプログラムによる道路等の清掃を実施する。

## 第8款 土木費 項2 道路橋梁費

### 目1 道路橋梁総務費（予算説明書P123～P124）

#### 1 道路台帳図作成委託料（都市整備部管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	5,300	5,500	5,500	5,198
目的			新規認定した路線等の現況測量及び台帳作成等を行うことにより、市道の適切な管理を遂行することを目的とする。			
事業内容			新規（変更）認定した路線の現況測量・台帳作成、道路工事により整備された道路の台帳修正等を委託により実施する。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市道の適切な管理を行うため、本年度も引き続き、新規認定路線等の現況測量及び台帳作成等を着実に実施する。			

#### 2 市道用地確定測量委託料（都市整備部管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	4,000	4,100	4,100	1,752
目的			市道用地の現況測量や用地確定測量を行うことにより、市道の適切な管理を遂行することを目的とする。			
事業内容			道路整備を完了している市道のうち、未処理となっている用地の現況測量や用地確定測量を行う。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市道・排水路用地の未処理用地について、適切な管理を行うため、用地確定測量を実施していく。			

#### 3 市道用地買収費（都市整備部管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	9,714	1,345	1,345	4,293

目的	未処理用地の買収を行うことにより、市道の適切な管理を遂行することを目的とする。
事業内容	道路整備を完了している市道の未処理用地のうち、市道用地確定測量を行った用地の買収を行う。なお、本年度予算の増は、道道上登別室蘭線と市道との取付部分の用地買収費を計上したことによる。
重点的に取組む事項及び変更点	市道の適切な管理を行うため、本年度も引き続き、未処理用地の買収を着実に実施する。

#### 4 橋梁長寿命化計画策定委託料（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
4	3	1	9,400	7,300	2,069	1,827								
目的			高齢化橋梁の増大が見込まれる状況を踏まえ、橋梁の健全度を把握するための点検を行い、修繕等の計画を策定することにより橋梁の長寿命化を図り、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。											
事業内容			<p>市道以外の市で管理している橋梁について点検を行う。また、昨年度までに行った市道に架かる橋梁点検結果を踏まえ、修繕、架替を見据えた橋梁長寿命化修繕計画を策定する。</p> <p>併せて、既存橋梁のうち、耐震化の補強を必要とする橋梁について耐震検討を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>点検対象橋梁 14橋          計画策定橋梁 100橋          耐震検討橋梁 7橋</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,400</td> <td>3,850</td> <td>5,550</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		国庫支出金	一般財源	9,400	3,850	5,550
事業費	財源内訳													
	国庫支出金	一般財源												
9,400	3,850	5,550												
重点的に取組む事項及び変更点			歩行者及び通行車両の安全を確保しつつ、修繕、架替の総費用を縮減するため、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。また、震災時における歩行者及び通行車両の避難通路を確保するため、耐震検討を行う。											

## 目2 道路維持費（予算説明書P123～P124）

### 1 ロードマーク設置費（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	3	1,500	1,500	1,500	1,386

目的	ロードマーク管理を適切に行うことにより、通行車両の安全確保を図ることを目的とする。
事業内容	車道センターライン及びドット線等の区画線塗布を行う。
重点的に取組む事項及び変更点	本年度も引き続き、車両走行による摩擦や除雪により、消耗し不明確となっている区画線等について施工を行い、通行車両の安全確保に努める。

## 2 除雪委託料（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	55,000	55,000	55,000	81,161
目的			冬期間の市道管理を適切に行うことにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容			業務委託により、市道の除雪や凍結防止剤の散布を行う。 <b>【事業内容】</b> (対象路線) 車道除雪 1,136 路線 除雪延長 L= 267.8Km 歩道除雪 101 路線 除雪延長 L= 42.5Km 凍結防止剤散布 140 路線 散布実延長 L= 60.0Km (除雪実施要件) おおむね降雪量 15 c m を基準に路面状況を考慮して出動			
重点的に取組む事項及び変更点			本年度も引き続き、除雪及び凍結防止剤散布の出動時期を適切に判断し、冬期間における歩行者及び通行車両の安全確保に努める。			

## 3 冬道対策経費（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	5,050	6,055	6,055	4,057
目的			冬期間の市道管理を適切に行うことにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容			すべり止め用砂箱等の補修や砂及び凍結防止剤の購入を行う。			
重点的に取組む事項及び変更点			本年度も引き続き、適切な冬道対策を実施し、冬期間における歩行者及び通行車両の安全確保に努める。			

## 4 市道常時補修費（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	70,897	71,950	71,950	70,849
目的			市道の適切な維持管理を行うことにより、歩行者や通行車両の安全確保を図ることを目的とする。			

事業内容	市道の維持管理・補修、排水及び路面清掃、道路沿線草刈り、道路パトロール委託を実施する。
重点的に取り組む事項及び変更点	本年度も引き続き、適切な市道維持に努めるほか、効果的な排水路清掃等に努め、歩行者や通行車両の安全確保を図る。

### 目 3 道路新設改良費 (予算説明書P 1 2 3～P 1 2 4)

#### 1 道路排水対策事業費 (都市整備部土木G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
2	3	1	150,000	169,800	172,800	0								
目的			大雨に伴う道路冠水による交通障害、宅面浸水等の被害防除を目的とする。											
事業内容			<p>大雨に伴う道路冠水多発地域を対象に、排水路改良、排水路清掃などの対策を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象地域 美園町、若草町、新生町、富岸町、中央町、常盤町外</li> <li>・実施内容 (排水工) 排水路改良工事 L = 850m (排水路清掃) 幹線排水路清掃工 L = 2,300m (実測実施設計) 測量調査委託 一式 実施設計委託 一式</li> </ul> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150,000</td> <td>121,500</td> <td>28,500</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	150,000	121,500	28,500
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
150,000	121,500	28,500												
重点的に取り組む事項及び変更点			全体計画に基づき、大雨による道路冠水多発地域を対象とした道路排水事業を着実に実施する。											

#### 2 道道上登別室蘭線中央通改良受託事業費 (都市整備部管理G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	261,200	261,303	211,851	145,541
目的			北海道の委託を受けて、市内の道道改良整備の一部を担うことにより、市の総合的な交通網の整備を推進することを目的とする。			



事業内容	<p>現在、北海道により進められている道道上登別室蘭線（若山地区）の拡幅改良整備事業のうち、用地補償業務を北海道の委託を受けて実施する。また、拡幅改良整備に伴い生じる残地買収に係る経費を市の単独事業として予算計上している。</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">事業費</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">財源内訳</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">道支出金</td> <td style="text-align: center;">一般財源</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">261,200</td> <td style="text-align: center;">245,200</td> <td style="text-align: center;">16,000</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	261,200	245,200	16,000
事業費	財源内訳								
	道支出金	一般財源							
261,200	245,200	16,000							
重点的に取組む事項 及び変更点	市の総合的な交通網の整備に資するため、用地補償業務を実施する。								

### 3 広域幹線、市内幹線道路網の整備（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	92,850	130,753	171,910	203,751
目的			市内の幹線道路及び生活道路の改良等を行うことにより、総合的な道路交通網の整備や通行者の安全を確保することを目的とする。			
重点的に取組む事項 及び変更点			道路交通網の整備や通行者の安全を確保するため、引き続き市内の幹線道路及び生活道路の改良等を行う。			

#### ○市道舗装排水整備事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
	57,450	48,053	92,553	111,874								
事業内容	<p>市道の改良、舗装及び排水路工事、並びに工事に伴う測量調査及び実施設計委託を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>道路改良工事 7本 L=321m  道路舗装工事 2本 L=235m  排水路工事 2本 L=110m</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">事業費</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">財源内訳</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市債</td> <td style="text-align: center;">一般財源</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">57,450</td> <td style="text-align: center;">49,300</td> <td style="text-align: center;">8,150</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	57,450	49,300	8,150
事業費	財源内訳											
	市債	一般財源										
57,450	49,300	8,150										

○鷺別30号線改良事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
		24,400	39,700	39,700
事業内容	鷺別30号線の改良舗装工事を実施する。			
	【事業内容】			
	道路改良舗装 L=76m W=7.0m+2.5m			
	移転補償 一式			
事業内容	【財源内訳】			
	事業費	財源内訳		
		国庫支出金	市債	一般財源
	24,400	13,800	9,500	1,100

○登別温泉中央通り改良事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
		11,000	11,000	10,550
事業内容	登別温泉中央通りの排水路及び改良工事を実施する。			
	【事業内容】			
	排水工 L=110m			
	路肩工 L=110m			
事業内容	【財源内訳】			
	事業費	財源内訳		
		市債	一般財源	
	11,000	9,900	1,100	

目4 橋梁維持費 (予算説明書P123~P126)

1 橋梁維持補修経費 (都市整備部土木G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	3	1	1,990	1,988	1,988	1,634
目的			橋梁の適切な維持管理を行うことにより、歩行者や通行車両の安全確保を図ることを目的とする。			
事業内容			橋梁の維持管理・補修を実施する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			歩行者や通行車両の安全確保を図るため、引き続き定期的な点検を行うとともに、橋梁施設の維持管理・補修を行う。			

第8款 土木費 項3 河川費

目2 河川維持費 (予算説明書P127~P128)

1 河川維持補修経費（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	1	4,250	7,250	7,250	2,860
目的			河川の適切な維持管理を行うことにより、治水対策の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			河川施設の修繕及び河川堤防の草刈り、河道の浚渫等を実施する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度も引き続き、治水対策の推進を図るため、河川環境の維持及び河川施設の維持管理・補修を行う。			

2 河川防護柵設置事業費（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	3	1	1,500	800	800	7,854
目的			河川施設の適切な維持管理を行うことにより、市民の安全確保の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			上鷲別川に河川防護柵を設置する。 【事業内容】 河川防護柵設置 L= 59m			
重点的に取り組む事項及び変更点			歩行者の安全確保を図るため、本年度該当箇所への河川防護柵設置を着実に実施する。			

目3 河川改良費（予算説明書P127～P128）

1 ポンヤンケシ川改修事業費（都市整備部土木G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
2	3	1	6,100	24,300	10,000	9,765								
目的			適切な河川整備を行い、治水対策の推進を図ることを目的とする。											
事業内容			ポンヤンケシ川の河川整備を行うにあたり、これに要する用地の買収を実施する。 【財源内訳】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,100</td> <td>5,400</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	6,100	5,400	700
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
6,100	5,400	700												
重点的に取り組む事項及び変更点			防災機能の向上と暮らしにおける安全・安心の確保を図るため、河川整備を進める。											

2 上鷺別富岸川改修事業費【新規】(都市整備部土木G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
2	3	1	10,500	0	0	0								
目的			適切な河川整備を行い、治水対策の推進を図ることを目的とする。											
事業内容			上鷺別富岸川側壁の改修を実施する。 <b>【事業内容】</b> 河川構造物改築工事 L=20m  <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,500</td> <td>9,400</td> <td>1,100</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	10,500	9,400	1,100
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
10,500	9,400	1,100												

第8款 土木費 項4 都市計画費

目2 公園管理費 (予算説明書P129～P130)

1 公園維持管理経費(都市整備部都市計画・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	2	1	86,562	87,464	87,464	83,442
目的			市内132か所の公園・広場や街路樹の適切な維持管理を行うことにより、生活に身近な公園・広場等を保全し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。			
重点的に取組む事項及び変更点			公園施設を適正に維持管理するため、本年度も引き続き安全点検に重点的に取り組む。			

※本年度当初予算等には下記3事業のほか事務費を含む。

○登別ビーチパーク分

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	15,140	15,262	15,262	15,363
事業内容	登別ビーチパークの維持管理を行う。			

○指定管理者維持管理公園分

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	34,038	34,110	34,110	32,692
事業内容	亀田記念公園、若草中央公園、富岸公園、新川公園、らいば公園及び川上公園(Aゾーン)の維持管理を行う。			

○その他公園分

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	37,012	37,677	37,677	34,327
事業内容	登別ビーチパーク、指定管理者による維持管理公園を除く、124か所の公園・広場と街路樹の維持管理を行う。			

2 街区公園等清掃交付金（都市整備部都市計画・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	2	1	640	640	640	640
目的			街区公園等の維持管理を町内会等の協力を得ながら行うことにより、生活に身近なこれらの公園等の景観を保持するなど、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。			
事業内容			地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付する。 【事業内容】 実施予定町内会等 40 町内会等 実施予定公園数 54 か所			
重点的に取組む事項及び変更点			市民との協働により、快適な住環境づくりを推進するため、本年度も引き続き、街区公園等の維持管理を行う町内会に交付金を交付する。			

3 都市公園施設長寿命化事業費（都市整備部都市計画・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額											
4	2	1	37,100	40,610	40,610	0											
目的			都市公園施設の計画的な改築等を行うことにより、公園施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。														
事業内容			都市公園を対象に、計画的に公園施設の改築、修繕を行う。 【事業内容】 ・公園施設改築 4公園 ・実施設計 一式 ・公園施設修繕 一式  【財源内訳】														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37,100</td> <td>17,000</td> <td>16,800</td> <td>3,300</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	37,100	17,000	16,800	3,300
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
37,100	17,000	16,800	3,300														
重点的に取組む事項及び変更点			都市公園施設長寿命化計画に基づき、本年度も引き続き、公園施設の改築、修繕に取り組む。														

4 公園・広場便所整備事業費【新規】(都市整備部都市計画・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
4	2	1	10,000	0	0	0								
目的			公園・広場の老朽化した未水洗便所を水洗便所に改築することにより、安全性及び衛生面の向上を図り、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。											
事業内容			<p>公園・広場の老朽化した未水洗便所を対象に改築を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・便所改築 2か所</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,000</td> <td>7,500</td> <td>2,500</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	10,000	7,500	2,500
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
10,000	7,500	2,500												

5 若草6丁目広場敷地購入費【新規】(都市整備部都市計画・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
—	—	—	60,812	0	0	0								
目的			供用済土地の買い取りを進め、登別市土地開発公社の経営健全化を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>登別市土地開発公社が所有する若草6丁目広場敷地の買い取りを行う。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若草6丁目広場敷地の取得 取得面積 998㎡ 取得金額 60,812千円</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60,812</td> <td>45,600</td> <td>15,212</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	60,812	45,600	15,212
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
60,812	45,600	15,212												

目3 公園事業費 (予算説明書P129～P132)

1 キウシト湿原緑地保全事業費 (都市整備部都市計画・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	32,800	42,000	42,000	33,895
目的			キウシト湿原の管理などに必要な施設整備や用地の取得を行うことにより、湿原の保全と利活用を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>キウシト湿原の保全と利活用を図るために必要な施設整備と用地取得を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場整備 一式</li> <li>・ 用地買収 一式</li> </ul> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="3">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>32,800</td> <td>15,000</td> <td>16,000</td> <td>1,800</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	32,800	15,000	16,000	1,800
	事業費		財源内訳									
国庫支出金		市債	一般財源									
32,800	15,000	16,000	1,800									
重点的に取組む事項及び変更点	平成26年度の供用開始を目指し、本年度も引き続き、施設整備と用地取得に取り組む。											

#### 目 4 緑化推進費 (予算説明書P 1 3 1～P 1 3 2)

##### 1 緑化推進経費 (都市整備部都市計画・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	3,969	4,813	4,813	4,225
目的			市民参加による各種事業を行うことにより、みどり豊かなまちづくりの推進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民緑化推進事業 (6月実施予定) 公共施設に植栽する樹木や花苗を町内会等へ配布する。</li> <li>・ 沿道美化事業 (4月及び7月実施予定) 道道弁景幌別線などの沿道へ花苗を植栽する。</li> <li>・ 試験育苗事業 6団体の参加のもと、ビニールハウス内で花苗の試験育苗を行い、その花苗を公共花壇等へ植栽する。</li> <li>・ みどりの講習会 (5月及び6月実施予定) 花壇用の土づくり講習会、寄せ植え講習会を開催する。</li> <li>・ グリーンデータバンク 家庭で育てられなくなった樹木等の有効活用を図るため、受け取り希望者への仲介を行う。</li> </ul>			
重点的に取組む事項及び変更点			みどり豊かなまちづくりの推進に向け、本年度も引き続き、市民や関係団体と連携を図り、各種事業に取り組む。			

##### 2 交流の森づくり事業費 (都市整備部都市計画・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	4,400	1,100	1,100	0

目的	友好交流都市等の人々が植樹する場の整備を行うことにより、植樹を通じて親睦を深めることができるとともに、交流の森として整備を行うことにより、観光資源としての活用を企図することを目的とする。
事業内容	<p>札内町に存する市有地（日本工学院北海道専門学校前付近）において、植樹場所の整備を行うとともに施設整備を行う。</p> <p>なお、本年度予算の増は、植樹場所の拡大に向け雑木伐採等に係る経費を増額したことと道道から植樹場所へ進入する通路の整備に係る経費を計上したことによる。</p> <p><b>【事業内容】</b>          進入路整備 一式          雑木伐採等 一式</p>
重点的に取組む事項及び変更点	植樹者等が植樹場所へ円滑に進入するための通路の整備や雑木等の伐採による植樹場所の拡大に取り組む。

## 第8款 土木費 項5 住宅費

### 目1 住宅管理費（予算説明書P133～P134）

#### 1 市営住宅幼児遊園遊具改修事業費【新規】（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	2	2	3,000	0	0	0
目的			破損や劣化している既存市営住宅幼児遊園遊具の修繕を行うことにより、利用者が安全で安心できる住環境の形成を図ることを目的とする。			
事業内容			破損や重度の劣化がある状態の遊具から順次、修繕を行う。 <b>【事業内容】</b> 市営住宅幼児遊園遊具修繕			

### 目3 住宅建設費（予算説明書P133～P136）

#### 1 市営住宅（柏木団地）大規模改修事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	2	2	88,500	30,000	24,568	0
目的			老朽化した既存市営住宅の改修を行うことにより、良好な住宅ストックを形成し、長寿命化を図ることを目的とする。			



事業内容	市営住宅柏木団地の外壁下地改修、塗装及び屋根鉄板の葺き替えを行う。 【事業内容】 改修棟数 3棟 工事内容 外壁下地改修一式、外壁塗装一式、 屋根葺替一式 【財源内訳】			
	事業費	財源内訳		
		国庫支出金	市債	一般財源
	88,500	33,750	54,700	50
重点的に取組む事項 及び変更点	昨年度から改修事業を実施しているが（1棟改修）、全体的に老朽化が著しいことから本年度は3棟を実施する。			

## 2 市営住宅（登別旭団地）建替事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額											
4	2	2	155,617	10,520	9,828	0											
目的			老朽化した市営住宅の建替を行うことにより、良好な住宅ストックの形成を図ることを目的とする。														
事業内容			<p>昨年度実施した実施設計に基づき、市営住宅登別旭団地の建替を行う。なお、本事業は、平成24年度～25年度の2カ年で工事完了する予定である。</p> <p>【事業内容】 平成24年度整備棟数 2棟（全体4棟）</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="3">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>155,617</td> <td>45,196</td> <td>110,400</td> <td>21</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	155,617	45,196	110,400	21
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
155,617	45,196	110,400	21														
重点的に取組む事項 及び変更点			誰もが安心して暮らすことのできるようユニバーサルデザインに配慮した整備を実施する。														

## 3 市営住宅周辺整備事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	2	2	4,100	1,900	1,638	0
目的			老朽化した既存物置の更新整備を行うことにより、居住環境の改善を図ることを目的とする。			

事業内容	市営住宅柏葉団地の物置の建替を行う。 【事業内容】 改修棟数 物置 1 棟 工事内容 物置建替一式 【財源内訳】	
	事業費	財源内訳
	4,100	国庫支出金 2,050 一般財源 2,050
重点的に取り組む事項 及び変更点	物置の建替えに際しては、入居者のニーズに配慮した広さの確保を図るよう努める。	

#### 4 市営住宅屋根外壁改修事業費【新規】(都市整備部建築住宅G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
4	2	2	6,800	0	0	0
目的			老朽化した既存市営住宅の屋根及び外壁等の改修を行うことにより、良好な住環境及び施設の安全性の確保を図ることを目的とする。			
事業内容	既存市営住宅の屋根塗装、屋根鉄板の葺き替え及びベランダ笠木の取替を行う。 【事業内容】 千代の台団地～改修棟数 1 棟 工事内容 屋根塗装改修一式 見晴団地～改修棟数 1 棟 工事内容 屋根一部葺替一式 千歳団地～改修棟数 1 棟 工事内容 ベランダ笠木改修一式 【財源内訳】					
	事業費	財源内訳				
	6,800	市債 5,100 一般財源 1,700				

### 第9款 消防費 項1 消防費

#### 目1 常備消防費 (予算説明書P137～P138)

##### 1 消防用半自動式除細動器購入費【新規】(消防本部警備G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	2	3	3,545	0	0	0

目的	救急医療体制の整備を行うことを目的とする。								
事業内容	<p>消防署登別温泉支署配置救急2号車積載の半自動式除細動器（日本光電工業株式会社製TEC-2213）は平成13年度に高度救急資器材事業により導入し10年が経過しており、老朽化が著しいことから、半自動式除細動器を更新する。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,545</td> <td>3,545</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	3,545	3,545	0
事業費	財源内訳								
	道支出金	一般財源							
3,545	3,545	0							

2 救助工作車更新事業費【新規】（消防本部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額														
2	3	2	84,846	0	0	0														
目的			老朽化した救助工作車を更新することにより、消防体制の強化を図ることを目的とする。																	
事業内容			<p>昭和62年度に購入した救助工作車（消防署配置）は、車両本体及びクレーン油圧装置、発電照明装置、救助用資器材の経年劣化等のため更新する。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>市債</th> <th>基金繰入金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84,846</td> <td>10,760</td> <td>40,800</td> <td>28,647</td> <td>4,639</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳				道支出金	市債	基金繰入金	一般財源	84,846	10,760	40,800	28,647	4,639
事業費	財源内訳																			
	道支出金	市債	基金繰入金	一般財源																
84,846	10,760	40,800	28,647	4,639																

目2 非常備消防費（予算説明書P137～P138）

1 消防団救命胴衣購入費【新規】（消防本部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
2	3	2	1,039	0	0	0								
目的			市民の生命・身体・財産を災害から守るため、消防団員用の装備品の整備を行うことを目的とする。											
事業内容			<p>津波災害や大雨災害等の活動時における消防団員の安全確保のため、非常勤消防団員用救命胴衣を購入する。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>諸収入</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,039</td> <td>1,000</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		諸収入	一般財源	1,039	1,000	39
事業費	財源内訳													
	諸収入	一般財源												
1,039	1,000	39												

## 第10款 教育費 項1 教育総務費

### 目3 指導教育研究費 (予算説明書P141～P144)

#### 1 不登校・いじめ等対策経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	1	203	212	212	156
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。			
事業内容			教育指導専門員による相談や研修会の開催、広報紙による啓発などを行う。 <b>【事業内容】</b> 教育指導専門員2名配置 月～金 9:00～17:00 教育相談及びいじめ相談電話 6件(随時受付) 不登校・いじめ等対策会議 2回(5月・2月) 教職員を対象とした研修会 2回(6月・11月) ふれあいサポート懇談会 2回(7月・10月) 「いじめ学習資料」の配布 1回 広報紙「手をつなぐ親と子」 3回発行			
重点的に取り組む事項及び変更点			いじめ、不登校問題の解決には、児童生徒、保護者、学校、地域などの相互連携が不可欠であることから、スクールソーシャルワーカーの配置や教職員のスキル向上のための継続的な研修を実施する。			

#### 2 スクールカウンセラー活用事業費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	1	93	93	93	252
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。			
事業内容			臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図る。 <b>【事業内容】</b> ・配置校及び予定日数(拠点校方式) 西陵中学校31日 緑陽中学校31日 鷺別中学校31日			
重点的に取り組む事項及び変更点			児童・生徒が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数の増加が予想されることから、平成23年度より1名体制から2名体制とし、一層のカウンセリング機能の充実を図っていく。			

#### 3 心の教室相談員活動経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	1	184	189	189	1,688

目的	不登校やいじめ等を未然に防止するため、生徒が心にゆとりを持ちストレスをためることのない環境をつくることを目的とする。
事業内容	生徒の悩み相談等に応じる心の教室相談員を全中学校に配置する。 【事業内容】 配置人数 各校1人 配置予定日数 幌別中学校80日 西陵中学校80日 鷺別中学校80日 登別中学校80日 緑陽中学校80日
重点的に取り組む事項 及び変更点	児童・生徒が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数の増加が予想されることから、カウンセリングの機能充実を図っていく。

#### 4 特色ある学校づくり推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	4,007	4,121	3,771	3,814
目的	地域の特性を活かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。					
事業内容	総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進する。 【事業内容】 ・登別温泉入浴体験事業（各小学校3年生） 参加対象児童 462名 ・総合的な学習活動研究推進事業（全小・中学校） 講師講演、野外体験学習、職場体験学習など ・生活科実施等経費（各小学校1・2年生） 動物の飼育や学校菜園					
重点的に取り組む事項 及び変更点	産業や自然など地域の素材を活用した、ものづくりや社会体験・観察を通じて、児童・生徒の、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成を図る。					

#### 5 自然体験学習推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	662	618	618	588
目的	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育むことを目的とする。					
事業内容	ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行う。					
重点的に取り組む事項 及び変更点	教室では学ぶことのできない事柄に触れ、児童・生徒に学ぶことの楽しさを実感させる。また、様々な活動を通して児童・生徒の社会性・自主性の育成を図る。					

6 小中学校情報教育推進事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	17,899	21,047	21,047	36,949
目的			情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことを目的とする。			
事業内容			<p>パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することで、情報教育の推進及び校務の効率化を図る。本年度は、再リース契約の増加によるパソコンリース料の減などにより予算額が減額となっている。</p> <p><b>【事業内容】</b>                      パソコン設置台数                      小学校200台 中学校205台                      学校事務14台 教員用280台 学校図書館14台                      教育委員会3台 計716台</p>			
重点的に取組む事項及び変更点			家庭においてパソコン等の情報通信機器を有しない子どもたちにとっては、情報通信技術（IT）に触れる貴重な機会であり、子どもたちへの情報教育は欠くことのできない教育であることから、情報教育の推進及び充実に努める。			

7 言語障害通級指導教室運営経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	165	165	165	209
目的			言語障がい児教育の充実・伸展を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b>                      平成23年度通級児童数（平成24年1月末現在）                      小学部 56名 幼児部 38名</p>			
重点的に取組む事項及び変更点			言語治療を必要とする幼児・児童の個別指導への環境を整えながら、言語障がい児教育の充実に努める。			

8 特別支援教育振興費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	362	362	362	347
目的			心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すことを目的とする。			
事業内容			<p>特別支援教育の指導内容の研究、実践等を図る。</p> <p><b>【事業内容】</b>                      ・市内小中学校特別支援学級の合同学習を通じた交流事業                      ・就学指導に関わる諸検査等の研修会                      ・全道研究集会 ・地区研修交流会 ・地区会報発行</p>			

重点的に取組む事項 及び変更点	障がいのある児童生徒の自立と社会参加能力向上のため、引き続き特別支援教育の振興を図る。
--------------------	---

9 教育研究会運営事業補助金（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	650	650	650	650
目的			教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図ることを目的とする。			
事業内容			各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して、活動に要する経費の一部を補助する。 【教育研究会の活動内容】 研究部会による研究活動等			
重点的に取組む事項 及び変更点			教職員の知識、指導力等の資質向上を図り、市全体の教育のレベルの向上につなげる。			

10 教育実践研究奨励経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	557	557	557	508
目的			実践奨励校での教育実践研究を実施し、その成果を市内小・中学校で共有することにより、教育レベルの向上を図ることを目的とする。			
事業内容			実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成する。 【事業内容】 ・実施内容 研究主題の研究、成果の公開研究会、研究紀要作成 ・実践奨励校（平成24年度） （新規）未定（6校を予定） （継続）幌別小学校、幌別東小学校、青葉小学校			
重点的に取組む事項 及び変更点			研究結果の発表会など結果の共有化を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実を図る。			

11 スキー体験学習事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	2,407	974	974	0
目的			地域の自然を活かし、地域に根ざした魅力ある学習活動を推進することにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。			
事業内容			小学校5・6年生を対象に、サンライバスキー場を利用してスキー体験学習を行う。なお、本年度予算の増は、実施校が平成23年度から2校増の6校を予定しているため。			

	<p><b>【事業内容】</b>  対象校：幌別小学校、幌別西小学校、幌別東小学校  驚別小学校、若草小学校、富岸小学校  事業回数：各学年1回</p>
重点的に取り組む事項 及び変更点	地域の自然を活かし、地域に根ざした魅力ある学習活動を通して、豊かな人間性及び地域への愛着を育てる。また、冬のスポーツを体験する機会をつくり、冬期間の体力及び健康の維持増進を図る。

12 学校図書システム広域化事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	773	10	10	0
目的	平成23年度に室蘭市と共同開発した学校図書システムの運用を定住自立圏の連携事業として共同実施することにより、運用費用の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。					
事業内容	定住自立圏形成協定の連携事業として室蘭市と共同実施している学校図書システムの更新（平成23年度実施済み）・運用に係る費用を負担する。なお、本年度予算の増は、学校図書システム更新に係る元金償還が開始したことによる（室蘭市において、北海道市町村備荒資金組合を活用により機器更新）。					
重点的に取り組む事項 及び変更点	当該システムの運用を共同実施することにより、運用費用の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図る。					

13 情報教育システム広域化事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	9,190	7,052	7,052	0
目的	情報教育システムの運用を定住自立圏の連携事業として共同実施することにより、経費の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。					
事業内容	定住自立圏形成協定の連携事業として、室蘭市、壮瞥町と共同実施する情報教育システムの運用に係る費用を負担する。なお、本年度予算の増は、システム管理用ソフトウェアの導入によるものである。					
重点的に取り組む事項 及び変更点	当該システムの運用を共同実施することにより、運用費用の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図る。					



目 4 交流教育推進費 (予算説明書P 1 4 3～P 1 4 4)

1 外国青年招致経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	21,876	15,920	15,742	9,246
目的			英語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることにより、国際化社会で活躍することができる人材を育てることを目的とする。			
事業内容			<p>生きた英語を指導する外国人指導助手 (ALT) を配置し、小学校での外国語活動や中学校での英語指導を行う。なお、本年度予算の増は、現在のALT全員帰国により新たに4名を招致することによる。</p> <p><b>【事業内容】</b>                      (配置人数)                      4名 (小学校2名/中学校2名)                      (ALTの活動)                      中学校での英語指導、小学校での外国語活動                      市民対象の英会話教室、地域住民等との交流 (豊水祭り・地獄祭りへの参加など随時)</p>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			小学校での外国語活動や中学校での英語指導を通して、児童生徒の発達段階に適した国際理解や英語を使ったコミュニケーション能力の育成、外国人と積極的に関わろうとする態度の育成を図る。			

目 5 生涯学習推進費 (予算説明書P 1 4 3～P 1 4 4)

1 生涯学習推進経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	177	176	176	131
目的			市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>生涯学習情報の提供等を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b>                      生涯学習情報の提供                      生涯学習ニュース (明日をひらく窓) 6回発行                      生涯学習情報 6回発行                      生涯学習ガイド 6回発行                      生涯学習人材バンク                      公民館・支所・老人憩の家・婦人研修の家等に設置及び市教委HPに掲載                      生涯学習連絡会の開催                      市内小中学校と教育委員会・市長部局との意見交換の実施</p>			

重点的に取組む事項 及び変更点	本年度も生涯学習情報誌の発行を継続する。また、情報機器を活用した取組について検討する。
--------------------	---

## 2 学校支援地域本部事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	3	2,573	2,123	2,123	0
目的			地域で学校をサポートするシステムを構築し、地域教育力の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b>            (事業概要)            各中学校区に設置された地域教育協議会を中心に地域の特性を踏まえた学校支援事業を実施            (実行委員会の構成)            地域住民や教育経験者等</p>			
重点的に取組む事項 及び変更点			本年度は、学校支援活動をさらに充実させるための人材発掘を重点事項として、コーディネーターの活動経費を増額した。			

## 目6 教育財産管理費（予算説明書P143～P144）

### 1 教育施設運営管理委託料（市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場） （教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	66,651	66,735	66,735	71,041
目的			市民が活発に文化・スポーツ活動を行える環境を整えることを目的とする。			
事業内容			<p>指定管理者に委託し社会教育施設の運営管理を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b>            対象施設：市民会館、鷺別公民館、総合体育館、陸上競技場            指定管理者：財団法人登別市文化・スポーツ振興財団            委託期間：平成23年度～平成27年度</p>			
重点的に取組む事項 及び変更点			市民の文化・スポーツ活動振興のための拠点として、市民が利用しやすい環境を提供していく。			

目 7 教育諸費 (予算説明書P143～P146)

1 児童生徒健康診断等経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	1	18,174	18,547	17,944	17,757
目的			児童・生徒の健康保持及び増進を図ることを目的とする。			
事業内容			市内小中学校の児童・生徒並びに新入学児童の健康診断等を実施する。 <b>【事業内容】</b> 全員実施 : 結核検診、尿検査、内科検診、歯科検診 小1・中1 : 心臓検診、眼科検診、耳鼻科検診 小1～小3 : ぎょう虫卵検査 フッ化物洗口 : 小学校8校、中学校1校で実施 ※新入学対象予定者 423名			
重点的に取組む事項及び変更点			児童・生徒の健康保持及び増進のため、法定健診項目を確実に実施するとともに、フッ化物洗口の実施により、児童・生徒のう歯の予防に努める。			

2 児童生徒遠距離通学費補助金 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	2,676	3,806	3,806	2,566
目的			バスで通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。			
事業内容			バス通学児童・生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助する。 <b>【補助対象人員】</b> 小学校 2校 13名 中学校 3校 86名			
重点的に取組む事項及び変更点			補助対象となる小・中学校に在学し、バスを利用して遠距離通学する児童・生徒の通学費に対して一部を補助することで、対象児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、本年度も補助を継続する。			

3 スクールバス運行経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	15,065	13,589	13,589	13,271
目的			遠隔地から通学する児童・生徒の負担及び保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。			
事業内容			札内町・来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校・幌別中学校へ、カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行する。			

	<b>【事業内容】</b> 対象者数 幌別小学校 6名 幌別中学校 4名 登別小学校 39名
重点的に取り組む事項 及び変更点	遠隔地から通学する児童・生徒の負担及び保護者の経済的負担の軽減を図り、送迎バスの運行により、児童・生徒の登下校の安全性を確保する。

## 第10款 教育費 項2 小学校費

### 目1 学校管理費 (予算説明書P147～P148)

#### 1 特別活動推進経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	240	240	240	238
目的			集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主性や社会性等を育むことを目的とする。			
事業内容			各学校の特色や児童の発達段階などを踏まえ、児童による自主的・実践的な活動（児童会活動等）を助長する。 <b>【事業内容】</b> 小学校における特別活動 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事			
重点的に取り組む事項 及び変更点			集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図る。			

#### 2 特別支援教育推進経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	1,330	1,395	1,395	1,285
目的			心身に障がいのある児童の自立や社会参加を促進することを目的とする。			
事業内容			特別支援学級を設置し、児童一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行う。 <b>【事業内容】</b> 特別支援学級数（予定） 8学校 17学級 児童数（予定） 50人			
重点的に取り組む事項 及び変更点			児童の状況に即した教育環境を整備し、特別支援教育の推進を図る。			

目 2 施設管理費 (予算説明書P 1 4 7～P 1 4 8)

1 小学校耐震診断等事業費 (教育部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	7,288	1,900	1,500	12,947
目的			大型地震の発生に備え、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。			
事業内容			耐震化優先度調査の結果に沿って、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物の詳細な状況を把握するため、耐震診断(2次診断)を行う。 【事業内容】 富岸小学校(校舎・屋体)、登別小学校(屋体)			
重点的に取り組む事項及び変更点			耐震化優先度調査に基づく全体計画に沿って、平成24年度は富岸小学校と登別小学校の2校について耐震診断を実施するが、今後、他校も年次的に実施していきたい。			

2 幌別東小学校防火扉整備事業費【新規】(教育部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
5	2	2	1,500	0	0	0								
目的			児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容			老朽化した幌別東小学校の防火扉の改修を行う。 【財源内訳】											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,500</td> <td>1,100</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	1,500	1,100	400
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
1,500	1,100	400												

3 富岸小学校理科室整備事業費【新規】(教育部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
5	2	2	3,000	0	0	0								
目的			児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容			老朽化した富岸小学校理科室の床の改修を行う。 【財源内訳】											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,000</td> <td>2,200</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	3,000	2,200	800
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
3,000	2,200	800												

4 富岸小学校屋上フェンス整備事業費【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
5	2	2	3,000	0	0	0								
目的			児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容			老朽化した富岸小学校屋上フェンスの改修を行う。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,000</td> <td>2,200</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	3,000	2,200	800
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
3,000	2,200	800												

5 幌別東小学校屋根葺替事業費（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
5	2	2	10,000	14,000	13,283	0								
目的			児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容			前年度に引き続き、老朽化した幌別東小学校屋根の葺替を行う。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,000</td> <td>7,500</td> <td>2,500</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	10,000	7,500	2,500
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
10,000	7,500	2,500												
重点的に取り組む事項 及び変更点			平成23年度は管理棟及び教室棟の屋根の葺き替えを行ったが、本年度は特別教室棟の屋根の葺き替えを行う。											

6 鷺別小学校建替事業費【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	31,000	0	0	0
目的			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の建替を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。			
事業内容			耐震診断（2次診断）等により、耐震性が確保されていないことが判明した鷺別小学校屋内運動場及び校舎の建替を行うため、基本設計、測量調査、地質調査を行う。 <b>【事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計、測量調査、地質調査</li> </ul> </li> <li>・翌年度以降の予定                         <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度 実施設計</li> <li>平成26年度 体育館・校舎工事着工</li> </ul> </li> </ul>			

### 目 3 教育振興費 (予算説明書P 1 4 7～P 1 4 8)

#### 1 特別支援教育就学奨励費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	1,562	1,741	1,741	1,003
目的			特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。			
事業内容			特別支援学級への就学に必要な経費の一部を援助する。 対象人員 41名			
重点的に取り組む事項 及び変更点			特別支援学級の普及奨励を図るため、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対して適切な援助をしていく。			

#### 2 要保護・準要保護就学援助費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	—	33,646	31,965	31,965	29,983
目的			教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。			
事業内容			経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助する。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			経済的理由により就学困難と認められる小学校児童の保護者に対して、就学に必要な学用品等経費の一部を援助していく。			

### 第10款 教育費 項3 中学校費

#### 目 1 学校管理費 (予算説明書P 1 4 9～P 1 5 0)

##### 1 中学校体育連盟助成金 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	1	1,400	1,400	1,400	1,460
目的			スポーツを通して生徒の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を深めることを目的とする。			
事業内容			市内中学校の体育活動振興のために活動する中学校体育連盟に対し、その活動に必要な経費の一部を助成する。 【連盟の活動内容】 体育大会の開催 (春季、秋季) 理事会及び専門委員会の開催 西胆振及び胆振中体連大会への参加等			

重点的に取組む事項 及び変更点	中学校体育連盟が主催する体育大会等を通して、中学校生徒の体育振興、健康増進、生徒間交流などを推進する。なお、平成24年度から胆振中体連の地区組織の再編が行われ、室蘭・苫小牧・胆振西部・胆振東部の4地区から西胆振中体連（登別より西地区）・東胆振中体連（白老より東地区）の2地区となる。
--------------------	---

## 2 特別活動推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	2,475	2,550	2,550	2,059
目的			集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主性や社会性等を育むことを目的とする。			
事業内容			各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、生徒による自主的・実践的な活動（生徒会活動・部活動等）を助長する。 【事業実績】 中学校における特別活動 学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動			
重点的に取組む事項 及び変更点			集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図る。			

## 3 特別支援教育推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	520	585	585	741
目的			心身に障がいのある生徒の自立や社会参加を促進することを目的とする。			
事業内容			特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行う。 【事業内容】 特別支援学級数（予定） 4学校 8学級 生徒数（予定） 16人			
重点的に取組む事項 及び変更点			生徒の状況に即した教育環境を整備し、特別支援教育の推進を図る。			

## 目2 施設管理費（予算説明書P149～P150）

### 1 中学校便所洋式化事業費【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	14,000	0	0	0



目的	生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	
事業内容	既存和式便器を洋式便器に取り替えるとともに暖房便座を設置する。また、車椅子対応便所を設置する。 平成 24 年度便所改修工事実施校 鷺別中学校・幌別中学校	
	【事業費の財源内訳】	
	事業費	財源内訳
	14,000	市債 10,500 一般財源 3,500

### 目 3 教育振興費 (予算説明書 P 1 4 9 ~ P 1 5 0)

#### 1 特別支援教育就学奨励費 (教育部学校教育 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	754	835	835	789
目的			特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。			
事業内容			特別支援学級への就学に必要な費用の一部を援助する。 対象人員 13名			
重点的に取組む事項 及び変更点			特別支援学級の普及奨励を図るため、特別支援学級に在籍している生徒の保護者に対して適切な援助をしていく。			

#### 2 要保護・準要保護就学援助費 (教育部学校教育 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	—	33,372	33,391	33,391	30,406
目的			教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。			
事業内容			経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に、就学に必要な援助を行う。			
重点的に取組む事項 及び変更点			経済的理由により就学困難と認められる中学校生徒の保護者に対して、就学に必要な学用品費等経費の一部の援助をしていく。			

## 第10款 教育費 項4 社会教育費

### 目1 社会教育総務費 (予算説明書P151～P152)

#### 1 市民生涯学習推進講座経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	1,273	2,022	1,183	1,782
目的			市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図ることを目的とする。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			登別ときめき大学登録者数を増加させるために、本年度も引き続き運営委員会と協働で事業の充実を図る。			

#### ○登別ときめき大学経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	680	1,527	688	1,483
事業内容	社会・経済・自然・歴史・文化など多分野を学び、それぞれの知識の充実とともにまちづくりを担う人材を育成する。			

#### ○家庭教育学級経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	443	345	345	199
事業内容	市内幼稚園及び小学校に通う幼児・児童の保護者に対し、自主的な学習活動を支援する。			

#### ○市民マイプラン講座経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	150	150	150	100
事業内容	市民が自主的に企画し、複数人規模で行う学習会等の活動に対し、講師料を支援する。			

#### 2 三市合同女性国内派遣研修経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	4	2	180	270	270	210
目的			女性リーダーの資質向上と地域における女性団体活動の活性化を図り、男女が共に参画できる地域社会を形成することを目的とする。			

事業内容	<p>女性教育の振興と男女共同参画社会の形成に資することを目的として運営されている国立女性教育会館に、地域で活動している女性を派遣し、全国各地における女性の社会参加や地域活動、学習活動について研修を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>期 日 未定</p> <p>場 所 埼玉県嵐山町ほか</p> <p>派遣人員 3名</p>
重点的に取り組む事項及び変更点	西いぶり定住自立圏構想の対象事業として実施する。

### 3 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	—	—	4,998	4,408	4,408	3,614
目的			市民が文化やスポーツに触れる機会を提供し、文化・スポーツ活動の振興を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>登別市文化・スポーツ振興財団に対して、文化・スポーツ活動へのきっかけとなる初心者向けの教室や芸術鑑賞事業、スポーツ大会などの実施に要する経費の一部を補助する。</p> <p>【補助事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化教室 7事業 事業内容 初心者英会話教室、筆ペン習字教室等</li> <li>・芸術鑑賞 2事業 事業内容 道新ジュニアクラシック札幌コンサート 綾戸智恵コンサート</li> <li>・スポーツ教室 10事業 事業内容 ジュニアテニス教室、温泉散策ウォーキング等</li> <li>・スポーツ大会 4事業 事業内容 スポンジテニス、ソフトボール等</li> <li>・共催事業 5事業 事業内容 市民ゲートボール大会、市民ミニバレー大会、市民文化祭、小中学生書初展文化講演会</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度も引き続き登別市文化・スポーツ振興財団に対して補助を行い、市民のニーズを捉えたよりよい事業を実施することで、文化・スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、文化の振興及び市民の健康増進を図る。			

### 4 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	—	—	11,592	11,628	11,628	10,985

目的	財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の活動を支援することにより、文化・スポーツ活動の振興を図ることを目的とする。
事業内容	文化やスポーツ活動の振興を目的として活動している登別市文化・スポーツ振興財団に対して、その運営に係る経費を補助する。
重点的に取り組む事項及び変更点	本年度も引き続き登別市文化・スポーツ振興財団に対し補助を行い、文化・スポーツ活動の振興を図る。

5 P T A連合会助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	2	300	300	300	300
目的	子どもたちが豊かな人間性を育むための各種研修活動や単位P T Aの連携協力等の事業を実施するP T A連合会を支援することを目的とする。					
事業内容	市内の小中学校及び高等学校のP T Aが連携して研究・交流活動等を実施し教育の充実・発展を図る。 【事業内容】 研究大会の開催、教育懇談会・交流会の開催、母親研修会の開催、広報誌の発行					
重点的に取り組む事項及び変更点	教育の充実・発展や家庭の教育力向上のため、P T A連合会の活動に対する補助を継続する。					

6 第52回北海道社会教育研究大会補助金【新規】（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	350	0	0	0
目的	社会教育委員の資質の向上を図るとともに、生涯学習の振興に資することを目的とする。					
事業内容	全道の社会教育関係者が一堂に会して研究協議を深めるとともに、各地で展開される社会教育活動の成果や課題等について情報交換を行い、本道の社会教育活動の一層の充実に資するための研究大会が登別市で開催されることから、実施に係る経費の一部を補助する。					

目2 婦人研修施設費（予算説明書P151～P152）

1 婦人研修の家維持管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	4,167	1,926	1,926	2,647
目的	婦人の生活文化や教養の向上を図るとともに、地域における婦人間の連携を図ることを目的とする。					

事業内容	町内会への指定管理委託により、市内8カ所に設置されている 婦人研修の家の維持管理を行う。なお、本年度予算の増は、柏木・ 若草・美園婦人研修の家の修繕に係る経費の増による。
重点的に取り組む事項 及び変更点	町内会などの集会施設としての利用が主体であるため、コミュ ニティ施設としての一元管理を検討する。

### 目3 公民館費 (予算説明書P151～P152)

#### 1 公民館運営管理経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	1,839	1,594	1,594	1,875
目的			地域住民に身近な交流・研修の場を提供することにより、生涯 学習環境の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			登別公民館、登別温泉公民館、鷺別公民館(一部)の運営管理 を行う。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			地域住民に身近な交流・研修の場を提供するため、施設の補修 や備品の整備を行うことにより、生涯学習環境の充実を図る。			

### 目4 図書館費 (予算説明書P151～P154)

#### 1 図書館運営管理経費 (教育部図書館)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	10,620	15,924	15,924	15,641
目的			図書館資料の整備と読書推進事業の実施、配本所の機能強化に 努めることにより、市民の教育文化の向上に寄与することを目的 とする。			
事業内容			<p>図書館資料の整備と市民の求める資料の提供に努めるととも に、年長児から成人市民までを対象にした読書推進事業を行うほ か、本年度は、地域情報センターの配本所の強化に係る経費を計 上した。なお、本年度予算の減は、図書館システム購入費に係る 北海道市町村備荒資金組合への償還金の支払いが終了したこと による。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書購入予定冊数 6,200冊</li> <li>○主な主催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学生の読書感想文／読書感想画コンクール</li> <li>文化講演会／年長児の読書感想画募集</li> <li>読み聞かせの研修会／図書館まつり</li> <li>新刊図書案内及び児童室だよりの発行</li> </ul> </li> <li>○地域情報センター配本所の強化</li> </ul>			

重点的に取組む事項 及び変更点	本年度は、図書館本館の課題であるバリアフリーや書架飽和の対策として、地域情報センターの図書館機能の強化を図り、雑誌や大活字本、就労支援などの資料整備に取り組む。
--------------------	--

2 移動図書館車運行业務委託料（教育部図書館）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	4,077	4,095	4,095	2,966
目的			市民が地域で図書館サービスを利用できる環境を整えることにより、市民の教育文化の向上に寄与することを目的とする。			
事業内容			移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行业務を委託する。 【事業実績】 年間運行予定日数 227日			
重点的に取組む事項 及び変更点			移動図書館車は図書館の市内全域サービスを担う重要な手段であるため、本年度も引き続き効率的な運行、ステーションの検討、巡回日時の周知などに努める。			

3 図書館ネットワークサービス広域化事業費（教育部図書館）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	2,577	136	136	0
目的			近隣市との図書館相互利用を可能とすることにより、市民が図書館を利用しやすい環境を整えることを目的とする。			
事業内容			定住自立圏の連携事業として、室蘭—伊達市間で既に行っているシステムに本市も参入し、図書館の広域利用を図る。なお、広域利用に係る図書館システムは、北海道市町村備荒資金組合を活用して平成23年度に既に購入しており、本年度の支払は組合への償還金である。 平成24年度支払分 2,577千円 (総体事業費 8,203千円)			
重点的に取組む事項 及び変更点			西いぶり広域図書館ネットワークの開始による利用者の利便性のさらなる向上を図るため、物流やシステムなど運用面の改善に取り組む。			

4 西いぶり広域図書館システム対応図書館資料整備事業費（緊急雇用創出推進事業）

【新規】（教育部図書館）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	1	1	5,171	0	0	0
目的			緊急雇用創出推進事業を活用し、図書館ネットワークサービス広域化事業に参入したことにより、蔵書等のデータなどの仕様を共通のものとするため、図書館と関連施設で所蔵している図書及び資料等（約45,000冊）の排列、装備並びにマーク等の整備を行う。			

事業内容	図書館と関連施設（6カ所）で所蔵している図書及び資料等（約45,000冊）の 排列、装備及びマーク等整備		
	【雇用内容】		
	雇用人数	臨時職員 3名	
	雇用日数	延べ 245日	
	【財源内訳】		
	事業費	財源内訳	
		道支出金	一般財源
	5,171	5,171	0

## 目 5 青少年対策費 （予算説明書P153～P154）

### 1 放課後子ども教室推進事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
1	1	1	3,169	6,762	6,762	1,678
目的			放課後に子どもたちが安心して過ごすことができる活動拠点（居場所）を設けることにより、子育て環境の整備を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>地域の方々の参画を得て放課後子ども教室を開設し、様々な体験活動や交流活動などの取り組みを推進する。なお、本年度予算の減は、昨年度予算において、幌別東小学校区放課後子ども教室の整備を行ったことによるもの。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設場所            鶯別小学校内（鶯別小学校区放課後子ども教室）            幌別東小学校内（幌別東小学校区放課後子ども教室）</li> </ul>			
重点的に取り組む事項及び変更点			子どもたちの安全で安心な居場所を確保するため、本年度も引き続き実施する。			

### 2 少年の主張大会経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	3	29	29	29	24
目的			子どもたちが、論理的に考える力や自分の考えを正しく理解してもらう力、広い視野と柔軟な発想、創造性を身につけるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的とする。			
事業内容			<p>中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていることなどについて発表を行う少年の主張大会を開催する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>期日：平成24年6月5日 場所：鶯別中学校</p>			

重点的に取り組む事項 及び変更点	青少年の健全育成を図るため、本年度も引き続き少年の主張大会を実施する。
---------------------	-------------------------------------

### 3 青少年育成指導経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	3	875	939	739	474
目的			青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、模範となる青少年の健全育成を図ることを目的とする。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、模範となる青少年の健全育成を図るため、本年度も引き続き巡回等を実施する。			

#### ○青少年育成指導事務費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	156	156	156	102
事業内容	指導センターの運営、こども110番の家に係る経費。また、青少年リーダー育成のため、青少年表彰やリーダー養成講座への参加を奨励する。			

#### ○青少年問題協議会経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	139	139	139	0
事業内容	(委員数) 13名 (活動内容) 指導センターの活動計画等の策定			

#### ○青少年指導委員経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
	580	644	444	372
事業内容	(指導員の構成) 専任指導員 2名 青少年問題協議会委員 13名 青少年指導委員 62名 (活動内容) 指導センターによる日常巡回活動、祭典時の特別巡回活動			

### 4 成人祭経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	3	526	526	226	456



目的	新成人が大人としての自覚をもち、意識の向上を図ることを目的とする。
事業内容	市内に勤務する青年や専門学校生、高校生で組織する登別市成人祭実行委員会と市の共催により成人祭を開催する。 【事業内容】 期 日 平成25年1月13日（予定） 場 所 未定 対象人数 581名（予定）
重点的に取り組む事項及び変更点	新成人の大人としての自覚や意識の向上を図るため、本年度も引き続き、市内に勤務する青年や専門学校生、高校生で組織する登別市成人祭実行委員会と市の共催により成人祭を開催する。

5 子ども会活動振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	2	3	830	830	830	830
目的	子どもたちが様々な体験を通して「生きる力」を身につけることを目的とする。					
事業内容	「こいのぼりマラソン大会」や「かるた大会」などの活動を行う登別市子ども会育成連絡協議会に対して、その活動に要する経費の一部を補助する。 【協議会の活動内容】 (加盟団体数) 41団体（7地区連盟） (事業内容) こいのぼりマラソン大会、かるた大会等					
重点的に取り組む事項及び変更点	子どもたちの豊かな心を育むための活動に対する補助を、本年度も引き続き継続する。 なお、本年度については、マラソン大会の発展的な運営について重点的に取り組むこととする。					

6 通学合宿 みんなで学ぶ「子ども村」（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	1,780	1,060	1,060	946
目的	共同生活を通して基本的な生活習慣を身に付けるとともに、協調性や責任感を育むことを目的とする。					
事業内容	小学生（5～6年生）がネイチャーセンターで支援ボランティアとともに生活し、自然体験や学習活動を行いながら学校へ通う「通学合宿」を実施する。 【事業内容】 期 日 5月～6月・9月～11月 (1回あたり4泊5日) 定 員 30名×4回 延120名					

重点的に取り組む事項 及び変更点	昨年度から引続き、北海道教育委員会と北海道教育大学での連携事業である、学生ボランティア派遣制度を活用し、児童の学習習慣の定着を図る。
---------------------	--

## 目 6 郷土資料館費 (予算説明書P153～P154)

### 1 郷土資料館運営管理経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	2,059	2,334	2,334	1,872
目的			郷土に関する資料を市民に供し、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。			
事業内容			郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行う。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			郷土に関する資料を市民に供し、ふるさと登別を愛する心を育てるため、本年度も引き続き、郷土に関する資料の収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行う。			

### 2 郷土資料館資料データベース化事業費 (緊急雇用創出推進事業)【新規】 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
5	3	2	4,688	0	0	0								
目的			保管されている資料の価値を再確認し、これらの歴史資料を文化資源として蓄積することを目的とする。											
事業内容			<p>緊急雇用創出推進事業を活用し、資料の来歴調査、撮影記録、台帳のデータベース化などを行う。</p> <p>【雇用内容】  雇用人数 臨時職員 2名  雇用日数 延べ244日</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4,688</td> <td style="text-align: center;">4,688</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	4,688	4,688	0
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
4,688	4,688	0												

目 7 文化振興費 (予算説明書P153～P156)

1 文化振興助成金 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	1	800	800	800	800
目的			市民が文化に親しめるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			市民文化の振興と裾野拡大のために活動を行っている登別市文化協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。 <b>【協会の活動内容】</b> (加盟団体数) 32団体 約2,000名 (事業内容) [主催・主管事業] 機関誌・文芸誌の発行(年1回) [共催事業] 第48回市民文化祭への協力、第36回道民・第43回胆振芸術祭「写真展」への協力 [参画事業] 市民活動センターへの参画(のぼりん文化講座への協力)、 [その他] 道外、道内の文化協会との交流事業			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民が文化に親しめるまちづくりを推進するため、登別市文化協会の活動に対し、本年度も引き続き支援する。			

2 児童・生徒文化振興助成金 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	1	500	500	500	352
目的			文化活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減し、児童等の文化活動の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			市内の小・中学校、高校に在籍する児童・生徒が、文化活動で全道・全国大会に出場するために要する経費の一部を助成する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			市内の小・中学校、高校に在籍し、文化活動を行っている児童・生徒の文化活動への更なる関心を高めるとともに文化振興を図るため、本年度も引き続き支援する。			

3 三市合同文化事業負担金 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	1	1,000	1,000	1,000	860

目的	市民がより高度な文化にふれ、地域文化の向上を図ることを目的とする。
事業内容	登別市、室蘭市、伊達市の三市共同により、芸術文化振興事業を実施する。 【事業内容】 開催市 室蘭市（劇団四季「赤毛のアン」）
重点的に取り組む事項及び変更点	西いぶり定住自立圏構想の対象事業として実施する。

#### 4 文化伝承館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	360	360	360	272
目的	郷土の歴史や文化を伝承し、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。					
事業内容	文化伝承館を運営し、郷土の歴史や文化に関する体験学習会等を開催する。 【事業内容】 わらぞうり作り、べこもち作り、らくがん作りなど					
重点的に取り組む事項及び変更点	ボランティアSLGと協働で体験学習の内容充実を図る。					

#### 5 文化財保護経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	345	287	287	224
目的	市民が郷土に対する理解を深め、ふるさと登別を大切にすることを目的とする。					
事業内容	文化財保護に関する調査・研究・普及を行う。 【事業内容】 アイヌ文化講座・（仮）古文書講座・縄文出前講座の実施、埋蔵文化財保護のための事前協議など					
重点的に取り組む事項及び変更点	市が所有する古文書の解読を可能とする人材の育成のその成果の蓄積を進めるため、新規事業として（仮）古文書講座に取り組む。					

#### 6 のぼりべつ文化交流館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	4,041	3,682	3,682	3,758
目的	埋蔵文化財に接する機会を設けることにより、郷土に対する理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動の向上を図ることを目的とする。					

事業内容	市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、市民の作品展示などを行う。 【事業内容】 市内で出土した埋蔵文化財の展示、体験学習（まがたま作り、火起こし体験等）の提供、市民の文化作品の展示等
重点的に取り組む事項及び変更点	魅力ある博物館作りのため常設展示の一部入れ替え等を行う。

7 のぼりべつ文化交流館整備事業費【新規】（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
5	3	2	2,000	0	0	0								
目的			埋蔵文化財の展示・体験や絵画などの展示、および集会施設として利用していくために、施設の老朽化部分の改修を図ることを目的とする。											
事業内容			今年度は、防災アンプ、火災報知器受信機の交換工事を実施する。 【財源内訳】											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000</td> <td>1,500</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	2,000	1,500	500
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
2,000	1,500	500												

8 市民が記憶する歴史収集事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	3	2	50	3,759	3,659	0
目的			文字等の記録に残されていない市内の様々な事象に関する記憶が風化・消滅する前に、情報を有する人物から聞き取り調査を実施し、記録することを目的とする。			
事業内容			登別市の過去を経験・記憶している方を情報提供者として、聞き取り調査を行い、その内容を明文化する。 ・聞き取り調査 ・記録音声の文字化 ・文字化資料のデータベース化等			
重点的に取り組む事項及び変更点			昨年度は緊急雇用創出推進事業を活用して実施したが、本年度より、市単独事業として、引き続き情報提供者からの聞き取り調査等を実施する。			

目 8 自然体験学習施設費 (予算説明書P155～P156)

1 ネイチャーセンター運営管理経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
2	2	1	37,805	38,602	38,602	38,008
目的			市民の自然に関する意識の高揚を図ることを目的とする。			
事業内容			運営管理を指定管理者に委託し、ネイチャーセンターを拠点に、鉾山地区の自然を活用した自然体験活動を推進する。 <b>【事業内容】</b> (指定管理者) 特定非営利活動法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ (自然体験学習メニュー) 森のようちえん、スペシャルウィーク、わんぱくキャンプ、各種講習・講座、歩くスキー 等			
重点的に取り組む事項及び変更点			本年度も引き続き、鉾山地区の自然を活用した自然体験活動を推進する。			

第10款 教育費 項5 保健体育費

目 1 保健体育総務費 (予算説明書P157～P158)

1 体育協会助成金 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	800	800	800	800
目的			市民のスポーツ意識の高揚を図ることを目的とする。			
事業内容			市民スポーツの振興と、裾野拡大のために活動を行っている登別市体育協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。 <b>【協会の活動内容】</b> (加盟団体数等) 21団体 加盟者数4,304名 (事業内容) 加盟団体事業への援助、スポーツ指導者の育成、スポーツ表彰、胆振管内軽スポーツフェスタへの参加協力、姉妹都市交流事業への支援			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民のスポーツ意識の高揚を図るため、市民スポーツの振興と、裾野拡大のために活動を行っている登別市体育協会に対し、本年度も引き続き支援を行う。			

2 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	66	66	66	35
目的			市民の健康増進や体力の向上を目的とする。			
事業内容			市民のラジオ体操会やスポーツ団体などの指導者育成を行う。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市民の健康増進や体力の向上を図るため、本年度も引き続き市民のラジオ体操会やスポーツ団体などの指導者育成を行う。			

3 スポーツ少年団育成助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	500	500	500	500
目的			青少年の心とからだの健全育成、仲間との連帯感の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>リーダー養成事業や競技別交流会などの活動を行う登別市スポーツ少年団に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。</p> <p>【少年団の活動内容】                      (加盟団体数等)                      20団体 加盟者数413名                      (事業内容)                      スポーツ少年団育成事業、リーダー養成事業、                      競技別交流会、指導者・母集団養成事業、                      姉妹都市交流事業支援等</p>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			青少年の健全育成等を図るため、本年度も引き続き支援を継続する。			

4 児童生徒スポーツ振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	2,300	2,300	2,300	1,710
目的			スポーツ活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減し、児童等の体育活動の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			市内の小・中学校・高校に在籍する児童・生徒及び市内のスポーツ団体に所属する児童・生徒が全道及び全国大会に参加するために要する経費の一部を助成する。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			市内の小・中学校、高校に在籍し、スポーツ活動を行っている児童・生徒のスポーツ活動への更なる関心を高めるとともにスポーツ振興を図るため、本年度も引き続き支援する。			

5 スポーツ推進委員会経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	706	988	988	539
目的			生活に直結した体育・スポーツの振興を図ることを目的とする。			
事業内容			スポーツ推進委員会を設置し、各種体育行事への協力やニュースポーツの普及等を行う。 <b>【事業内容】</b> (委員数) 15名 (役割) スポーツの振興、コーディネーター (活動内容) 各種スポーツ行事での指導・助言・協力等			
重点的に取り組む事項及び変更点			生活に直結した体育・スポーツの振興を図るため、本年度も引き続き、スポーツ推進員による各種体育行事への協力やニュースポーツの普及等を行う。			

6 6市町スポーツ交流会事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	186	184	184	184
目的			スポーツを通じた広域的な交流を行い、児童の健全育成を図ることを目的とする。			
事業内容			西胆振管内の6市町を対象に、陸上競技大会を開催する。 <b>【事業内容】</b> 室蘭地方陸上競技大会 期 日 平成24年5月（予定） 場 所 室蘭市入江陸上競技場 対 象 小学校4～6年生			
重点的に取り組む事項及び変更点			西いぶり定住自立圏構想の対象事業として実施する。			

7 学校開放事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	4,248	4,323	4,123	3,683
目的			スポーツを通じて市民の健康増進と交流を図ることを目的とする。			
事業内容			小中学校等の屋内体育館を市民に開放する。 <b>【事業内容】</b> 開放校 10校 開放期間 平成24年4月9日～平成25年3月1日			



重点的に取り組む事項 及び変更点	スポーツを通じて市民の健康増進と交流を図るため、本年度も引き続き実施する。
---------------------	---------------------------------------

8 きらり健康ふれあいウォーキング（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	1,099	1,292	1,292	1,353
目的			生涯スポーツの振興及び健康増進を図るとともに、地域の再発見や全市観光の推進、環境保全意識の醸成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>ウォーキング及びノルディックウォーキング講習会の実施、ヘルスウォーキング大会の開催、ウォーキングマップの作成を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング・ノルディックウォーキング講習会 開催日 6月～9月 計6回 場 所 登別地区の3地域（予定）</li> <li>・ヘルスウォーキング大会 開催日 平成24年9月（予定） 場 所 岡志別の森運動公園～のぼりべつ酪農館</li> <li>・ウォーキングマップの作成 内 容 登別地区周辺のウォーキングマップ 作成部数 3,000部（各地域1,000部） 設置場所 市役所1F案内、市民会館、各支所、市民プール、総合体育館、総合福祉センター、若草つどいセンター</li> </ul>			
重点的に取り組む事項 及び変更点			実施計画の3ヵ年が終了することにより、これまでの市主導の事業展開を見直し、平成25年度以降について、新たな実施主体での運営を見込みながら事業運営の検討を行う。			

目2 体育施設費（予算説明書P157～P158）

1 総合体育館整備事業費【新規】（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	39,500	0	0	0
目的			道道上登別室蘭線の拡幅にともない、駐車場のレイアウト等を変更する外構工事を実施し、利用者の利便性の向上を図ることを目的とする。			

事業内容	【事業内容】 園路工、駐車場工、排水工 等		
	【財源内訳】		
	事業費	財源内訳	
		市債	一般財源
	39,500	29,600	9,900

### 目 3 青少年会館費 (予算説明書P157～P158)

#### 1 青少年会館運営管理経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	15,138	15,308	15,308	16,062
目的			レクリエーション活動等の推進を通じて、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。			
事業内容			市内3か所に設置された青少年会館の運営管理を行う。			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、施設の設置目的に沿った利用と公平性の確保を図る。			

### 目 4 市民プール費 (予算説明書P157～P158)

#### 1 市民プール運営管理経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	49,974	53,421	53,421	51,147
目的			市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			指定管理者への委託により、市民プールの運営管理を行う。 【事業内容】 (指定管理者) 委託者 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団 委託期間 平成23年度～平成27年度			
重点的に取り組む事項 及び変更点			本年度も引き続き、指定管理者への委託による市民プールの運営管理を行い、市民の健康増進等を図る。			

2 市民プールバスパック業務委託料（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
5	4	1	32	32	32	12
目的			すべての市民が市民プールを利用できる環境を整えることを目的とする。			
事業内容			路線バス運賃とプール入館料をセットにしたバスパックにより、すべての市民が公共交通機関を利用し、気軽に市民プールを利用できる環境を整備する。			
重点的に取組む事項 及び変更点			すべての市民が市民プールを気軽に利用できる環境を維持するため、本年度も引き続き継続して実施する。			

第11款 公債費 項1 公債費

目1 元金（予算説明書P159～P160）

1 市債償還元金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	2,874,979	2,858,914	2,858,914	2,768,895

目2 利子（予算説明書P159～P160）

1 市債償還利子

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	399,993	447,468	410,833	444,923

2 一時借入金利子

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	4,000	4,000	4,000	388

目3 公債諸費（予算説明書P159～P160）

1 公債発行等手数料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	368	377	377	386

## 第12款 給与費 項1 給与費

### 目1 職員給与費 (予算説明書P161～P162)

#### 1 職員等給与経費・非常勤職員等公務災害経費 (総務部人事・行政管理G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
—	—	—	4,013,102	4,010,693	4,050,195	4,056,069

科目	平成24年度	平成23年度	増減額
給料	1,449,759	1,502,343	▲52,584
職員手当等計	1,625,558	1,592,403	33,155
扶養手当	46,793	48,551	▲1,758
地域手当	556	323	233
単身赴任手当	636	756	▲120
時間外勤務手当	85,563	84,930	633
期末手当	348,993	360,187	▲11,194
勤勉手当	180,277	185,316	▲5,039
寒冷地手当	33,830	34,629	▲799
通勤手当	13,264	14,533	▲1,269
特殊勤務手当	12,833	12,192	641
管理職手当	39,745	41,988	▲2,243
退職手当	546,185	492,816	53,369
嘱託手当	238,830	231,537	7,293
住居手当	38,337	36,305	2,032
夜勤手当	15,411	15,414	▲3
子ども手当	4,370	32,926	▲28,556
子どものための 手当	19,935	0	19,935
共済費	587,681	564,527	23,154
賃金	231,634	229,000	2,634
福祉協会負担金	1,096	1,148	▲52
退職手当積立金	116,862	120,760	▲3,898
災害補償費	40	40	0
役務費	472	472	0
合計	4,013,102	4,010,693	2,409

#### ①職員数 (全会計)

	平成24年度		平成23年度		平成22年度	
	年度当初	年度末	年度当初	年度末	年度当初	年度末
職員	450	450	451	451	452	448
嘱託	162	162	158	158	152	149
計	612	612	609	609	604	601

※職員数に市長・副市長・教育長を含まず。

※嘱託数に法律相談員、嘱託医、心の教室相談員、スクールカウンセラーを含まず。

②平均給料・平均年齢（全会計）及びラスパイレス指数

	平均給料月額	平均年齢	ラスパイレス指数
平成 23 年度	305,793 円	42 歳 1 月	
平成 22 年度	314,152 円	42 歳 8 月	95.3 (全道 22 位)
平成 21 年度	306,358 円	43 歳 5 月	90.3 (全道 28 位)

※平均給料月額については、各年度 4 月支給分。

2 未就職卒業者等就労支援（ワークシェアリング）事業費（緊急雇用創出推進事業）  
（総務部人事・行政管理 G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額								
3	1	4	5,071	8,215	7,645	6,052								
目的			未就職求職者を臨時職員として雇用することにより、市での就業経験を通じて、民間企業等への就業促進を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>緊急雇用創出推進事業を活用し、未就職求職者を臨時職員として雇用する。</p> <p>【雇用内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用人数 臨時職員上期・下期各 3 名</li> <li>雇用日数 延べ 7 3 2 日</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,071</td> <td>5,071</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	5,071	5,071	0
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
5,071	5,071	0												
重点的に取組む事項及び変更点			補助対象人員が上期・下期各 5 名から各 3 名に減となった。減となった人員については市単独事業として取組み、ワークシェアリング総人員数は前年度と同数とする。											

3 未就職卒業者等就労支援（ワークシェアリング）事業費（市単独事業）  
（総務部人事・行政管理 G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算額
3	1	4	3,379	0	0	0
目的			未就職求職者を臨時職員として雇用することにより、市での就業経験を通じて、民間企業等への就業促進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>未就職求職者を臨時職員として雇用する。</p> <p>【雇用内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用人数 臨時職員上期・下期各 2 名</li> <li>雇用日数 延べ 4 8 8 日</li> </ul>			
重点的に取組む事項及び変更点			補助対象人員が上期・下期各 5 名から各 3 名に減となったため、減となった人員について市単独事業として取組むこととする。			

## 【特別会計】

### 国民健康保険特別会計

国保財政は、平成22年度決算で4億1,818万6千円の黒字となっていることから、今後の医療費の動向や国からの国保財政への支援、制度改正の動向について慎重に検討を重ね、平成24年度から平成26年度までの中期財政見通しを作成した。

その結果、医療保険制度の改正による負担増や保険給付費の急激な増加に備えるため、平成26年度末で約3億5,000万円の基金を確保した上で、累積黒字を活用し、国民健康保険税の医療給付費分の税率を引き下げることとして予算編成を行った。

#### 【課税限度額及び税率等の改正】

##### ○ 税率の引下げ

医療給付費分の税率を、所得割額を0.2%、平等割額を1,000円引下げ、国民健康保険税全体で1世帯当り年間1,840円の軽減を行う。

#### 国民健康保険税の税率及び課税限度額

賦課の区分		平成23年度	平成24年度
医療給付費分	所得割額	8.5%	8.3%
	均等割額(1人当り)	26,000円	26,000円
	平等割額(1世帯当り)	26,000円	25,000円
	課税限度額	510,000円	510,000円
介護納付金分	所得割額	2.5%	2.5%
	均等割額(1人当り)	5,200円	5,200円
	平等割額(1世帯当り)	5,800円	5,800円
	課税限度額	120,000円	120,000円
後期高齢者支援金等分	所得割額	1.8%	1.8%
	均等割額(1人当り)	3,800円	3,800円
	平等割額(1世帯当り)	4,000円	4,000円
	課税限度額	140,000円	140,000円

#### 【平成24年度の事業運営】

##### ○医療費について

高齢化の進む状況の中、医療費については伸び率を約1%として予算計上した。

##### ○国民健康保険税について

平成24年3月末見込みでの所得・人員・世帯の状況をもとに試算し、収納率を現年課税分の一般分88.0%、退職分98.0%として積算した。

##### ○保健事業等の実施

平成24年度は、第一期特定健康診査等実施計画の最終年度に該当するため、健診受診率や保健指導実施率の更なる向上を目指し、年度当初より積極的に健診未受診者に対し受診勧奨をしていく計画である。平成23年度から開始した集団健診については、より受診しやすい料金に設定し、受診者の拡大を図っていく。

保健指導については、試食を兼ねた栄養教室を実施していく他に、運動の体験講座も開催していき、食と運動の両方から生活習慣の改善に取り組めるように努めていく。

また、特定保健指導以外の市独自の保健指導や、治療中者への保健指導を継続して

いき、短期人間ドック・各種がん検診・脳ドックに対する助成や高齢者に対するインフルエンザ予防接種費用助成等を継続して実施していく。

平均被保険者数の推移

(単位：人)

区 分	平成 21 年度 (決算)	平成 22 年度 (決算)	平成 23 年度 (当初予算)	平成 24 年度 (当初予算)
一般分	12,302	12,104	12,101	12,162
退職分	866	990	1,065	993
合 計	13,168	13,094	13,166	13,155

## 学校給食事業特別会計

市内の小中学校、登別明日中等教育学校前期課程及び保育所に、栄養基準を満たし、かつ安全で安心な給食を提供する。

なお、平成24年度給食費のパン・米飯の単価については値上がりとなっている。また、一般物資（温食）の食材についても値上がり傾向となっているが、安価でより良い食材の選定及び献立の工夫等により、平成24年度の給食費についての改定は行わず現行単価で給食事業の運営を行う。

事業の概要

対 象		人員(人)	月額(円)	年額(円)	1食当たり(円)	回数(日)
小学校児童・教職員(8校)		2,690	3,850	46,200	—	185日
中学校生徒・教職員(5校)		1,363	4,600	55,200	—	
登別明日中等教育学校 前期課程生徒・教職員		251	4,600	55,200	—	
保育所園児(4園)		273	—	—	110	実施日
試 食 会	小学校	1,300	—	—	250	随 時
	中学校	900	—	—	298	

## 公共下水道事業特別会計

本市の公共下水道事業は、昭和56年度に着手して以来、厳しい財政事情の中、効率的・経済的に事業の推進に努め、平成23年度末の人口普及率は約95.6%となる見込である。前年度に引き続き、中央町の老朽化している雨水施設の改築更新を行うとともに、新

たに、道道上登別室蘭線（若山地区二期工区）拡幅事業着手に合わせた整備を行う。

若山浄化センターは、平成2年の供用開始から21年を経過しており、老朽化した機械設備の改築更新を行う。

平成16年度から開始した個別排水処理施設整備事業は、対象地域を公共下水道により処理を行う予定地域を除く市内全域としており、平成24年度は浄化槽10基の設置を予定している。

#### 公共下水道事業

##### ○管渠整備事業

中央町地区の雨水施設の改築更新工事及び若山町地区の新設工事を行う。

来馬川4号幹線 延長150m 街路中央通雨水函渠 延長520m

##### ○若山浄化センター改築更新

老朽化した機械設備の更新を行う。

##### ○水洗化及び排水設備設置の普及促進

水洗便所改造等融資あっせん制度

水洗便所改造等補助金制度

##### ○個別排水処理施設整備事業

公共下水道による整備区域以外の個別排水処理区域において、住民の要望に基づき市が浄化槽を設置し、維持管理を行う。

平成24年度 10基設置予定

## 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業については、平成11年度に「登別市簡易水道事業特別会計」を設置し運営している。

現在、簡易水道事業は、札内及び来馬地区等の地域へ安全な水道水を供給しており、平成24年度予算では、経常的な維持管理に加え、主な事業としては、配水管改良工事及び水道メーター器取替工事の事業費を計上した。

#### 主な事業内容

区 分	事 業 実 施 内 容	
	口径 (mm)	事業内容
配水管改良工事	φ100	L=600m
水道メーター器取替工事	φ13～φ20	26個

## 介護保険特別会計

介護保険制度に対応するため設置された介護保険特別会計は、介護保険給付等事業と地域支援事業にかかる「保険事業勘定」となっている。



介護保険事業は、介護保険事業計画（3年ごとに策定）に基づき事業運営を進めることになっており、平成24年度は第5期介護保険事業計画の初年度となっている。

### 【介護保険給付等事業】

- ・第1号被保険者数（各年度当初予算）

区 分	24年度	23年度	22年度
被保険者数	15,276人	14,769人	14,586人

- ・介護保険料（第1号被保険者分）

基準保険料	24～26年度	21～23年度
第4段階（年額）	42,000円	39,600円

区 分	予算額	対象者数
特別徴収（現年分）	515,910千円	13,443人
普通徴収（現年分）	63,315千円	1,833人
普通徴収（滞納分）	2,800千円	—
合 計	582,025千円	15,276人

- ・介護給付費内訳

区 分	給付額	平均受給者数
居宅介護（予防）サービス	1,640,248千円	1,514人
施設サービス	1,275,223千円	380人
審査支払手数料	3,500千円	—
高額介護サービス	80,500千円	—
高額医療合算介護サービス	10,500千円	—
特定入所者介護サービス	141,400千円	—
合 計	3,151,371千円	1,894人

- ・介護認定審査会関係

区 分	委員数	開催回数
介護認定審査会	24人	95回

- ・介護認定調査関係

区 分	主治医意見書作成件数	認定調査委託件数
介護認定調査	3,201件	650件

## 【地域支援事業】

地域支援事業は、要支援・要介護状態になる可能性のある高齢者を対象に要支援・要介護状態になることを防止するための事業や、要介護状態になった場合でもできるだけ住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう支援するための事業で、介護予防事業、包括的支援事業、任意事業の3つの柱からなっている。

### ○介護予防事業

介護予防事業は、自立している高齢者が、介護や支援を必要とする状態にならないために実施する事業で、65歳以上の高齢者を対象に、介護の必要はないが虚弱な高齢者を対象とした「二次予防施策事業」と全ての高齢者を対象にした「一次予防施策事業」に分けて実施する。

#### <介護予防二次予防施策事業>

##### 二次予防事業費

- ・通所型介護予防事業：かるやか教室～一次予防事業と同時開催（年72回）
- ・訪問型介護予防事業
- ・介護予防二次予防施策評価事業

##### 二次予防事業対象者把握事業費

75歳到達者及び85歳以上の高齢者を対象に、「基本チェックリスト」を活用し、訪問等により把握する。

#### <介護予防一次予防施策事業>

##### 一次予防事業費

- ・介護予防普及啓発事業：かるやか教室～二次予防事業と同時開催（年72回）  
健康教室・健康相談、かるやかポスタ・手帳の配付、ビデオ・DVDの貸出等
- ・地域介護予防活動支援事業：かるやか体操指導者養成教室（年6回）  
かるやか卒後教室（教室により月1～2回）
- ・介護予防一次予防施策評価事業

### ○包括的支援事業

#### <包括的支援事業>

地域の介護支援を行う中枢機関として市内に3つの生活圏域を設け、各圏域に地域包括支援センターを設置している。

包括的支援事業は、地域包括支援センターが実施する事業で社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーを配置し、3職種が連携して次の事業を行う。

##### ・介護予防マネジメント事業

新予防給付と介護予防事業のマネジメントを一体的に実施し、要介護状態となることへの予防と要介護状態への悪化の予防を図る。

##### ・総合相談・支援事業

高齢者の各種相談を幅広く受け、制度の垣根にとらわれない横断的・多目的支援を行う。

##### ・権利擁護事業

高齢者に対する虐待の防止や早期発見のための事業や、権利擁護のための事業を行う。

- ・包括的・継続的マネジメント事業  
地域のケアマネジャーへの個別指導、困難事例等への助言等、ケアマネジャーへの支援を行う。

<認知症対策連携強化事業（国庫補助事業）>

地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症疾患医療センター等と連携して、地域における認知症ケア体制及び医療との連携体制を強化し、認知症の医療と介護の切れ目のない提供等を行う。

○任意事業

任意事業は、国が定めた事業以外の事業で、次の事業を行う。

- ・高齢者等介護用品給付事業  
市民税非課税世帯で、要介護4以上で在宅生活をしている高齢者に対し、介護用品の購入に要する経費を給付し経済的負担の軽減を図る。
- ・家族介護慰労事業  
市民税非課税世帯で、要介護4以上の在宅高齢者を介護し、1年間介護サービスを利用しなかった家族に対し、慰労金を支給し、経済的負担の軽減を図る。
- ・住宅改修支援事業  
介護保険法施行規則に基づき、居宅介護住宅改修費及び介護予防住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成する介護支援専門員等に対する手数料。
- ・高齢者見守り支援事業  
認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、誰でもが暮らしやすい地域を作るボランティアを養成する。
- ・成年後見制度利用支援事業  
成年後見制度の周知を図るほか、親族がいない方などには市長が成年後見制度の申し立てを行い、判断能力が不十分な高齢者の権利・利益を保護する。

## カルルス温泉スキー場事業特別会計

観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化を図る。

○リフト3基

(第1ペアリフト652m・第2ペアリフト852m・第3ペアリフト537m)

○7コース 全コース延距離 5,150m

○リフト利用見込人員 328,000人

○修学旅行等受入見込人員 12校 5,000人

○行事 カルルス温泉冬まつり(3月第1日曜日)

○大規模修繕見込 圧雪車修繕

第2リフト修繕(機械主要部全般オーバーホール)

第3リフト修繕(機械主要部一部整備・原動装置修繕)

スクールトイレ改修

○修学旅行誘致プロモーション予定

(対象:九州・四国・中国方面を中心とした高校及びエージェント)

## 後期高齢者医療特別会計

- (1) 対象者
  - 75 歳以上の方
  - 65 歳以上 75 歳未満で一定の障がいのある方
- (2) 被保険者数（平成 24 年度平均見込数）
  - 北海道後期高齢者医療広域連合 710,043 人
  - 登別市 7,363 人
- (3) 保険料
  - ・ 均等割額 47,709 円 ・ 所得割率 10.61 % ・ 賦課限度額 55 万円
  - 北海道の平均保険料
    - ・ 66,589 円
- (4) 被保険者の一部負担割合
  - 1 割負担（現役並み所得者は 3 割負担）
- (5) 制度の運営財源（高齢者負担率の調整有り）
  - 公費 5 割（国 4：道 1：市 1）
  - 支援金 4 割（国民健康保険、健康保険組合、共済組合など）
  - 保険料 1 割（被保険者保険料）
- (6) 運営主体
  - 北海道後期高齢者医療広域連合（道内 179 市町村で構成）
    - ・ 被保険者の資格管理や被保険者証の発行
    - ・ 保険料の賦課決定など
  - 登別市
    - ・ 保険料の徴収
    - ・ 医療給付に関する申請や各種届出の受付などの窓口業務
    - ・ 制度の周知に関する事務

## 水道事業会計

水道事業は、地方公営企業法に基づき地方自治体が経営する企業（地方公営企業）として、常に「企業の経済性」を発揮しながら、「公共の福祉を増進」するよう運営されなければならないことになっている。

また、事業に必要な経費は、水道料金収入で賄うという「独立採算性」を原則に経営している。

平成 24 年度予算では、登別市の水道事業を取り巻く環境は依然として厳しく、給水人口の減少や節水意識の浸透及び大口利用者の経費節減等、今後も予想される水需要の低下に対応できる事業経営に努め、引き続き水道水の安定供給を図るため、主な事業として、老朽管の更新及び公道内未布設箇所の新設と他の事業に併せ、移設・新設などの事業費を計上した。

主な事業内容

区 分	事 業 実 施 内 容	
	口 径 (mm)	事 業 内 容
配水管改良事業	φ 50～φ 200	L = 1, 170m
配水管移設事業	φ 200	L = 10m
配水管布設事業	φ 50～φ 250	L = 1, 530m
水道メーター購入 (検満メーター)	φ 13～φ 50	2, 873 個
水道メーター購入 (新設、修理、破損)	φ 13～φ 50	330 個
水道メーター取替 (検満メーター)	φ 13～φ 50	2, 873 個